

昭和52年度

学校教育要覧



日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1374799

目 次

◇ 日野市地図	1
◇ 東京都教育委員会の重点施策	3
◇ 日野市教育委員会学校教育の指導目標	6
◇ 市教委の学校訪問日程	13
◇ 学校教育課の年間行事計画	15
◇ 日野市教育相談室	28
◇ 日野市中心身障害教育推進協議会	31
◇ 日野市立小・中学校科学教育センター	33
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	36
◇ 指導主事分担一覧	37
◇ 日野市教育委員会事務局組織	39
◇ 小中学校教科領域研究主任一覧表	41
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	45
" 第二 "	47
" 第三 "	49
" 第四 "	52
" 第五 "	54
" 第六 "	56
日野市立第一小学校	58
" 第二 "	63
" 第三 "	68
" 第四 "	73
" 第五 "	78
" 第六 "	83
" 潤徳 "	89
" 平山 "	94
" 第七 "	99
" 第八 "	104
" 百草台 "	111
" 滝合 "	116
" 高幡台 "	120
" 南平 "	125
" 程久保 "	129
" 旭が丘 "	132
日野市立第一中学校	136
" 第二 "	142
" 七生 "	147
" 第三 "	152
" 第四 "	157
" 三沢 "	163

日野市全図



日野市役所

- ◇ 市立幼稚園 (6園)
- 市立小学校 (16校)
- 市立中学校 (6校)



1 : 30,000

0 500 1000 2000m

昭和52年度 東京都教育委員会重点施策

1 東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を養い広く国際社会において信頼と尊敬を得られる国民的資質を高め、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな都民をめざして、教育を推進する。

2 学校教育の指導目標

東京都公立学校においては、都民の期待にこたえ、未来への展望に立って、教育の本質と学校教育のあり方について深く考え、幼児・児童・生徒・学生の資質・特性や地域の実態に即して、ひとりひとりを生かす教育を推進する。

特に学校経営に創意工夫をこらし、教師としての識見・能力を高めるとともに、教職員、幼児・児童・生徒・学生、父母相互の信頼をいっそう深めて、学校教育の充実に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

- 人権尊重の教育
- 健康・安全の教育
- 教育内容・方法の改善
- 生活指導の徹底

3 重点事項について

重点事項は、各項目が独立したものではなく、相互に有機的な関連をもつものである。各学校においては、これら重点事項を十分考慮し、それぞれの実態に応じて学校教育目標や年度の重点を設定し、教師ひとりひとりの日日の研究・実践の充実に図り、創意のある学校・学年・学級経営の推進に努めることが大切である。

① 人権尊重の教育

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校教育の全体を通じて人権尊重の教育を徹底することが重要である。

各学校においては、同和対策審議会の答申、並びに同和対策事業特別措置法の趣旨を体して、差別や偏見をなくすように努め、また心身に障害を持つ児童・生徒に対しては、その障害の種別、程度等に応じて、ひとりひとりに適切な教育が行われるよう特に配慮することが必要である。

○ 健康・安全の教育

生命尊重の精神に基づき、健康で幸福な生活を築くためには、心身の調和的発達を図ることが重要である。

各学校においては、児童・生徒の生活環境をは握し、教育活動の全体を通して、健康・安全に関する望ましい態度や能力を身につけさせるよう努め、交通安全教育、公害教育、防災教育等の推進を図ることが必要である。

○ 教育内容・方法の改善

ひとりひとりの児童・生徒の可能性を最大限に伸ばすためには、基礎学力の充実を計り児童・生徒が自ら進んで学習する態度を養い、正しい判断力や創造的な思考力を育成することが重要である。

各学校においては、研究・研修を充実して、指導内容の精選・集約を図り、指導法の改善に努め、その成果を教育課程の編成、実施に生かすことが必要である。また、過疎・過密など、それぞれ地域の実態に即しひとりひとりを生かす効果的な指導を行うように配慮することが大切である。

○ 生活指導の徹底

児童・生徒の個性を伸長し、豊かな人間性を育成するためには、社会の一員として自己実現を図る態度や能力を身につけさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒に対する理解を深め、父母の要望を十分には握するとともに全校的な指導体制をいっそう強化して、生活指導の充実を図ることが必要である。

また特に児童・生徒の能力や適性を正しくは握し、適切な進路指導の推進に努めるとともに、家庭・地域社会及び関係諸機関との連携を密にして問題行動等を未然に防止する指導を強化することが大切である。

(注) 児童・生徒とは、幼児・児童・生徒及び学生を言う。

昭和 52 年度日野市教育委員会の 教育目標と重点施策

1 日野市教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を養い、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる国民的資質を高め、地域の文化・自然を大切にし、市民相互の信頼による社会連帯意識を育て、心身ともに健康で個性豊かな人間形成をめざす教育を生涯教育の計画のもとに推進する。

2 重点施策

- (1) 教育施設の充実と教育環境の整備
- (2) 学校教育の内容の充実と授業研究の推進
- (3) 生涯教育に立脚し、青少年及び成人に対する教育の充実と、文化財保護の振興
- (4) 健康と体力向上に対する教育活動の充実と学校開放の推進
- (5) 市民のための資料の充実と図書館サービス活動の促進

日野市教育委員会

昭和52年度 学校教育の指導目標

教育基本法の精神及び東京都の学校教育の指導目標の徹底に努めながら、教育の本質と学校教育のあり方について日野市の実態に即して深く考え、地域及び父母との連携をはかり、ひとりひとりの幼児、児童生徒を生かす指導の徹底に努める。

特に本年度は、教育課程審議会の答申及び学習指導要領の改善の主旨、内容についての理解を深め、長期的展望にたつて「ゆたかな人間性」を育てる教育と「基礎学力の充実」についての研究を推進する。

重点施策

- 人権尊重の教育
- 社会連帯意識を育てる教育
- 健康・安全の教育
- 授業研究の推進
- 心身障害教育の深化
- 幼児教育の質的充実

重点事項について

各学校（園）では、重点事項に示したことがらを経営に生かすとともにさらに創意あるものとし、教職員相互の研修を深め、活力にみちた日々の活動を展開し、日野市の教育の向上に努めること。

○ 人権尊重の教育

すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の精神を根底とし、教育基本法に示された教育を徹底することが必要である。

特に各学校では、同和对策審議会の答申、並びに同和对策事業特別措置法の趣旨を体し、学校教育の全体を通して、あらゆる差別や偏見をなくし、基本的人権を尊重する同和教育の推進に努めなければならない。

1. 地域や幼児・児童・生徒の実態を的確にとらえ、学校のエ育活動全体を通して不合理や差別、偏見をなくし、基本的人権を尊重する精神を育成し、特に、ひとりひとりが尊重されかつ、相互に尊重し合える人間関係の成立に努める。
2. 幼児・児童・生徒の最大限の発達をめざす適切な指導により、ひとりひとりが主体的に目標を立て常に明るく充実した生活が営めるようにする。
3. ひとりひとりが自己の能力や適性を最大限に発揮できるよう、適切な学習指導・生活指導及び進路指導の徹底をはかる。

4. 同和教育について全職員の認識を深め、同和教育のあり方や指導についての研究を推進し、これを教育課程に生かすようにする。

○ 社会連帯意識を育てる教育

日野市の急激な都市化は、自然環境を著しく変貌し、また、市民の地域や教育に対する意識、願望も多様なものへと変化してきている。

このような社会の中で、歴史的に継承され発展してきているさまざまなものに対する理解と、批判力・感受性を育て、郷土を愛する心を育てるとともに、社会的な活動に進んで参加し、その中で自他とともに生かすことができるような社会的連帯意識と責任ある行動とを育てることに努めなければならない。

1. 郷土の自然、文化遺産についての理解を深め、これを愛し、保護する教育に努める。
2. 自分を見失わない主体性を育てるとともに、信頼と尊敬を得られる責任ある行動的な態度の育成に努める、
3. 自他の自由を尊重し、自分と異なる意見や立場を重んじながら、互に協力し合う市民意識の育成に努める。
4. 地域のみにとどまらず、自国の歴史と伝統を愛し、文化に深い理解を持つ国民的自覚を育てるとともに、他国の文化をも尊重する国際理解の教育を推進する。

○ 健康・安全の教育

生命尊重の精神を養い、健康の増進と安全の保持をはかることは、心身の調和的発達のために極めて重要なことである。

特に都市化がすすんでいる日野市にあつては、地域の実態ともあわせて、幼児・児童・生徒が心身ともにたくましく、健康で安全に生活できる態度を身につける教育の徹底をはからなければならない。

1. 生命を尊び、心身の健康の増進をはかり、節度と調和のある生活ができるよう、教育活動の全体を通して指導の徹底をはかる。
2. ひとりひとりに、健康で安全に関する望ましい態度や能力、生活習慣を身につける指導の徹底をはかる。
3. 幼児・児童・生徒の生活環境の実態をじゅう分は握し、これを基に適切な安全教育の計画をたて、効果的な指導を行なうようにする。
4. 災害発生に対し、幼児・児童・生徒の安全がはかれるよう、その組織と方法を明らかにする。
5. 生命尊重の教育の重要性について、地域・父母への啓蒙をはかるとともに、その指導にあたっては連携を深めることに努める。

○ 授業研究の推進

児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を最大限に発揮させ、創造的な個性を発見し、これを伸長する教育をめざして、日野市では授業研究にとりくんできている。

本年度もこれを推進し、子ども自らが主体的にとりくむ授業の創造に努める。

1. 日野市立小中学校全校が授業研究にとりくみ、教師の自己研修の場を拡大し、資質の向上に努める。
2. 各学校間で授業研究の交流をはかり、特に幼稚園と小学校低学年、小学校高学年と中学校の指導方法についての関連をいっそう密にすることに努める。
3. 児童、生徒の創造的個性の実態をは握することに努め、その伸長のための授業の方法を追求する。
4. 学習の記録をもとに授業分析をおこない、「よい授業」の成立条件を明らかにすることに努める。
5. 教育課程審議会の答申及び学習指導要領の改善内容についての理解を深め、「ゆたかな人間性」を育てる教育と「基礎学力の充実」についての研究を推進する。

○ 心身障害教育の深化

心身に障害を持つ幼児・児童・生徒で、就学を希望する者に適切な教育を施す方策を推進しているが一方、障害の程度は重度化、多様化、重複化の傾向を示し、心身障害教育の重要性と困難性は著しく増大してきている。

こうした現況下において改めて心身障害教育の本質と課題とを深く考えるとともに、ひとりひとりの発達の可能性をひき出し、障害を克服して、明るく強く、生きがいを持つような教育の推進に努める。

1. 心身障害教育について、全教職員の共通理解をいっそう深め、ひとりひとりを生かす教育の徹底を期することに努める。
2. 心身障害教育の本質と課題を考え、幼児・児童・生徒の実態をじゅう分考慮した教育目標、教育の重点を設定し、障害に応じた指導の方法を工夫する。
3. 心身障害学級設置校にあっては、全校児童・生徒に、障害を持つ児童・生徒についての正しい認識と理解を与え、相互に協力し合える交流の場を積極的に設けることに努める。
4. 障害の重度化、多様化、重複化に応じて指導内容を精選し、ひとりひとりの発達と可能性をひき出し、伸長する指導方法を追求する。
5. 学校と家庭、教育相談、医療及び福祉機関等との連携をいっそう密にし、心身障害教育の望ましいあり方を研究する。

○ 幼児教育の質的充実

幼児教育の重要性と幼稚園教育に対する市民の要請に答えるために、日野市では幼稚園に入園を希望するすべての5才児を就園させることを目標に幼児教育の充実をすすめてきている。

最近における幼児の発達には加速化現象がみられている現況をふまえて、幼児の実態をじゅう分には握し、幼児教育の充実に努める。

1. 幼児の生活実態や心身の発達と環境とのかわりあいについての研究を深め、これを保育計画に生かすように努める。
2. 幼児ひとりひとりが活力にみちた活動ができるよう、行動記録をとり幼児理解を深め、これを日々

の指導に生かすことに努める。

3. 幼稚園教育と小学校低学年の教育との関連についての研究を深め幼児教育のあり方を追求する。
4. 幼稚園と保育園との連携を深め、研究の交流や教育の一体化をはかることに努める。
5. 心身障害幼児を一般幼児の中で教育する場合の保育計画や指導の方法・環境のあり方について研究を深める。

◎ 小学校教育の方針

1 学校経営、学級経営

- 1) 地域及び父母との心の交流をはかり、地域の実態に応じて開かれた学校経営に努める。
- 2) 各学校の教育目標が学年、学級を通じて児童の望ましい人間形成のためにじゅう分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 3) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 4) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師はその専門性と指導性の向上に努める。
- 5) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心身に障害のある児童の教育にいっそう理解を深め、心の交流がじゅうぶん行なわれるよう配慮する。

2 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当っては、教育の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当っては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新を期した授業を進めるとともに児童の学習態度が意欲的になるようくふうし、また、その評価についてあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考えるようにする。

3 道徳教育 生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう、その組織及び方法についてじゅう分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連携をいっそう深めるとともに、教育相談的方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について研究をする。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連携に配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。

- 5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。

4 健康・安全教育

- 1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。
- 2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力かつ効果的な安全指導を行なう。
- 3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。
- 4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう、保健及び安全教育の実践に努める。
- 5) 火災及び地震等の災害発生に対し、児童の安全がはかれるよう、その組織と方法を明らかにしておく。

5 情操教育・科学教育

- 1) つねに学校教育の全般を通じて人間性に即した豊かな心情がつつかわれるようじゅう分配慮する。
- 2) 読書指導の推進と教育機器の活用に努める。
- 3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。
- 4) 科学教育を進展させる設備・器具の充実と、その効果的利用に努める。

◎中学校教育の方針

1 学校経営・学級経営

- 1) 地域及び父母との交流をはかり、地域の実態に応じて開かれ学校経営に努める
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により、学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。
- 3) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当るように努める。
- 4) 学級担任教師は、生徒ひとりひとりを把握し、理解し、心の交流がはかれるよう配慮するとともに教科担任教師との連絡を密にし学級経営の充実をはかる。
- 5) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。
- 6) 心身障害学級を設置する学校においては、心身障害学級と一般学級との交流をはかり、協力的な指導体制を整えるようにする。

2 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び生徒の実態に基づいて調和と統一がはかれるよう努める。
- 2) 各教科、領域の指導に当っては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導方法の改善を期した授業の研究に努める。
- 3) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすように努める。

- 4) 教材・教具の効果的な活用・教育機器の利用についてもくふうし学習指導の充実をはかる。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、小学校の教育課程との関連について考える。

3 道徳教育・生活指導

- 1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。
- 2) 各教科、道徳、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。

4 健康・安全教育

- 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるように努める。
- 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。
- 3) 火災及び地震等の災害発生に対し、生徒の安全がはかれるようその組織と方法を明らかにしておく。

5 情操教育・科学教育

- 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。

6 進路指導

- 1) 個々の生徒の能力、適性をよく把握し、それに応じられるように努める。

◎幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の特性を理解し、個性の伸長に努める。
2. 教育課程の編成に当っては、地域、幼児の実態に基づき、小学校低学年との関連をはかりながら改善をはかる。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導方法のくふうに努める。
4. 健康安全の生活習慣を身につけるように努める。とくに交通安全については地域、父母との連携をはかり、これの徹底に努める。
5. 心身に障害を持つ幼児や、特別な配慮を要する幼児については、特に深い理解を持ち、ひとりひとりを生かすための適切な園、学級経営に努める。
6. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を助けるようにする。
7. 環境改善についてくふうし、豊かな情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくように努める。
8. 幼保、私立幼稚園との連絡を密にし、研究の交流、保育の一貫性がはかれるように努める。

市教委の学校訪問について

1 趣 旨

学校訪問は教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事が学校の教育活動の実態に直接触れることで、①学校の当面する教育指導上の諸問題をとらえ、②それらの問題を学校のもつ諸条件に基いて解決するよう実践し、③あわせて日野市の全般的な教育活動を把握して指導行政の参考とするため実施する。

昭和52年度は、次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 市教委訪問 A

年間一度、教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、指導助言する。

内容は ①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観 ④教職員との協議懇談等を含む。

(2) 市教委訪問 B

年間一度、市教委訪問のない学期に指導主事が訪問する。

内容は ①学級経営 ②教科指導 ③道徳指導 ④生活指導 ⑤その他

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。

2 昭和52年度市教委訪問日程

No	小学校	訪問別	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日 野 第 一 小		52年10月21日(金)	52年6月10日(金)
2	日 野 第 二 小			52年11月28日(月)
3	日 野 第 三 小		53年2月2日(木)	52年10月5日(木)
4	日 野 第 四 小			52年6月1日(金)
5	日 野 第 五 小		52年10月13日(木)	53年2月13日(月)
6	日 野 第 六 小			53年2月1日(木)
7	潤 徳 小		53年2月27日(月)	52年11月16日(木) 都一般訪問
8	平 山 小			52年11月30日(木)
9	日 野 第 七 小		52年11月14日(月)	52年6月13日(月)
10	日 野 第 八 小			53年1月25日(木)
11	百 草 台 小		53年1月30日(月)	52年12月9日(金)
12	滝 合 小			52年11月11日(金)
13	高 幡 台 小			53年2月28日(火)
14	南 平 小			52年11月2日(木)
15	程 久 保 小		53年2月10日(金)	52年6月29日(木)
16	旭 が 丘 小		52年12月1日(木)	52年9月12日(月)

No	中学校 訪問別	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日 野 第 一 中	52 年 7 月 11 日(月)	52 年 10 月 12 日(水) 都一般訪問
2	日 野 第 二 中		52 年 10 月 28 日(金)
3	七 生 中	52 年 5 月 27 日(金)	52 年 9 月 30 日(金)
4	日 野 第 三 中		53 年 1 月 13 日(金)
5	日 野 第 四 中		52 年 10 月 17 日(月)
6	三 沢 中	52 年 11 月 4 日(金)	52 年 6 月 15 日(水)

No	幼 稚 園	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日 野 第 一	53 年 3 月 3 日(金)	52 年 6 月 22 日(水)
2	第 二		4 月 27 日(水)
3	第 三	52 年 11 月 25 日(金)	5 月 11 日(水)
4	第 四		6 月 9 日(水)
5	第 五	52 年 10 月 31 日(月)	6 月 27 日(月)
6	第 六		9 月 21 日(水)

昭和 5 2 年度
学校教育課の年間行事計画

A 一般研修

名称	ねらい・方針	期 日	内容・方法	会 場	対 象
学校経営研修会 5 回	市立小中学校・幼稚園の運営にあたる教職員を対象として適正な学校・園の管理・運営のあり方を求めて学校経営や学習指導の知識や技能の充実をはかる講演を主に研修をする。 (蓮池、井澤)	5 / 17(火)	マスコミから見た現代教育	中央公民館	校長、園長、教頭、主任等のほか 一般教員
		7 / 14(木)	学校教育に期待するもの	"	
		8 / 15(月)	学校経営と諸法規	"	
		10 / 18(火)	東京都における教育上の課題	"	
		12 / 15(木)	創意ある学校経営	"	
教育課程研修会 3 回	教育課程審議会の答申、学習指導要領の改訂について研修し「学校教育の人間化」をめざした教育課程の編成について研修する。(蓮池、井澤)	5 / 30(月)	新教育課程の改訂の主旨と各校の生かし方	二 中	一般教員
		11 / 15(火)	小学校学習指導要領の内容について	中央公民館	
		2 / 21(火)	中学校学習指導要領の内容について	"	
幼児教育研修会 3 回	幼稚園と保育園の交流を進めながら、幼児教育の充実をはかるために教育課程の編成と実施を中心に研修する。 (井澤、蓮池)	5 / 16(月)	幼児教育をめぐる諸問題 幼保の関連をおさえて	三 幼	公私立の幼稚園 保育所の教職員
		9 / 16(金)	自然領域の指導のあり方 －自然の領域－	多摩動物公園	
		2 / 3(金)	器楽合奏の指導 －音楽リズム領域－	五 幼	
同和教育研修会	同和教育を現場で具体的に推進するときに基本的な事項の理解を深める。 (蓮池、井澤)	5 / 24(火)	学校経営と同和教育	立 川	校 長
		6 / 13(月)	学校経営と同和教育	立 川	小 教 頭
		6 / 27(月)	学校経営と同和教育	立 川	中 教 頭

名称	ねらい・方法	期 日	内容・方法	会 場	対 象
同 和 教 育 研 修 会	同和教育を現場で具体的に推進するときに基本的な事項の理解を深める。 (蓮池、井澤)	9 / 26(月)	国語科における同和教育	未	小 国 語
		9 / 29(木)	国語科における同和教育	都 研	中 国 語
		10 / 4(火)	進路指導と 同和教育	"	中 進 路
		10 / 18(火)	社会科における同和教育	"	中 社 会
		10 / 20(木)	社会科における同和教育	未	小 社 会
		11 / 4(金)	道徳指導と 同和教育	"	小 道 徳
		11 / 8(火)	道徳指導と 同和教育	都 研	中 道 徳
		11 / 22(火)	学級指導と 同和教育	未	小 一 般
		11 / 24(木)	教育課程の編成と 同和教育の推進	中央公民館	幼小中 一 般
		11 / 29(火)	学級指導と 同和教育	都 研	中 一 般
育心 研 障 修 教 会	心身に障害をもつ幼児、児童、生徒を担当したときの基本的事項について理解を深める。 (蓮池、井澤)	5 / 20(金)	普通学級における心障教育	中央公民館	一 般 教 諭
新任 教 諭 兼 ・ 学 級 経 営 研 修 会	教員の職責の重要性を認識した上で各学校の教育目標にそって一人ひとりの児童、生徒の能力、特性を十分に伸ばす学習指導・生徒指導・学級経営ができるように、講演、授業研究等をおこない、教職の専門性を高める。 (井澤、蓮池)	4 / 2(土)	・オリエンテーション ・日野市内見学	中央公民館	新任 教 諭 ・ 経 験 三 年 未 満 の 教 諭
		5 / 26(木)	・学級経営と学級事務	中 公	
		6 / 24(金)	良い授業の条件	中 公	
		7 / 12(火)	教育相談 児童、生徒理解の方法	未 定	
		9 / 27(火)	学習指導法 道 徳	未 定	

名称	ねらい・方法	期 日	内容・方法	会 場	対 象
		11/10(木)	心障教育 平山小訪問と指導	平 山	
		12/2(金)	学級通信作成の技術 がり板の使い方	未 定	
		1/17(火)	授業研究	"	
		2/9(木)	授業研究	"	
		3/10(金)	・一年間の反省 ・プラネタリウム見学		
学習指導研修会	市立小・中学校で児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を十分に伸ばす良い学習指導が推進されるように各教科領域にわたって授業研究を中心に研修する。	9/27(火)	道徳指導法 授業研究	未 定	小・中一般教諭
		1/24(火)	社会科指導法 授業研究	"	
		2/24(金)	国語科指導法 授業研究	"	
実技研修会	市立小中学校で児童、生徒に学習意欲を起こし進んで学習にとり組み、充分な理解の得られる学習指導が推進されるように特に実技を中心に研修を深める。(井澤、蓮池)	6/28(火)	V T R実技研修	七 生 中	小中一般の教諭・各教科担当
		7/7(木)	水泳実技指導	南 平 小	
		9/20(火)	現地研修 地層川原の石	未 定	
		11/29(火)	書写実習と指導法	未 定	
教育相談研修会	市立小中学校で児童生徒の実態や悩みを正確にとらえ、ひとりひとりに適応した教育相談を充実させていく方法を事例を通して研修する。 (蓮池 井澤)	5/10(火)	学校教育相談のあり方	中央公民館	教の教育 教諭 相育 相談 相談 員・係 研・修 そ 員 の 他 学 校 般
		6/14(火)	事例研究	"	
		7/12(火)	教育相談的立場からとらえた児童理解	"	
		9/13(火)	意欲と動機づけ	"	

名称	ねらい・方法	期 日	内容・方法	会 場	対 象
		10／11(火)	事例研究	中央公民館	
		11／1(火)	心をひらかない子へのか かわり方	〃	
		12／13(火)	事例研究	〃	
		1／10(火)	自己実現の態度を育てる	〃	
		2／14(火)	事例研究	〃	
		3／14(火)	研究発表	〃	
保学 健校	健康・安全教育を進める ため、学校保健のあり方 を研修する(井澤 蓮池)	9／9(火)	校内での安全と健康教育 を充実する方法について 実務上の研修を進める。	中央公民館	養保の 護健教 教主 諭任諭
主事 事務	学校運営を円滑に進める 学校事務の向上をはかる (井澤、蓮池)	10／7(金)	学校経営の一環としての 学校事務について実務上 の研修を高める。	中央公民館	学 職 校 務 事 務 員

B 宿泊研修

名称	ねらい・方針	期 日	内容・方法	会 場	対 象
教務主任	地域と児童、生徒の実態に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地区を参観したり、情報交換をおこなう。 (蓮池)	5 / 23(月) 〃 24 (火)	○ 他校訪問－主体的学習を促す学習指導・学級経営について実践している学校を参観、自校の教育課程編成に生かす。 ○ 研究協議 情報交換と問題解決	利根郡水上町 去来荘	教務主任
生活指導主任	児童、生徒の実態を把握し生活指導の確立をはかるため他地区を参観したり情報交換をおこない研修を積む (蓮池、井澤)	10 / 24(月) 〃 10 / 25(火)	○ 他校訪問－参観校の生活指導組織とその実践を見学し自校の指導に生かす ○ 研究協議－事故防止、非行防止対策等の情報交換	千葉県銚子市	生活指導主任
教育相談	学校および教育相談室でおこなう教育相談の交流と指導技術を高めるための研修をつむ 8 / 4(木) 〃 5 (金)	8 / 4(木) 〃 5 (金)	○ 研究討議「教育相談室の運営について」 ○ 事例研究と講師の指導	御岳山(青梅市)	教育相談員
科学センター	児童、生徒の科学的能力技術、態度を養うために科学センター指導員の理科の指導技術を実施で高める。(井澤、蓮池)	(小学校) 7 / 22(金) 中学校 8 / 17(水)	○ 研究討議「科学センターの運営と指導法」 ○ 自然観察の指導について 「地質、生物、天体」	(小) 中山梨泉清里 静岡県三津浜	科学センター 指導員
新任教諭	1学期間の教職経験を話し合っ各自が自覚した問題を協力して解決し教職の専門性を高める。 (井澤、蓮池)	8 / 1(月) 〃 2 (火)	○ 講演「児童、生徒理解方法と生活指導」 ○ 研究討議「1学期の反省と指導上の問題点」 ○ 自然観察の指導 「動・植物・星・川」	御岳山(青梅市)	新任教諭

C その他の事業（協議会・連絡会・委員会等）

名称	ねらい・方針	期 日	内容・方法	会 場	対 象
教務主任会 11回	日野市の地域・児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施に関する研修と各学校の情報を交換し自校の改善に役立てる。 (蓮池・井澤)	4 / 21(木) 5 / 19(木) 6 / 16(木) 9 / 22(木) 10 / 20(木) 11 / 17(木) 12 / 8 (木) 1 / 19(木) 2 / 16(木) 3 / 9 (木)	人間性豊かな児童・生徒の育成と基礎学力の充実をめざした教育課程の編成と校務分掌組織のあり方について情報交換をすすめながら研修する。	中央公民館 旭が丘 三沢中 程久保小 四 中 南 平 小 三 中 高幡台小 七 生 中 滝 合 小	教務主任・教務部員
生活指導連絡協議会 11回	小・中学校の生活指導態勢を推進し、児童・生徒の心身の健康を向上させるため、各校の情報交換と研修を進める (井澤、蓮池)	4 / 18(月) 5 / 9 (月) 6 / 6 (月) 7 / 8 (金) 9 / 8 (木) 10 / 3 (月) 11 / 7 (月) 12 / 5 (月) 1 / 12(木) 2 / 6 (月) 3 / 6 (月)	学校生活に喜びを感じ、自身の能力を十分に伸ばせるような生活指導のあり方をめざして、情報交換を進めながら研究を進める。 (第1月曜日)	一 小 六 小 潤 徳 小 一 中 平 山 小 八 中 二 中 百 草 台 小 七 小 三 沢 中 程 久 保	生活指導主任・指導部員
中学生生活指導連絡協議会 7回	中学校の生活指導を推進し心豊かな中学生の育成のため各校の協力態勢の推進 (井澤、蓮池)	5 / 30(月) 6 / 20(月) 7 / 18(月) 9 / 26(月) 11 / 21(月) 12 / 19(月) 1 / 23(月) 2 / 20(月) 3 / 13(月)	先生と生徒、生徒間の人間関係のあり方を研究し学校生活に生きがいを感じずるような生活指導の確立を図る。	二 中 " " 三 沢 中 二 " " " " " " " "	主任・生活指導部員 中学校生活指導
心障教育推進協議会	日野市における心障児教育のあり方を追求するとともに、具体的展開の方策について協議し、その推進をはかる。 (蓮池、井澤)	6 / 10 未 定	研究委託者総会 心障教育を推進するための研究・研修・教育相談等のあり方について（協議と見学）	中央公民館	心障教育担当者 心障教育推進委員
音楽鑑賞教室運営委員会	小学校児童・生徒の音楽鑑賞能力を高め、音楽性の向上をはかる。 (蓮池、井澤)	7 / 4 9 / 2	音楽鑑賞教室実施計画の作成と運営打合せ 小音楽鑑賞教室 八王子市民会館 9 / 7 (水)		音楽鑑賞教室 運営委員

名称	ねらい・方針	期 日	内容・方法	会 場	対 象
教育研究 方法委	児童・生徒ひとりひとりを生かす学習指導法の改善をめざす (井澤、蓮池)	6 / 7(火) 未 定	研究委託総会 その後はグループ研究 (理論研究と実践研究)	三 小	教育研究 方法委員
まどべ編集 委	教職員研修雑誌「まどべ」の発行により、市内小中学校の教育水準の向上を計る (蓮池、井澤)	未 定	年3回、教職員の研修雑誌「まどべ」の編集と発行をおこなう	未 定	まどべ編集 委員
小三社会科 作成スライド 作成委	小学校3年生の指導に使用するスライドなどの視聴覚教材の作成を進める (蓮池、井澤)	6 / 10(金)	小学校3年社会科の指導資料の作成と利用法を研究する。	南 平 小	小研三年 学校研究担 社会科部当 社会科員教諭
社改訂科 副読本 研究委	小中学校社会科の指導資料「わたしたちの日野」「伸び行く日野」の改訂を進める、 (蓮池)	5月中旬 より	社会科副読本の内容を検討し改訂と利用法の研究をする ① 小学校部会 ② 中学校部会	未 定	小研中 学校研究担 社会科部当 社会科員教諭
小中 科学センター 運営委	小・中学校の児童、生徒の科学的能力、技術、態度の向上と教員の理科指導の技術の充実をはかる。 (井澤、蓮池)	4月下旬 4月下旬 6月上旬	・小学校南北科学センターの運営6年児対象 ・中学科学センターの運営1～3年の生徒対象	南部百草台小 北 部 三 小 中 学 四 中	小中理科 関係教員 その他一般 教員
授業研究	児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を伸ばす指導法をめざす (蓮池、井澤)	6 / 9(木) 各学校 園で	市立幼・小・中学校(園)の授業研究・保育研究を進める。	中央公民館 各幼小・ 中学校	幼の ・小中 ・中学校 教職員
教職員研究 委託	日野市の学校教育目標の達成と教職員の自主的な研修の推進をめざし、指導目標の実現を研究する (井澤 蓮池)	6 / 17 各グループ ごとに 期日決定	研究委託者総会 その後は5つのグループに分かれて研究 ① 人権尊重の教育 ② 教育課程 ③ 生活指導 ④ 幼児教育 ⑤ 保健体育	一 小 未 定	幼・小 中学校の 教職員

指導関係行事予定表

(□●● 全日 △●● 午前 ○●● 午後)

(4 月)

日	曜	市	都
1	金		
2	土	△新任教諭研修会 (中公)	
3	日		
4	月		
5	火		
6	水	第一学期始業	
7	木		
8	金		□都市指導主事会 (八王子市)
9	土		
10	日		
11	月		
12	火	△定例校長会 ○定例園長会	
13	水		
14	木		
15	金	△定例教頭会	
16	土	△学校保健連絡協	
17	日		
18	月	○生活指導連絡協議会	
19	火		○研究員総会 ○2地区指導主事会 (多摩)
20	水	○市教研研究部会	△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事
21	木	○教務主任会	○都市指導主事会
22	金	○音楽鑑賞教室運営委	
23	土		△小中教育内容現代化委
24	日		
25	月	○まどべ編集委員会	□新任指導主事研修会
26	火	○図書館連絡協議会	△生活指導担当指導主事協
27	水	□市教委訪問 B (二幼)	□新任指導主事研修会
28	木		
29	金	(天皇誕生日)	
30	土		△学校訪問協議会 △教育研究センター校協

(5 月)

日	曜	市	都
1	日		
2	月		
3	火	(憲法記念日)	
4	水		
5	木	(こどもの日)	
6	金	○心障教育推進協議会 ○託教育方法、教員研究総会	○教育内容現代化委総会 △都市指導主事会 △給食指導担当指導主事協
7	土		
8	日		
9	月	○生活指導連絡協議会	
10	火	△定例校長会 ○定例園長会 ○教育相談研	
11	水	□市教委訪問 B (三幼)	□都一般訪問
12	木		□区市指導主事宿泊研
13	金		□同 上
14	土		□同 上 △幼経営研究協議会
15	日		
16	月	○幼児教育研修会	△同和教育研究協 (小校長、園長)
17	火	○学校経営研修会	△2地区指導主事会 (稲城)
18	水	○市教研総会	□都一般訪問
19	木	○教務主任会	△都市指導主事会 ○多摩地区教育推進委
20	金	△定例教頭会 ○心障教育研修会	
21	土	△学校保健連絡協	
22	日		
23	月	↑教務主任宿泊研	
24	火	↓	□道德教育助言者研究協 △同和教育研究(中校長)
25	水	(○地区教大会)	□都一般訪問
26	木	○新任教諭研修会	△同和教育指導推進委
27	金	□市教委訪問 A (七生中)	
28	土		
29	日		
30	月	○中学校生活指導連絡会	
31	火	○教育課程研修会	○幼教育研究協議会

(6 月)

(7 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 水	☐ 市教委訪問 B (四小)	☐ 都一般訪問	1 金	移動教室①(長沢)	△幼教育研究協議会
2 木		△心障教育担当指導 主事協	2 土	日光移動教室	
3 金		☐ 道德教育助言者研 究協	3 日	移動教室②(井澤)	
4 土	中修学旅行 ↑ 中修学旅行 ↓		4 月	日光移動教室	○就学指導講習会
5 日			5 火	移動教室③(谷口)	
6 月	○生活指導連絡協議会		6 水	○市教研研究部会	☐ 都一般訪問
7 火	△定例校長会 ○定例園長会		7 木	○体育実技研修会	
8 水	○市教研研究部会	☐ 都一般訪問	8 金	○生活指導連絡協議会	△同和教育指導推進委
9 木	☐ 市教委訪問 B (四幼)		9 土		△都市指導主事会 (三鷹分室)
10 金	☐ 市教委訪問 B (一小)		10 日		
11 土		△都市指導主事会 (三鷹分室)	11 月	☐ 市教委訪問 A (一中)	
12 日			12 火	△定例校長会 ○定例園長会 ○教育相談、新任研	
13 月	☐ 市教委訪問 B (七小)	△同和教育研究協 (小教頭)	13 水		△指導主事連絡協議会
14 火	○教育相談研修会	△幼稚園担当指導 主事協	14 木	○学校経営研修会	
15 水	☐ 市教委訪問 B (三沢中)	☐ 都一般訪問	15 金	△定例教頭会 ○音楽鑑賞教室運営委	
16 木	○教務主任会	☐ 道德教育助言者研 究協	16 土	△学校保健連絡協	
17 金	△定例教頭会		17 日		
18 土	△学校保健連絡協		18 月	○中学校生活指導連絡 会	
19 日			19 火		△2地区指導主事会 (町田)
20 月	○中学校生活指導連絡 会		20 水		
21 火	○学校保健研修会	△2地指導主事会 (八王子)	21 木	夏季休業	
22 水	☐ 市教委訪問 B (一幼)	☐ 都一般訪問	22 金	☐ 科学センター宿泊研	
23 木		△都市指導主事会 ○多摩地区生活指導 研究協	23 土	☐ (三津)	
24 金	○新任教諭研修会		24 日		
25 土			25 月		
26 日			26 火		
27 月	☐ 市教委訪問 B (五幼)	△同和教育研究協 (中教頭)	27 水		
28 火		△生活指導担当指導 主事協	28 木		
29 水	☐ 市教委訪問 B (程久保小)	○中高連携協議会 ☐ 都一般訪問	29 金		
30 木	日光↑	○就学指導講習会	30 土		
			31 日		

(8 月)

(9 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 月	☐ 新任教諭宿泊研		1 木	第二学期始業	
2 火	☐		2 金	○中学校水泳記録会 ○音楽鑑賞教室運営委	
3 水			3 土		△都市指導主事会 (三鷹分室)
4 木	☐ 教育相談宿泊研 (御岳山)		4 日		
5 金	☐		5 月	○小学校水泳記録会	
6 土			6 火		
7 日			7 水	☐ 音楽鑑賞教室 (八王子市民会館)	△学校訪問協議会
8 月	☐ 教育機器実技研	△心障教育現代化委	8 木	○生活指導連絡協議会	△中教育内容現代化委
9 火	☐ " " (五小)		9 金	△定例校長(園)会	
10 水			10 土		△心障教育担当指導主 事研
11 木			11 日		
12 金			12 月	☐ 市教委訪問 B (旭ヶ丘小)	
13 土			13 火	○教育相談研修会	△2地区指導主事会 (日野)
14 日			14 水	○市教研研究部会	△指導主事連絡協 多摩指導主事連絡協
15 月	○学校経営研修会		15 水	(敬老の日)	
16 火			16 金	△定例教頭会 ○幼児教育研修会	
17 水	☐ 中学校科学センター		17 土	△学校保健連絡協	
18 木	☐ 宿泊研(清里)		18 日		
19 金			19 月		
20 土			20 火	○理科実技研修会	△生活指導担当指導主 事協
21 日			21 水	☐ 市教委訪問 B (六幼)	△幼教育研究協議会 ○中高非行対策協議会 ☐ 都一般訪問
22 月	☐ 研究員御岳集会 中教頭生活指導 研究協		22 木	○教務主任会	△都市指導主事会 ○多摩地区生活指導研 究協
23 火	☐		23 金	(秋分の日)	
24 水	☐ 研究員御岳集会		24 土		
25 木			25 日		
26 金	☐ "		26 月	○中学校生活指導連絡 会	○同和教育研究協 (小・国)
27 土			27 火	○学習指導・新任研修 会	
28 日	☐ "		28 水		☐ 都一般訪問
29 月			29 木		○同和教育研究協 (中国)
30 火			30 金	☐ 市教委訪問 B (七生中)	○就学指導講習会
31 水					

(10 月)

(11 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 ㊥	(都民の日)		1 火	○教育相談研修会	△幼稚園担当指導主事協
2 ㊦			2 水	☐ 市教委訪問 B (南平小)	☐ 都一般訪問
3 月	○生活指導連絡協議会	△同和教育指導推進委 ○就学指導講習会	3 ㊧	(文化の日)	
4 火	△定例校長(園)会	○同和教育研究協 (中進路)	4 金	☐ 市教委訪問 A (三沢中)	○同和教育研究協 (小道德)
5 水	☐ 市教委訪問 B (三小)	☐ 都一般訪問	5 土		
6 木		☐ 新任指導主事研修会	6 ㊨		
7 金	○事務主事研修会	☐ 同 上	7 月	○生活指導連絡協議会	
8 土		△小教育内容現代化委 △都市指導主事会(三鷹)	8 火	△定例校長(園)会	○同和教育研究協 (中道德)
9 ㊩			9 水	○市教研研究部会	☐ 都一般訪問
10 ㊪	(体育の日)		10 木	○新任教育研修会	
11 火	○教育相談研修会		11 金	☐ 市教委訪問 B (滝合小)	
12 水	☐ 都一般訪問・市教委 訪問 B(一中)	☐ 都一般訪問	12 土		△都市指導主事会 (三鷹分室)
13 木	☐ 市教委訪問 A (五小)		13 ㊫		
14 金	△定例教頭会		14 月	☐ 市教委訪問 A (七小)	
15 土	△学校保健連絡協		15 火	○教育課程研修会	△2地区指導主事会 (稲城)
16 ㊬			16 水	☐ 都一般訪問・市教委 訪問 B(潤徳小)	☐ 都一般訪問
17 月	☐ 市教委訪問 B (四中)	△2地区指導主事会 (多摩)	17 木	○教務主任会	
18 火	○学校経営研修会	○同和教育研究協 (中社)	18 金	△定例教頭会	○同和教育指導推進委
19 水	○市教研総体実技研	☐ 都一般訪問	19 土	△学校保健連絡協	
20 木	○教務主任会	○同和教育研究協 (小社)	20 ㊭		
21 金	☐ 市教委訪問 A (一小)		21 月	○中学校生活指導連絡 会	△生活指導担当指導主事 協
22 土			22 火	○同和教育研修会	☐ 給食指導担当指導主 事協
23 ㊮			23 ㊯	(勤労感謝の日)	○同和教育研究協 (小学校)
24 月	☐ 生活指導主任宿泊研	△幼経営研究協議会	24 木		△都市指導主事会
25 火	☐		25 金	☐ 市教委訪問 A (三幼)	
26 水	(○地区教教研集会)	☐ 都一般訪問	26 土		
27 木		△都市指導主事会	27 ㊰		
28 金	☐ 市教委訪問 B (二中)		28 月	☐ 市教委訪問 B (二小)	
29 土			29 火	○毛筆書写実技研修会	○同和教育研究協 (中学校)
30 ㊱			30 水	☐ 市教委訪問 B (平山小)	☐ 都一般訪問
31 月	☐ 市教委訪問 A (五幼)				

(12 月)

(1 月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	木	☐ 市教委訪問 A (旭が丘小)		1	㊥		
2	金	○新任教諭研修会		2	月		
3	土			3	火		
4	㊥			4	水	御用始め	
5	月	○生活指導連絡協議会		5	木		
6	火	△定例校長(園)会		6	金		
7	水	○市教研究部会	☐ 都一般訪問	7	土		
8	木	○教務主任会		8	㊥		
9	金	☐ 市教委訪問 B (百草台小)	○体育担当指導主事協	9	月	第三学期始業	
10	土		△都市指導主事会	10	火	△定例校長(園)会 ○教育相談研	○2地区指導主事会 (町田)
11	㊥			11	水		
12	月			12	木	○生活指導連絡協議会	
13	火	○教育相談研修会		13	金	☐ 市教委訪問 B (三中)	
14	水		△指導主事連絡協議 会	14	土		△都市指導主事会
15	木	○学校経営研修会		15	㊥	(成人の日)	
16	金	△定例教頭会	△心障教育内容現代 化委	16	月	(振替休日)	
17	土	△学校保健連絡協		17	火	○新任教諭研修会	△心障教育担当指導主 事協
18	㊥			18	水	○市教研究部会	☐ 都一般訪問
19	月	○中学校生活指導連絡 会		19	木	○教務主任会	
20	火		△2地区指導主事会 (八王子)	20	金	△定例教頭会	
21	水			21	土	△学校保健連絡協	
22	木		△都市指導主事会	22	㊥		
23	金			23	月	○中学校生活指導連絡 会	
24	土			24	火	○学習指導法研修会	
25	㊥			25	水	☐ 市教委訪問 B (八小)	☐ 都一般訪問
26	月	冬季休業		26	木		△都市指導主事会 ○多摩地区生活指導研 究協
27	火			27	金		△幼教育研究協議会
28	水	御用納め		28	土		
29	木			29	㊥		
30	金			30	月	☐ 市教委訪問 A (百草台小)	
31	土			31	火		△生活指導担当指導主 事協 ○中高非行対策協議会

(2 月)

(3 月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	水	□市教委訪問 B (六小)	□都一般訪問	1	水	○市教研研究部会	○幼儿教育内容現代化委
2	木	□市教委訪問 A (三小)		2	木		
3	金	○幼児教育研修会	△同和教育指導推進委	3	金	□市教委訪問 A (一幼)	
4	土		△都市指導主事会	4	土	△学校保健連絡協	
5	㊥			5	㊥		
6	月	○生活指導連絡協議会		6	月	○生活指導連絡協議会	△小中教育内容現代化委
7	火	△定例校長(園)会		7	火	△定例校長(園)会	
8	水	○市教研研究発表会	□都一般訪問	8	水		△学校訪問協議会
9	木	○新任教諭研修会		9	木	○教務主任会	
10	金	□市教委訪問 A (程久保小)		10	金	○新任教諭研修会	
11	㊦	(建国記念日)		11	土		△都市指導主事会 (三鷹分室)
12	㊥			12	㊥		
13	月	□市教委訪問 B (五小)		13	月	○中学校生活指導連絡 会	△生活指導担当指導主 事協
14	火	○教育相談研修会	△2地区指導主事会 (日野)	14	火	○教育相談研修会	△2地区指導主事会 (多摩)
15	水		△指導主事連絡協議会	15	水		△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事連絡協
16	木	○教務主任会		16	木		
17	金	△定例教頭会		17	金	△定例教頭会	△同和教育指導推進委
18	土	△学校保健連絡協		18	土		
19	㊥			19	㊥		
20	月	○中学校生活指導連絡 会		20	月	△幼稚園卒園式	
21	火	○教育課程研修会		21	㊦	(春分の日)	
22	水		△幼稚園担当指導主 事協	22	水	△中学校卒業式	
23	木		△都市指導主事会	23	木		△都市指導主事会
24	金	○学習指導法研修会		24	金		
25	土			25	土	△小学校卒業式	
26	㊥			26	㊥	春季休業	
27	月	□市教委訪問 A (潤徳小)		27	月		
28	火	□市教委訪問 B (高幡台小)		28	火		
				29	水		
				30	木		
				31	金		

日 野 市 教 育 相 談 室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲・能力・生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事実を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構 成

相 談 室 長 長 沢 三 郎 （日野市教育委員会学校教育課長）

教 育 相 談 員

橋本美千代（日野三小教諭）	永谷 豊（日野二中教諭）
山内 春美（〃 五小〃 ）	鈴木 良身（〃 四中〃 ）
井尻 武子（〃 五小〃 ）	鈴木 清司（〃 三沢中〃 ）
中沢芙美子（〃 平山小〃 ）	平向 邦江（〃 一幼〃 ）
市川 忞子（〃 七小〃 ）	小柳津芳子（教育委員会）
石原八重子（〃 旭が丘小〃 ）	金子 ふみ（〃 〃 ）

教育相談研修員

和田 淑子（日野三小教諭）	白勢 玲子（滝合小教諭）	近間 典子（一幼教諭）
市川 純子（三小教諭）	中村 笙子（高幡台小〃 ）	土屋 菊代（二幼〃 ）
杉本 瑛之（四小〃 ）	船橋美奈子（南平小 〃 ）	石川 和子（三幼〃 ）
越村あや子（四小〃 ）	川原田和子（程久保小〃 ）	古谷みち子（三幼〃 ）
西川 朝子（五小〃 ）	倉林 紀子（旭が丘小〃 ）	永瀬 町子（三幼〃 ）
野村菜穂子（五小〃 ）	斉藤 弥生（旭が丘小〃 ）	斉藤美津子（五幼〃 ）
前田 洋子（五小〃 ）	水田 節子（日野四中〃 ）	
番場 春枝（五小〃 ）	樽川 和恵（三沢中 〃 ）	
岡野 三郎（平山小〃 ）	松田 健司（三沢中 〃 ）	
八木 文夫（平山小〃 ）	磯岡 邦雄（三沢中 〃 ）	
石黒 芳子（百草台小〃 ）	加藤美知子（七小 〃 ）	

担当指導主事 蓮 池 守 一

顧 問 佐 藤 正 （東京学芸大学教授）
石 島 徳太郎 （東京都八王子福祉園次長）

☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（８月を除く）の２回・教育相談員が２名１組となって相談に応じている。

（午後１時３０分より４時まで）申込みは無料で受付けている。

- 場 所 A 教育委員会内教育相談室（遊戯室あり）
 B 中央公民館内小会議室
 C 日野市立第三幼稚園
- 申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室
 （TEL 81-3511 内線331）

教育相談事務担当 高 橋 喜代子 （月・金 9:00 ～ 16:00）

小柳津 芳 子 （火・木・金）

金 子 ふ み （日・金）

- 教育相談概況（昭 51. 4. 1 ～ 52. 3. 31 ）

相談件数 91件

面接延回数 479回

種 別	対 象				
	分類	幼児	児童	生徒	計
1. 性格・行動 に関するもの	登園・登校拒否	1	4	4	9
	友だち関係	5	5	2	12
	落ちつきがない	0	5	0	5
	わがまま・泣き虫	1	4	0	5
	いたづら・らんぼう	1	4	0	5
	ぬすみ・うそ	0	2	0	2
2. 精神・身体 に関するもの	夜尿・つめかみ	2	2	0	4
	神 経 症	0	2	0	2
	言語障害	0	1	0	1
	難 聴	0	0	1	1
	肥満・偏食	0	1	2	3
	自閉的傾向	1	2	0	3
3. 知能・学業 （進路・適性） に関するもの	勉強ざらい	0	0	1	1
	就学・進学	3	4	4	11
	知恵おくれ	0	2	0	2
	学業不振	0	4	0	4
	知能検査	0	3	1	4
4. そ の 他	学習・指導について	2	7	0	9
	家庭・環境問題	2	4	2	8
計		18	56	17	91
就 学 児 精 密 検 査		8	1	0	9
就 園 ・ 就 学 相 談 （ 心 障 児 ）		17	5	0	22
合 計		43	62	17	122

☆ 教育相談員の研修

教員相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に研修会、事例研究会を交互に、第三土曜に事例協議会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

☆ 心障学級との関係

日野第三小学校、平山小学校、日野第一中学校、日野第一小学校、七生中学校、日野第五小学校、に併設されている心障学級へ、児童・生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なっている。面接及び検査の結果は入級判別の資料として日野市心障学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行なった上で入級を決めている。

日野市心身障害教育推進協議会

☆ 目 的

すべての心身障害児に適切な教育を保障するために必要な教育措置のあり方、教育条件の整備、指導の内容、方法について検討し、日野市の心身障害教育の伸展充実に資する。

☆ 事業の内容

この会の目的を達成するため、次の事業を行なう。事務局を協議会会長校におく。

- 1) 心身障害教育を適正に行なうための事業計画と実施方法の策定
- 2) 心身障害教育の実施成果の検討
- 3) そ の 他

☆ 組 織

- 1) この会は次に掲げる者を委員とする。

日野市教育委員会 教育長・学校教育課長・担当指導主事・指導係長

日野市立心障学級設置校長・心障学級担任

日野市立幼小中学校（園） 各校1名の教員

日野市教育相談室専任相談員・顧問医

- 2) この会には次の専門部をおき、下記の活動をおこなう。

ア) 研 究 部……………日野市立幼小中学校の実態に即した心身障害教育のあり方を研究する。

イ) 研 修 部……………心身障害教育に関する教職員の研修と、市民への啓蒙

ウ) 相 談 部……………心身障害児童・生徒の就学相談、指導のあり方を研究する。

エ) 担 任 部……………心障学級担任相互の交流を通して心身障害教育の質的向上をめざす。

昭和52年度 組織表

教 委	教育長 倉又 秀作	学校教育課長 長沢 三郎	同係長 平 敏男
会 長	深 沢 真 人	副会長	吉 岡 孝二郎
会 計	榎 沢 日出子		
事務局	山 口 武 彦 小 林 節 夫 松日楽 敬 治		
研 究 部	部長 山 口 武 彦		
	部員 御子柴 昭 治	中 沢 芙美子	浜 野 育 子 斉 藤 弥 生
	赤 木 清 福	森 田 寿 子	清 水 しずか 高 橋 雅 子
	多 昌 直 之	信 夫 頼 子	中 村 由美子

研 修 部	部長 小 林 節 夫			
	部員 原 沢 和 恵	森 田 寿 子	岡 野 三 郎	柿 沢 鎮 子
	野 村 菜穂子	榎 沢 日出子	西 山 伸	足 立 光 江
相 談 部	部長 松日楽 敬 治			
	部員 三 浦 勝 也	麻 生 文 雄	八 木 文 夫	鶴 田 幸 夫
	伊 藤 洋 子	杉 本 瑛 之	金 井 信 房	古 谷 孝 太
	平 松 健太郎	馬 場 令 子	勝 俣 友 子	

顧 問 東京学芸大学教授 佐藤 正 都立八王子福祉園次長 石島徳太郎

日野市教育委員会指導主事 蓮池 守一 井澤 祐一

日野市教育相談室 小柳津芳子

” 金子 ふみ

日野市立小・中学校科学教育センター

1 名称・所在

日野市小学校科学教育センターと称し、昭和52年度は、北部センターを日野第三小学校に、南部センターを百草台小学校の校内に設置する。

2 設立の趣旨

日野市公立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実に
向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3 センター長・センター次長・指導員

	南部センター（百草台小）	北部センター（日野三小）
センター長	田中春男（百草台小）	平松健太郎（三小）
センター次長	松日楽敬治（" "）	津野田昭二（" "）
センター主任	干台健治（" "）	福地保（" "）
指導員 1	江口耕一（" "）	古屋光男（一小）
" 2	草刈喜一（" "）	片野茂夫（" "）
" 3	永井一郎（" "）	小幡健（" "）
" 4	鈴木淳子（" "）	倉石桂（二小）
" 5	油井朝子（" "）	梅原秀明（三小）
" 6	長沼正幸（高幡台小）	宇留野勝幸（" "）
" 7	佐久間久美子（" "）	浜野美広（" "）
" 8	田中健（滝合小）	藤本憲康（" "）
" 9	吉川郁子（平山小）	篠原正人（" "）
" 10	坂本守（" "）	赤池正人（" "）
" 11	森清晃（南平小）	山田一夫（" "）
" 12	古久保蝶子（" "）	和田渉子（" "）
" 13	池田康雄（八小）	井上保（" "）
" 14	西尾信博（" "）	川原田和子（" "）
" 15	川上卓一（程久保小）	佐野静江（四小）
" 16	糸井則子（" "）	岡田光生（五小）
" 17	中村大（潤徳小）	高田真澄（" "）
" 18	加藤タイ（" "）	林克己（六小）
" 19	後藤楚子（" "）	鹿島田恭江（" "）
" 20		秋山憲一（七小）
" 21		渡辺健一（旭が丘）

4 センター員

校 名	北 部 セ ン タ ー									南 部 セ ン タ ー									合 計
	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	七 小	旭 が 丘	小 計	滝 合 小	潤 徳 小	平 山 小	程 久 保	八 小	百 草 台	高 幡 台	南 平 小	小 計	
男	4	3	6	1	4	0	6	0	24	3	4	6	5	3	3	2	6	32	56
女	2	2	2	4	1	5	0	5	21	0	0	1	0	4	1	2	0	8	29
計	6	5	8	5	5	5	6	5	45	3	4	7	5	7	4	4	6	40	85

5 年間指導計画

南部センター（百草台小）

北部センター（日野三小）

回数	月 日	内 容	指 導 員	回数	月 日	内 容	指 導 員
1	5・14	開 校 式	全員	1	5・21	開 講 式	全員、和田、赤池
2	21	細かく見る	永井、千台、草刈、鈴木	2	28	測定する	林、鹿島田、福地
3	28		千台、永井、草刈、鈴木	3	6・4		林 鹿島田、浜野
4	6・4	自由研究	江口、永井、川上、千台、糸井	4	11	細かく見る	岡田、高田、福地
5	11	分類する	川上、糸井、油井	5	18		岡田、高田、山田
6	18		川上、糸井、鈴木	6	25	分類する	片野、小幡、赤池
7	25	自由研究	池田、西尾、江口	7	7・9		片野、小幡、福地
8	7・9	測定する	森、古久保、後藤、鈴木	8	16	自由研究	全員
9	9・10		森、古久保、油井	9	9・10		林、鹿島田、岡田、福地 高田、井野、小幡
10	17	自由研究	森、古久保、江口	10	9・17	自由研究	林、鹿島田、岡田、和田 高田、井野、小幡
11	10・15	推論する	長沼、佐久間、油井	11	10・8	条件統一	渡辺、宇留野、篠原
12	22			12	15		渡辺、宇留野、藤本
13	29	自由研究	永井、長沼、佐久間、草刈	13	22	推論する	梅原、佐野、川原田
14	11・5	条件を統一	吉川、坂本、中村、江口	14	10・29		梅原、佐野、福地
15	12		吉川、坂本、加藤、鈴木	15	11・12	自由研究	渡辺、宇留野、古屋 浜野 梅原、佐野、秋山
16	19	自由研究	吉川、坂本、永井、田中、千台	16	26		渡辺、宇留野、古屋 篠原 梅原、佐野、秋山
17	26	標本を作る	池田、西尾、田中、油井	17	12・3	標本を作る	秋山、倉石、山田
18	12・3		池田、西尾、田中、草刈	18	10		秋山、古屋、山田
19	10	自由研究	江口、永井、草刈、千台、川上 池田	19	17	原稿修正	全員
20	2・4	閉 講 式	全員	20	2・4	閉 講 式	全員、和田、井上

6 連絡協議会

委員 南部センター長 田 中 春 男 日野市立百草台小学校長 TEL(91)
 " 次長 松日楽 敬 治 " 教 頭 0997
 " 主任 千 台 健 司 " 教 諭 0998
 北部センター長 平 松 健太郎 日野市立日野第三小学校長 (81)
 " 次長 津野田 昭 二 " 教 頭 0101
 " 主任 福 地 保 " 教 諭 0850
 顧問 日野市教育委員会学校教育課長 長 沢 三 郎
 指導主事 井 澤 祐 一

日野市中学校科学センター

1. 名称、所在、日野市中学校科学教育センターと称し、昭和52年度はセンターを第四中学校の校内に設置する。
2. 設立の趣旨
小学校科学センター設立の主旨に準ずる。
3. センター長、センター次長、指導員
センター長 山 口 幸 雄 センター次長 河 野 寿 忠
センター主任 富 士 堯
指 導 員 長島 寿平(三 中) 橋本 貴幸(三沢中) 三島 敏史(二 中)
久村 敏男(七生中) 立川 泰司(一 中) 渡辺 恵敏(二 中)
福島 良樹(一 中) 藤倉満理子(四 中) 飯島 利三(二 中)
4. センター生 各中学校1～3年から40名を募集する。
5. 指導計画
八王子市との共催による中学校科学センターから分れ、初年度であるため、開校式を夏季休業中に行ない、開校の回数を10回とする。

月 日	内 容	月 日	内 容
1 7・25	開校式、講演	6 8月上旬	自由研究指導(2)
2 7・26	科学の基本指導	7 8月中旬	自由研究指導(3)
3 27	物理・化学	8 8月下旬	見学プラネタリウム博物館
4 28	生物・地学	9 10月上旬	自由研究まとめ
5 29	自由研究指導(1)	10 10月中旬	閉校式、研究発表

6. 中学校科学センター運営委員会
(センター長、次長、運営委員各校1名、市教委をもって構成する)
運営委員
長島 寿平(三 中) 久村 敏男(七生中) 福島 良樹(一 中)
橋本 貴幸(三沢中) 富士 堯(四 中) 三島 敏史(二 中)
顧問 学校教育課長 長沢 三郎 指導主事 井澤 祐一

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「小学校国語」(学校図書)
	「小学校書きかた」(学校図書)
社 会 科	「新編新しい社会」(東京書籍)
	「新編新しい社会科地図」(東京書籍)
算 数 科	「新版算数」(教育出版)
理 科	「新編新しい理科」(東京書籍)
音 楽 科	「精選小学生の音楽」(音楽の支社)
図 画 工 作 課	「図画工作」(開隆堂)
家 庭 科	「新編新しい家庭」(東京書籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「中学校現代の国語」(三省堂)
	「中学習字」(教育出版)
社 会 科	「中学生の社会科 地理的分野」(中教出版)
	「中学社会 日本の歴史と世界」(日本書籍)
	「新しい社会 公民的分野」(東京書籍)
	「社会科中学生の地図」(日本書院)
数 学 科	「中学校数学」(学校図書)
理 科	「改訂理科」(啓林館)
音 楽 科	「中学生の音楽」(教育芸術)
	「新版標準中学生の器楽」(教育出版)
美 術 科	「美術」(日文)
保 健 体 育 科	「中学校保健体育」(学研)
技 術 家 庭 科	「技術・家庭 男子用」(実教)
	「技術・家庭 女子用」(実教)
外 国 語 科	「Everyday English」(中教)

昭和52年度 指導主事分担一覧

日野市教育委員会

指導主事 蓮池 守 一

指導主事 井澤 祐 一

1 校種別分担

○幼稚園教育……井澤

○小学校教育……井澤

○中学校教育……蓮池

2 教科・領域別分担

○国語(含書写)……蓮池

○社会……蓮池

○算数・数学……井澤

○理科……井澤

○音楽……蓮池

○図工・美術……蓮池

○体育・保健体育……井澤

○家庭・技術家庭……井澤

○外国語(英)……井澤

○道徳……蓮池

○生活指導……井澤

○特別活動……井澤

○学校行事等……井澤

○学校経営……蓮池

○教育相談……蓮池

○心障教育……蓮池

○視聴覚教育……井澤

○図書館教育……蓮池

○学校給食……井澤

○保健教育……井澤

○安全教育……井澤

○同和教育……井澤

○公害教育……井澤

○進路指導……蓮池

○幼児教育……井澤

○学校事務……蓮池

3 施設・行事等分担

○教育相談室……蓮池

○心障学級……蓮池

○科学センター……井澤

○教科書センター……蓮池

○文化行事……蓮池

○体育行事……井澤

○修学旅行……井澤

○移動教室……井澤

4 指導事務分担

○指導部・都研……蓮池

○研究員・現代化委……蓮池

○教育課程届出……井澤

○研究集録……井澤

○学校訪問……蓮池

○教材届出承認……井澤

○遠足修学旅行届出……井澤

○調査資料収集……井澤

○指導要領……蓮池・井澤

○まどべ編集……蓮池・井澤

○月行事予定……井澤

○教育実習……蓮池

○授業研究校……井澤・蓮池

○教職員研究委託……井澤

○都・研究奨励……蓮池

5 渉外分担

○校長会……蓮池・井澤

○教頭会……蓮池・井澤

○教務主任会……蓮池・井澤

○生活指導
連絡協……井澤・蓮池

○教育方法
研究委……井澤・蓮池

○日野市教研……蓮池・井澤

- 都市指導主事会…蓮池・井澤 ○第2地区指導主事会…蓮池・井澤

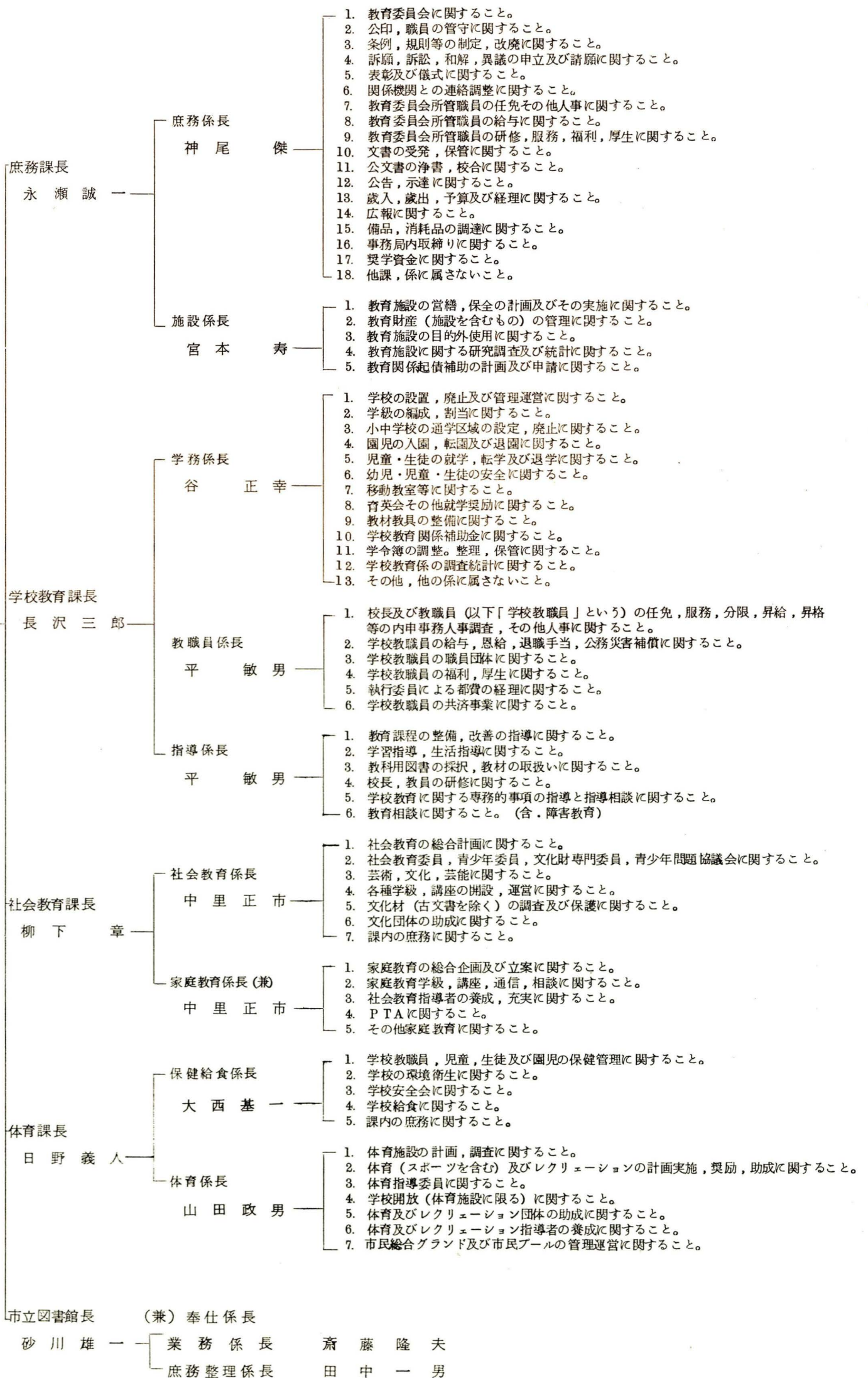
6 研修等分担

- 学校経営研…蓮池・井澤 ○新任教諭兼学級経営研…井澤・蓮池
○学習指導研…蓮池・井澤 ○実技研…井澤・蓮池 ○教育相談研…蓮池・井澤
○幼児教育研…蓮池・井澤 ○同和教育研…井澤・蓮池 ○心障教育研…蓮池・井澤
○学校図書館研…蓮池・井澤 ○学校保健研…井澤・蓮池 ○事務職員研…蓮池・井澤
○小三社会科スライド作成委…蓮池・井澤 ○社会科副読本改訂研…蓮池・井澤

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会	
委員長	森久保 敏 治
職務代理	池 尾 テル子
委員	高 木 昂
委員	山 下 羊 平
委員	倉 又 秀 作

教育長
倉 又 秀 作



(指導主事の事務分担は本文中に示す)

日野市立小・中学校主任（代表）一覧表

52年4月

担 当 学 校	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	潤 徳 小	平 山 小	七 小	八 小	百草台小
教 務 主 任	古 尾 光 男	松 井 慶 吾	井 上 保	高 倉 教 行	生 田 彰	曾 我 哲 夫	小 竹 章	和 田 文 雄	小板橋 五佐男	飯 田 幸 次	秋 永 悦 郎
生 活 指 導 主 任	佐々木 玄 吾	石 岡 信 行	藤 本 憲 康	板 谷 敏	白 石 俊 二	野 口 昭 平	小 口 清 一	大 上 琢 磨	秋 山 憲 一	佐 藤 章 吾	荻 沢 モト子
研 究 研 修 主 任	有 泉 徹 郎	紺 屋 富 夫	森 甫	田 森 脩 詮	長 沢 佳都子	山 添 邦 雄	古 谷 孝 太	会 田 尚 子	小板橋 五佐男	小 沢 信	永 井 一 郎
人権尊重の教育担当	古 尾 光 男	高 橋 立 身	井 上 保	笹 岡 佐和子	大 竹 三 郎	曾 我 哲 夫		和 田 文 雄	市 川 忝 子 小板橋 五佐男	佐 藤 章 吾	三 浦 勝 也
国 語 主 任	有 泉 徹 郎	紺 屋 富 夫	和 田 淑 子	田 森 脩 詮	久保田 邦 子	根 岸 優 子	渡 辺 トモ子	岩 井 豊 子	堀 内 美恵子	西 田 陽	若 月 美登里
社 会 科 主 任	齋 木 昭 朗	高 橋 立 身	蔵 元 幸 二	色 川 和 代	長 沢 佳都子	長 田 正 夫	高 橋 茂 子	佐々木 みゆき	園 部 久 子	安 斎 満里子	油 井 朝 子
算 数・数 学 主 任	田 中 隆 夫	宮 坂 恵美子	赤 池 正 人	小 山 富 子	岩 尾 ふ き	弥 延 潤 太	福 島 ちよ子	塩 津 孝 子	竹 下 サ エ	川 田 浩 子	田 中 鈴 子
理 科 主 任	小 幡 建	倉 石 桂	宇留野 勝 幸	佐 野 静 江	岡 田 充 生	鹿島田 康 江	加 藤 タ イ	吉 川 郁 子	秋 山 憲 一	池 田 康 雄	千 台 健 治
音 楽 主 任	保 坂 たか子	大 場 と み	森 甫	村 田 那智子	高 野 紘	嶋 真理子	内 山 美知子	立 花 せつ子	池 田 宏 子	北 原 恒 雄	飯 島 睦 子
図 工 美 術 主 任	酒 井 栄 一	鶴 田 久美子	岩 永 ヒ ラ	渡 辺 芳 郎	戸 塚 春 男	岸 本 和 子	小 口 清 一	沢 田 末 吉	河 合 香 子	高 山 晴 子	佐 藤 カズ子
体育保健体育主任	増 田 実	中 川 金 作	梅 原 秀 明	尾 関 博 文	小 倉 勇	山 添 邦 雄	佐 藤 栄久雄	信 夫 清 彦	嶋 貴 博	比 企 通 男	草 刈 喜 一
技術・家庭（男）主任											
家庭・技術家庭主任	西 山 由美子	島 田 美代子	天 野 正 枝	日下部 芳 子	林 茂 子	清 水 しずか	石 川 成 子	長 尾 節 子	加 藤 美知子	窪 田 弥 生	山 浦 幸 子
外国語（英）主任											
道 徳 主 任	守 屋 ふ み	小 村 満紀子	平 山 毅	田 森 脩 詮	内 藤 まつ代	野 口 昭 平	古 谷 孝 太	大 上 琢 磨	市 川 忝 子	今 野 みち子	三 浦 勝 也
特 別 活 動 主 任	小笠原 久 雄	中 川 金 作	赤 池 正 人	高 倉 教 行	藤 本 大 策	落 合 貴美江	三 浦 みのり	溝 江 恵美子	嶋 貴 博	比 企 通 男	江 口 耕 一
学 校 行 事 主 任	古 屋 光 男	松 井 慶 吾	井 上 保	杉 本 瑛 之	生 田 彰	林 克 己	三 浦 みのり	和 田 文 雄	小板橋 五佐男	内 藤 康	江 口 耕 一
進 路 指 導 主 任											
視聴覚・教育機器主任	片 野 茂 夫	島 田 美代子	天 野 正 枝	岡 島 政 吉	高 田 真 澄	清 水 しずか	中 村 大	川 上 昇 一	小 室 恒	北 原 恒 雄	鈴 木 淳 子
学 校 図 書 館 主 任	守 屋 ふ み	高 島 和 子	関 根 敦 子	飯 田 竹	長 沢 佳都子	立 川 弥 生	後 藤 楚 子	阿 部 二三子	堀 内 美恵子	長 田 裕 子	鷹 尾 富貴江
給 食 主 任	赤 石 亨	塚 本 喜美子	藤 本 美千代	日下部 芳 子	林 茂 子	高 橋 孝 子	伊 藤 清 子	田 美枝子	斉 藤 イ ク	今 野 みち子	草 刈 喜 一
安 全 教 育 主 任	辻 田 静 江	紺 屋 富 夫	藤 本 憲 康	渡 辺 芳 郎	大 竹 三 郎	野 口 昭 平	中 村 大	川 上 昇 一	秋 山 憲 一	池 田 康 雄	秋 永 悦 郎
保 健 主 任	清 雲 よ志子	川 崎 照 子	伊 佐 弘 江	古 越 富 子	井 尻 武 子	長 田 正 夫	松 井 玉 江	信 夫 清 彦	舞 田 章 子	小 沢 信	佐々木 加津子
養 護 主 任	清 水 妙 子	菊 地 直 子	伊 佐 弘 江	古 越 富 子	小 島 典 子	上 山 美智子	松 井 玉 江	小 林 さと子	福 島 雪 江	佐 藤 ヒサ子	佐々木 加津子
管 材 主 任	石 井 三 士	倉 石 桂	下 城 正 二	渡 辺 芳 郎	工 藤 トシ子	伊 東 淳 司	渡 辺 孝 雄	知 花 豊	成 井 朝 雄	郷 原 敦	土 方 聖 子
事 務	上 田 博 文	小 宮 絹 子	下 城 正 二	大 淵 隆 夫	牧 野 誠	伊 東 淳 司	橘 田 晟	知 花 豊	吉 田 達 也	郷 原 敦	石 川 一 政

担 当	学 校	滝 合 小	高 幡 台 小	南 平 小	程 久 保 小	旭 が 丘 小	一 中	二 中	七 生 中	三 中	四 中	三 沢 中
教 務		伊 藤 恵 造	末 継 逸 夫	進 真 郎	上 野 森 良	上 山 洋 一 郎	長 谷 川 忠 男	渡 辺 勉	小 松 文 木	大 塚 長 栄	高 木 宏 文	明 石 敏 春
生 活 指 導		岩 尾 照 夫	河 原 田 桂 子	藤 田 孝 彦	河 野 千 秋	渡 辺 馨 鴻	立 川 泰 司	稲 川 正 義	山 辺 文 男	北 原 景 昭	鈴 木 良 身	鈴 木 清 司
研 究 ・ 研 修		伊 藤 恵 造	末 継 逸 夫	森 清 晃	堀 越 満 枝	上 山 洋 一 郎	宮 田 隆	千 田 正 之	釣 晃 敏	秦 好 一	富 士 堯	大 宅 寛
人権尊重の教育担当		清 水 輝 夫	末 継 逸 夫	高 橋 昭 子	河 野 千 秋	上 山 洋 一 郎	市 塚 正 史	伊 東 道 雄	釣 晃 敏	大 塚 長 栄	六 本 木 茂	柳 瀬 治 男
国 語		川 上 美 穂 子	村 越 裕 子	前 川 花 子	小 畑 智 恵 子	馬 場 富 男	宇 津 木 十 四 男	伊 東 道 雄	永 井 み どり	大 塚 長 栄	田 中 栄 一	佐 藤 良 枝
社 会		伊 藤 恵 造	安 西 利 江	坂 井 和 子	川 原 田 和 子	前 川 せ っ	黒 田 健 蔵	武 藤 光 哉	木 城 裕 彬	富 山 謙 一	樋 口 恢 武	中 村 勝 郎
算 数 ・ 数 学		野 崎 賛	丹 羽 亮 典	河 村 令 子	石 川 茂 子	斉 藤 弥 生	鈴 木 美 代 子	大 庭 和 義	大 藪 和 子	高 見 沢 文 男	丸 山 尚 夫	田 熊 裕
理 科		村 越 正	長 沼 正 幸	森 清 晃	川 上 卓 一	渡 辺 健 一	福 島 良 樹	三 島 敏 史	吉 田 太 郎	高 尾 文 子	工 藤 満 春	原 沢 和 江
音 楽		岡 田 あ っ 子	河 原 田 桂 子	村 上 悦 子	小 堀 こ う 子	伊 東 春 子	青 木 保	村 上 敏 雄	三 津 津 香	河 野 裕 香	西 村 美 紗 子	大 宅 寛
図 工 ・ 美 術		鳥 飼 政 喜	副 田 実 枝	加 納 博 之	松 本 真 知 子	藤 田 富 次 郎	逸 見 敏	北 野 義 昭	中 村 剛 紀	小 林 節 夫	小 畑 亮	乙 黒 静 子
体 育 ・ 保 健 体 育		井 上 善 夫	森 田 芳 博	逸 見 政 一	土 方 邦 男	佐 藤 慎 一	阿 藤 貞 夫	千 田 正 之	小 井 塚 洋 一	加 藤 常 光	鈴 木 健 一	加 藤 邦 子
技 術 ・ 家 庭 (男)							保 阪 暁	飯 島 利 三	三 浦 義 次	菊 地 貞 光	鈴 木 良 身	佐 藤 至 正
家 庭 ・ 技 術 家 庭 (女)		萩 原 章 子	青 柳 佳 子	当 間 糸 子	塚 本 純 子	奈 良 悦 子	筒 井 ハ ル	筆 吉 則 子	高 見 登 志 子	佐 藤 寿 枝	萩 原 典 子	河 田 公 枝
外 国 語 (英)							内 堀 範 子	佐 藤 実 枝 子	山 田 洋 子	遠 藤 仁	久 保 田 俊 司	天 野 和 子
道 徳		清 水 輝 夫	末 継 逸 夫	藤 田 孝 彦	上 野 森 良	上 山 洋 一 郎	山 浦 宏	千 田 正 之	成 舞 京 子	大 坪 久 美 子	設 楽 悦 代	田 熊 裕
特 別 活 動		伊 藤 恵 造	増 田 静 香	武 田 佳 代 子	土 方 邦 男	渡 辺 健 一	古 厩 清 夫	千 田 正 之	山 辺 文 男	加 藤 常 光	西 村 美 紗 子	新 井 教 旦
学 校 行 事		伊 藤 恵 造	末 継 逸 夫	進 真 郎	上 野 森 良	石 井 和 子	長 谷 川 忠 男	渡 辺 勉	小 松 文 木	綿 引 正 己	高 木 宏 文	明 石 敏 春
進 路 指 導							天 野 義 雄	井 田 武	三 浦 義 次	秦 好 一	丸 山 尚 夫	佐 藤 良 枝
視 聴 覚 ・ 教 育 機 器		橋 本 清	青 柳 桂 子	和 田 い さ を	川 井 矩 子	泉 芳 夫	大 山 正 昭	渡 辺 欣 哉	吉 田 太 郎	遠 藤 仁	工 藤 満 春	橋 本 貴 幸
学 校 図 書 館		渡 辺 か ほ	赤 井 光 子	当 間 糸 子	塚 本 純 子	中 村 麗 子	大 貫 米 子	西 村 敦 子	荒 井 式 子	遠 藤 仁	田 中 栄 一	樽 川 和 恵
給 食		萩 原 章 子	須 藤 貞 雄	高 橋 昭 子	渡 辺 み ち 子	奈 良 悦 子	伊 藤 利 子	井 田 武	森 屋 文 子	加 藤 俊 博	門 脇 年 子	河 田 公 枝
安 全 教 育		岩 尾 照 夫	森 田 芳 博	藤 田 孝 彦	佐 多 千 鶴 子	泉 芳 夫	青 木 保	森 紀 子	山 辺 文 男	北 原 景 昭	伊 藤 誠	柁 原 宏 江
保 健		鳥 飼 政 喜	本 間 幸 子	佐 々 木 守 夫	土 方 邦 男	石 原 八 重 子	小 谷 澄 江	須 藤 節 子	臼 井 和 子	伊 佐 節 子	西 川 利 行	富 樫 昭 子
養 護		田 島 佳 子	金 野 峰 子	土 屋 良 子	細 井 聖 子	倉 林 紀 子	小 谷 澄 江	須 藤 節 子	臼 井 和 子	伊 佐 節 子	高 橋 恵 子	富 樫 昭 子
管 材			石 田 義 一		横 山 謙 二	伊 藤 功	古 塚 淳 夫	佐 藤 博 助	吉 岡 興 村	大 室 郁 夫		八 木 守
事 務		藤 井 悦 子	石 田 義 一	田 辺 正 志	横 山 謙 二	伊 藤 功	黒 木 利 武	佐 藤 博 助	吉 岡 興 村	大 室 郁 夫	大 野	八 木 守



園 名 日 野 市 立 第 一 幼 稚 園
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 4 - 3
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 4 1 2 4
順 路 豊 田 駅 より 北 へ 約 1 0 分

園長氏名 江 角 正 子

主任氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
さる。学級 7、定員 280 名
職員教諭 8 名、用務員 1 名。
園敷地 2,700 m^2 、園舎 777 m^2
プレハブ 1 棟。
- 昭 40. 4. 10 開園 園児 280 名
5. 25 創立記念日とす
5. 30 園章制定
- 昭 41. 3. 19 第一回修了児 119 名
- 昭 42. 12. 20 鳥小屋完成
- 昭 43. 9. 6 プール第一次計画完成
(中庭)
- 昭 43. 12. 20 ホール増築完成
- 昭 44. 2. 10 プール第二次計画完成
(プールサイド、シャワー)
- 昭 45. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
事完成
- 昭 45. 7. 15 運動場拡張完成
- 昭 45. 7. 15 園塀ブロック金網に改装完成
- 昭 48. 2. 5 本館下水工事完成
- 昭 48. 3. 14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第一年次)
- 昭 48. 10. 23 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第二年次)
- 昭 50. 3. 10 10 周年記念研究発表会開催
園歌制定
- 昭 50. 12. 25 園舎増築完成
保育室 3、プレイコーナー、図
書コーナー各 1、保健室 1、資
料室 1、屋上、トイレ、物置 1

2. 歴代園長

氏 名 年月 ~ 年月
江 角 正 子 昭 40. 4. 1 ~ 現 在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地およ
び周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり、
比較的閑静な環境にあったが、甲州街道と平行
してそのバイパス的役割をなす道路に面してい
るため近年は交通量も多くなり危険になってき
た。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気ががんばるこども。
- (2) よく見、よく聞き、よく考えるこども。
- (3) やさしい心をもつこども。

5. 本年度指導の重点

教育目標の具現化を図るために学級経営を充
実させる。

- (1) 園をとりまく家庭や地域社会の理解を深め
幼児の実態に即した教育を推進させる。
- (2) ひとりひとりの幼児理解につとめ、幼児の
発達段階に即した適切なねらいを設定し、系
統づける。
- (3) 幼児に与える経験や活動を精進し、その的
確な組織、配列化につとめる。

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教材	そ の 他
1	江 角 正 子	55	園 長	昭 4 0 . 4 . 1	経 営	
2	平 向 邦 江	34	主 任	昭 4 0 . 4 . 1	社 会	教務、庶務、会計
3	田 中 洋 子	28	一年保育	昭 4 7 . 4 . 1	健 康	園内研究、飼育栽培
4	高 橋 悦 子	26	一年保育	昭 4 9 . 4 . 1	社 会	管理
5	村 木 順 子	25	一年保育	昭 4 8 . 4 . 1	音楽リズム	行事
6	会 田 美津子	25	一年保育	昭 4 8 . 4 . 1	言 語	管理、教育相談
7	久 嶋 明 子	25	一年保育	昭 5 1 . 4 . 1	自 然	行事
8	近 間 典 子	24	一年保育	昭 5 1 . 4 . 1	絵画製作	園内研究

8. 本校研究主題の推移

昭和 4 3 年度	丈夫なからだ（体力づくり）
昭和 4 4 年度	「意欲的によく遊べる子」 (1) ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2) 指導過程における指導の方法を中心に
昭和 4 5 年度	4 4 年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和 4 6 年度	教育課程と指導計画の実践にもとづいた再編成
昭和 4 7 年度	母と子のための交通安全教育 ～教育機器を活用して～
昭和 4 8 年度	母と子のための交通安全教育 ～指導計画の作成～
昭和 4 9 年度	幼児と地域の実態を生かした教育課程の編成
昭和 5 0 年度	教育課程にもとづいた望ましい経験や活動の選択
昭和 5 1 年度	「幼児理解」幼児ひとりひとりの理解とその指導法

9. 本校の特色

心身ともに健康な幼児の育成と幼児の幸せを願い、教師、父母が協力して内容の充実深化に力を入れ努力している。

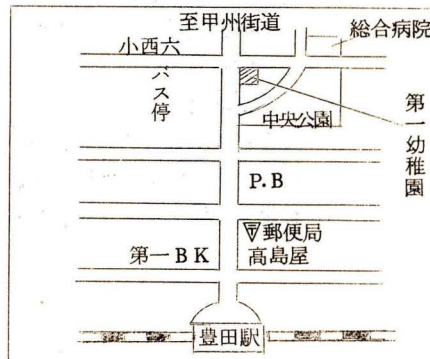
10. 都教育研究員、研究生出身歴

昭和 4 9 年度 研究員 平 向 邦 江

11. 保護者の職員一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	2 1 1	7 8
公 務 員	3 6	1 3
自 営 業	1 7	7
そ の 他	5	2

12. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山4-8-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分

園長氏名 深 澤 真 人

主任氏名 樋 山 欣 子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置。
園児 131名
昭40. 5.10 開校記念日と定める
昭40. 5.30 園章制定
昭41. 2.23 放送施設完成
昭46. 3.10 日野市研究協力園として研究発表を行なう。
昭46. 3.10 第二幼稚園の歌制定
昭47. 3.15 雨天時の泥粘土コーナー完成
昭47. 6.15 園舎園堀完成
昭48. 2.21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
昭49.10.22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会本発表
昭51. 8 全園舎床

2. 歴代園長氏名

氏 名 年 月 年 月
後 藤 正 太 昭40.4~昭42.3
安 積 利 治 昭42.4~昭47.3
小 野 晃 昭47.4~昭50.3
深 澤 真 人 昭50.4~現在

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がちなり、自然に恵まれ景観のよい環境である。
近年は宅地や住宅団地造成により住宅地と化し、都内に勤務する人の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) 明るく ゆたかな心の子ども

- (2) つよいからだで 元気な子ども
(3) なかよくみんなて遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づくり
情操面の育成に力を注ぐ。
(2) 野外活動をとおり、特に一年保育児の遊びの発展経過を観察記録し、正しい集団生活に必要な自主性、協調性を養う。
(3) 交通安全教育と対策
父母の協力のもと活発に行ない、地域の交通安全の向上につとめたい。

6. 幼 児 数

学 年	5 才 児
学 級 数	3
男 児	6 2 名
女 児	5 9 名
計	1 2 1 名

7. 教 職 員

番号	氏 名	年 令	担 任	本 校 就 任 年 月 日	研 究 教 科
1	深澤 真人	53	園 長	51.4.1	経 営
2	樋山 欣子	53	主 任	47.4.1	社 会
3	上野美津枝	37	は し	48.4.1	言 語
4	小川 陽子	28	に じ	48.4.1	健 康
5	石井 菊代	26	つ き	50.4.1	音 楽 リズム

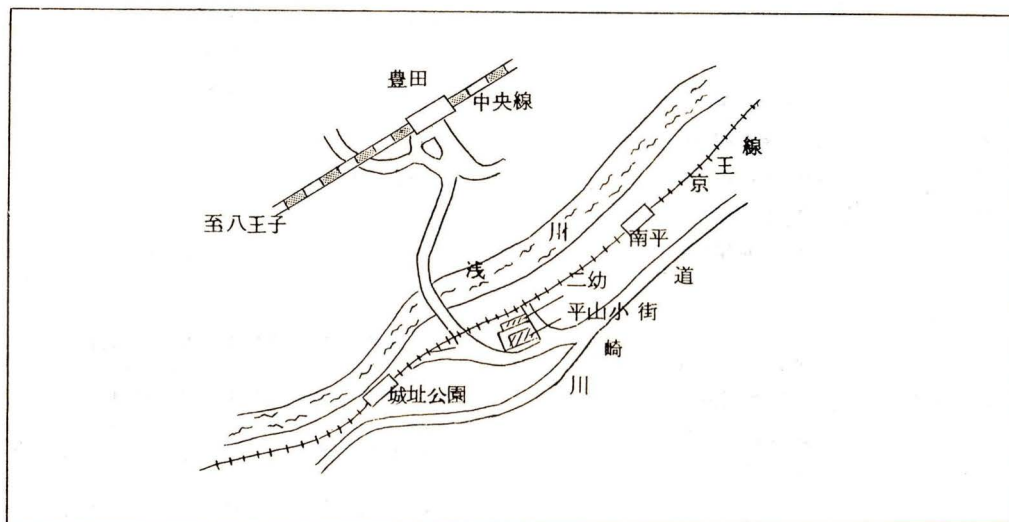
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび だろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続
昭和47年度	自然を生かした野外指導（考える目を養う）
昭和48年度	地域の実態に即した交通安全教育、安全対策の推進－正しい踏切の渡り方
昭和49年度	地域の実態に即した交通安全教育、安全対策の推進－踏切の正しい渡り方

9. 保護者職業一覧

○会社員	83
○公務員	15
○会社	3
○自営業	12
○国体職員	1
○国鉄職員	7

10. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野2800
電 話 0425-81-7127
順 路 国電 日野駅下車 徒歩7分
バス 日野市役所前

園長氏名 溝呂木 桂 次

主任氏名 鷲 見 照 子

1. 沿革の概要

昭41. 2.28 園舎完成
昭41. 4. 1 設置認可
昭41. 4.11 開 園
(4学級・園児数143名)
昭42. 2 園舎東側ブロック塀工事
昭42. 5 裏門両袖ブロック塀工事完了
昭42.10 花壇完成
昭42.11 コークス小屋完成
昭42.11 観察池完成
昭44. 9 砂場用足洗(手洗場)場新設
昭46 市研究協力園
昭47. 3 屋外飼育舎新設
昭51. 2 区画整理のため正門を東側に移動

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ~ 年 月
吉 田 辰 次	41.4 ~ 41.5
永 野 林 弘	41.6 ~ 42.3
吉 田 辰 次	42.4 ~ 44.3
下 田 忍	44.4 ~ 50.3
溝呂木 桂 次	50.4 ~ 現在

3. 地域の環境

- ・田畑(果樹園)、丘、林、川など自然環境に恵まれ、公園、神社、広場などがあり、こども達のあそび場所となっている。
- ・小学校が隣接し、広い校庭が使用できる。
- ・甲州街道(国道20号線)、高幡街道が近いので交通事情も急激に変化してきている。

4. 教育目標

- (1) 意欲をもって活動できる子
ア じょうぶで元気な子
イ 自分を表現できる子
ウ いろいろなことに興味や関心を持つ子
- (2) 友だちと遊べる子
- (3) 情操豊かな子

5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点
ア ひとりひとりの子どもを生かす指導を考える
- (2) 環境構成
ア 日日の指導における環境構成を工夫する
- (3) 家庭との連絡
ア 家庭での子どもの様子を知り、父母と一緒に、その子どもの成長を考えていくようにするため懇談会の持ち方を工夫し家庭との連絡簿を作って園と家庭とで子どものことについて記入する。
- (4) そ の 他
ア 視聴覚教材などを使って、安全指導に力をいれる。

6. 幼 児 数

5才児 4学級
男 71名 計132名
女 61名

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	57	園 長	昭50. 4. 1	経 営	
2	鷺 見 照 子	51	主 任	昭41. 4. 1	自 然	教務・庶務・会計
3	石 川 和 子	32	5才児	昭47. 4. 1	言 語	教育相談
4	斉 藤 伊津子	30	5才児	昭50. 4. 1	音 楽	
5	古 谷 みち子	26	5才児	昭47. 5. 1	社 会	
6	永 瀬 町 子	23	5才児	昭50. 4. 1	健 康	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼・小の関連について
昭和43年度	幼・小の関連
昭和44年度	幼・小の関連「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつちかう指導法
昭和47年度	野外の自然環境
昭和50年度	子どもの行動をどう理解していったらよいか（幼児理解）
昭和51年度	幼児と小動物とのかかわり

9. 本校の特色

特に自然とのかかわり合いの中での教育を考え、園外保育を行って河原や野外で遊ぶことを多くし、園内では幼児と教師と一緒に土を運んだり、はぐしたり、玉石やブロックで花壇を作ることから栽培を始める。そして子ども達が種まきや種集めなどを自然なかたちでできるような環境作りをしている。またすぐ近くに野菜の集荷場があつて飼育物の餌を買わなくてもすむという好条件もあるので、親ウサギから子ウサギが生まれて育つ様子を見せ、子ども達が自分で餌をやったり抱いたりしてその生態や習性を知ることがいいという気持ちが育つようにしている。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科・領域	研究員・研究生別
昭和43年度	鷲見 照子	社 会	研 究 員
昭和49年度	〃	自 然	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会 社 員	92	70	4. 教 員	5	4
2. 公 務 員	18	14	5. そ の 他	3	2
3. 自 営 業	11	8	6. 無 職	5	2

12. 学校に至るまでの地図





園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田 4 3 1 - 6
電 話 0425-83-3903
順 路 立 川⇄高幡不動 京王バス
日野四小前下車 徒歩 5 分

園長氏名 釜 池 博 主任氏名 沖 山 英 代

1. 沿革の概要

昭 47. 8.11 園舎新築工事起工
昭 48. 1.31 園舎完成
昭 48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として
開園
学 級 数 2 級
園 児 数 60 名
教 諭 30 名
用 務 員 1 名
平屋園舎 495 m²
園 敷 地 2008 m²
昭 48. 4.10 入園式挙行
昭 48.10.29 落成式挙行
昭 48.11. 1 開園記念日と定める
昭 48.11. 7 園庭の植樹完了
昭 48.12. 1 鉄骨製藤棚工事完了
昭 49. 3.20 第 1 回修了証書授与式挙行
修了者 46 名
昭 50. 1.13 うさぎ小屋（鉄骨製）工事完了
昭 51. 8.30 各保育室前、テラス工事完了

2. 歴代園長

内 藤 達 夫 48.4.1～昭 52.3
釜 池 博 52.4.1～現 在

3. 地域の環境

本園は、日野橋から東へ通 1 km、多摩川の土手
近くにあり、小学校に隣接している。農業中心の
この地域は、近年急激に宅地化が進み、園舎前
には、中央高速道路が東西に走り、西側の都道も交
通がひんばんである。桑園や梨畑が続く小道には
緑が豊富にあり、四季を通じて野外活動の場にな

っている。園児たちの過半数は四小学区から
通学しているが、その他は、バス又は自転車
（親が付添って）で通園している。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども。
- (2) 意欲的に活動する子ども
- (3) ゆたかな心を持つ子ども

5. 指導の重点

- ① 園児の健康管理に留意し、基本的な生活
習慣を身につけて、園生活が楽しく安全に
おくれるようにする。
- ② いろいろな場面において、積極的に活動
し、進んできまりを守り仲良く集団生活が
できるようにする。
- ③ 幼児が十分活動できるように環境を整え
ゆたかな感受性と創造性の芽ばえを大切に
し、更に友だちを思いやるやさしい心を育
てるようにする。

6. 幼 児 数

	5才児	計
学 級 数	2	2
男	24	24
女	26	26
計	50	50

7. 教 職 員

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	釜 池 博	55	兼園長	昭52. 4. 1	経 営	
2	沖 山 英 代	38	主 任	昭48. 4. 1	言 語	教務・庶務
3	南 谷 彰 子	26	ばら組	昭48. 4. 1	絵画製作	
4	長 友 真 弓	23	ゆり組	昭49. 4. 1	健 康	

8. 研究主題の推移

昭和48年度	野外活動の指導をどのように行なったらよいか～自然環境を利用して～
昭和49年度	上 記 と 同 じ
昭和50年度	上 記 と 同 じ
昭和51年度	上 記 と 同 じ

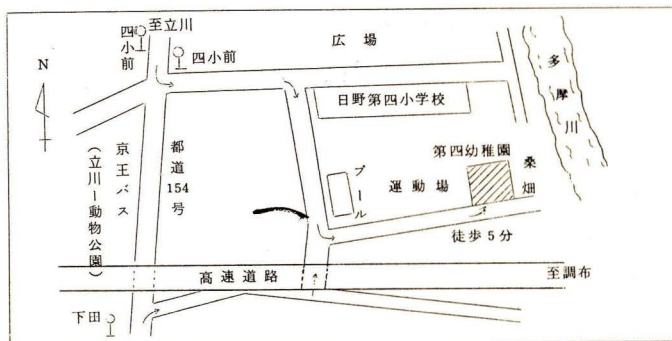
9. 本園の特色

川原遊び、草摘み、梨もぎなど四季折々の自然に親しむ経験や活動を多くして、幼児の体力づくりや協調性の芽ばえが大切に育つよう指導している。

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	44	88
公 務 員	0	0
自 営 業	5	10
そ の 他	1	2

11. 園に至るまでの略図





園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢 175 番地
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅より東へ約 13 分

園長氏名 岡 本 省 吾

主任氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

昭 49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置
さる。

学級数 2. 定員 80 名

教諭 3 名 用務員 1 名

園敷地面積 2,444 m^2

園舎面積 4,288 m^2

昭 49. 4. 15 開園、園児数 62 名

昭 49. 11. 1 落成式

昭 49. 11. 1 開園記念日とする。

昭 50. 1. 20 園庭拡張される。

昭 50. 3. 20 第 1 回修了児 70 名

昭 51. 3. 31 鳥小屋完成

2. 歴代園長

氏 名 年月～年月

岡 本 省 吾 昭 49. 4. 1 ～現在

3. 地域の環境

○京王線高幡不動駅と百草駅のはば中間の位置に
あり、周囲には田んぼ、畑が多く自然に恵まれ
たとなりに小学校、前には中学校があるよい環
境である。

4. 教育目標

○元気に友だちと遊べる子
○豊かな心を持ち、自分を素直に表現できる子
○望ましい生活習慣を身につけた子

5. 本年度指導の重点

○幼児が自ら選んで行う活動を大切にし、ひ
とりひとりの幼児が充実した気持ちのもてる
指導をする。

6. 幼 児 数

	5才児	計
学 級 数	2	2
男	36	36
女	37	37
計	73	73

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	57	園 長	昭 49 . 4 . 1	経 営	
2	坂 口 嘉津子	36	主 任	昭 50 . 4 . 1	言 語	教務、庶務
3	斉 藤 美津子	30	1年保育組 つくし保育組	昭 50 . 4 . 1	自 然	心障児教育
4	小 林 茂 子	26	1年保育組 たんぽぽ組	昭 49 . 4 . 1	健 康	教材、図書

8. 研究主題

昭和 5 0 年度	創造性を高めるための環境設定をどうしたらよいか。
昭和 5 1 年度	〃
昭和 5 2 年度	幼児の興味や関心を育てる環境構成のあり方

9. 本園の特色

- 恵まれた自然環境を利用し、思う存分活動する中で動植物に対する思いやり、いたわりが育つよう指導している。
- 広い園庭をいかして、こどもたちの運動能力を高める遊びを多くとりいれている。

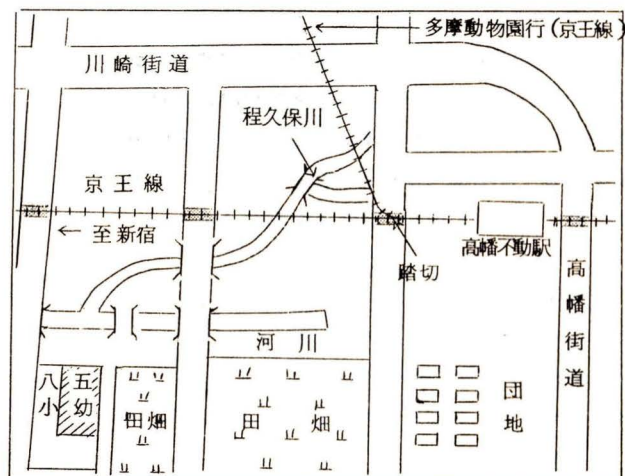
10. 都教育研究員、研究生出身歴

昭和 4 5 年度	研 究 員	坂 口 嘉津子	教科領域	言 語
昭和 5 1 年度	現代化委員	〃	総合的指導とは	

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会社員	6 1	8 3
公務員	6	8
自 営	3	4
その他	4	5

12. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保 876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分、高幡台団地下車

園長氏名 手代木 和 夫

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3.19 園舎完成
昭51. 4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
鉄筋平家建園舎
学級数 2 定員80名
教諭3名、用務員1名
敷地面積 1,408,259㎡
園舎面積 473,386㎡
昭51. 4.10 入園式挙行
園児数 73名
昭52. 3.19 第1回修了児 80名

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
手代木 和 夫	昭51.4.1～

3. 地域の環境

日野市の南東部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地との分岐点に位置し、園舎は緑の森林に囲まれた美しい眺めの場所にある。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動などがあり、野あそびを楽しむ場所も多く、自然を満喫できる。

4. 教育目標

- (1) 明るくはつらつとしたこども
- (2) やさしい心で助け合うこども
- (3) よく考えて行動することも

5. 本年度指導の重点

- (1) 学級経営の充実をはかり、ひとりひとりのこどもを大切に、個性を豊かにのばすようにつとめる。
- (2) 園庭や地域の自然を活用し、自然を通して豊かな人間性や感動する心の芽生えを育てるようにする。

6. 幼 児 数

5 才 児	学 級 数	2
	男	29
	女	42
	計	71

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	手代木 和 夫	58	園 長	昭51. 4. 1	理 科	経 営
2	田 中 澄 子	50	主 任	昭51. 4. 1	社 会	教務・庶務
3	市 川 やす子	28	一 年 保 育 組 一 年 保 育 組	昭51. 4. 1	健 康	教育相談
4	森久保 裕 子	22	一 年 保 育 組 一 年 保 育 組	昭51. 4. 1	音 楽	図 書

8. 本園研究主題の推移

昭和51年度 環境の整備とその活用

昭和52年度 //

9. 本園の特色

- (1) 在園する園児の約85%が、高幡台団地、百草団地の公団住宅から通園している団地幼稚園である。
入園前には、そのほとんどが、何らかの施設で保育の経験をして入園しているため、友だちも多く集団に慣れている。
- (2) 園舎内外の、環境の整備と、その効果的な活用法について力を注ぎ、家庭とも協力しながら園づくりに努力している。

10. 都教育研究員、研究生の生身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭 和 48年度	田中澄子	学校経営	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会社員	56	78.8	その他	3	4.3
自営業	4	5.6	計	71	100
公務員	8	11.3			

12. 園に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第一小学校
 所 在 地 日野市日野2800番地
 電 話 0425-81-0073・0061
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分

校長氏名 溝呂木 桂 次

教頭氏名 石 井 三 士

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校
 第一大学区第八中学区第五十四
 番小学日野学校と称す。(現在
 の中央公民館のとなり 当時神
 奈川県)
 明45. 2.11 校歌、校章制定、校舎改増築、
 校地拡張(現中央公民館の所)
 昭11. 4.29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
 昭15 日野2800番地(現在地)
 に土地900余坪、新校舎建築
 開始。(戦時中軍徴用)
 昭23. 4.25 新校舎に移転完了
 昭25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教
 育課程の研究発足27年3月5
 日発表
 昭28. 8.22 80周年記念プール竣工
 昭38.11. 3 日野市制施行により日野市立日
 野第一小学校と校名を変更
 昭40. 4 防音校舎三期をもって完成
 昭43. 4. 1 日野市研究協力校として
 「教育環境の整備」を主題とし
 て研究発足。
 44年2月21日に研究発表
 昭43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講
 堂として移管
 昭44. 2.21 日野市研究協力校として
 「教育環境の整備について」発
 表
 昭44. 5. 1 東京都学校花壇協力校となる
 昭46. 4. 1 日野市小学校訪問学級(肢体不
 自由学級)設置、5月17日開
 級。

- 昭47. 2 都市計画神明上区画整理事
 業開始、校庭南側一部縮少
 遊具移動
 昭47. 5 ビデオ一式購入(ビデオコ
 ーダー、ビデオカメラ、ビ
 デオモニター等)
 昭48. 4 授業研究校
 昭48.11 創立百周年記念祭
 昭49. 4 授業研究校
 昭50. 4 授業研究校
 昭51. 3 非常階段設置
 教室黒板スチール化10教
 室
 昭51. 4 授業研究校
 昭51. 8 給食配膳室の塗装、スチー
 ル棚設置、
 昭51. 8 理科室の整備(排水、机、
 床タイルの固定
 昭52. 1 黒板のスチール化

2. 歴代校長

- | | 氏 名 | 年月～年月 |
|----|-------|---------------|
| 1 | 日野 義順 | 明 6. 5～明 9. 7 |
| 2 | 国府田 学 | 明 9. 7～明11. 3 |
| 3 | 小川 則要 | 明11. 4～明15. 3 |
| 4 | 鈴木 宗也 | 明15. 4～明16. 8 |
| 5 | 上野 謙松 | 明16. 9～明18. 3 |
| 6 | 二見友三郎 | 明18. 4～明19. 4 |
| 7 | 八木岡寛制 | 明19. 5～明21.10 |
| 8 | 佐野 鶴松 | 明21.11～大25. 3 |
| 9 | 古谷剛次郎 | 大 5. 4～大12. 1 |
| 10 | 河合 平作 | 大12. 2～大15. 3 |
| 11 | 古谷剛次郎 | 大15. 4～昭11. 1 |

- 12 宮川 海三 昭 11. 2 ~ 昭 18. 3
 13 貫井 半蔵 昭 18. 4 ~ 昭 23. 8
 14 小池 嘉一 昭 23. 9 ~ 昭 34. 3
 15 尾崎半次郎 昭 34. 4 ~ 昭 37. 3
 16 五十嵐 光 昭 37. 4 ~ 昭 38. 3

- 17 木村 清 昭 38. 4 ~ 昭 41. 3
 18 吉田 辰次 昭 41. 4 ~ 昭 44. 3
 19 下田 忍 昭 44. 4 ~ 昭 55. 3
 20 溝呂木桂次 昭 50. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近田畑は宅地造成区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは公害におそわれることもほとんどなく、自然の緑の美しい心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

- (1) 科学性を身につける子ども (2) 豊かな心情をもつ子ども
 (3) つよい意志をそだてる子ども (4) じょうぶな体をつくる子ども

年度の重点 「おちつきのある生活をつくり出していく意欲を高める」

—よく聞き、よく見る力を養う—

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア 各 教 科 授業研究を通して教材性の吟味と指導の適正をはかりながら深く考えながら学ぶ子どもを育成する。

イ 道 徳 思慮深い子どもの育成と相まって差別と偏見のない人間形成を目ざして指導にあたる。

ウ 特別活動 集団的な実践活動を通して、児童の所属する集団の一員としての役割を自覚し、集団の運営に進んで参加するように指導する。

(2) 生活指導の重点

集団の秩序と安全保持の立場からよく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級訪問学級	計
学 級 数	4	4	5	4	3	3	1	24
男	95	89	104	85	59	69	5	506
女	67	78	92	62	55	61	1	416
計	162	167	196	147	114	130	6	922

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	研究教科	その他
1	溝呂木 桂 次	57	校 長	50. 4. 1	理 科	経 営
2	石 井 三 士	46	教 頭	49. 4. 1	国 語	”
3	高 木 映 子	42	1 の 1	47. 4. 1	社会,家庭	教 務
4	田 中 隆 夫	25	1 の 2	50. 4. 1	算 数	特 活
5	斎 木 昭 朗	43	1 の 3	41. 9. 16	社 会	生 活
6	吉 成 千津子	27	1 の 4	49. 4. 1	理科,音楽	給 食
7	辻 田 静 江	47	2 の 1	43. 4. 1	図 工	生 活
8	塩 浦 玲 子	30	2 の 2	51. 4. 1	体 育	教 務
9	武 川 俊 子	27	2 の 3	48. 4. 1	体 育	保 健
10	伊 藤 千恵子	24	2 の 4	50. 4. 1	社 会	特 活
11	清 雲 よ志子	56	3 の 1	44. 4. 1	理科,家庭	保 健
12	森 秀 伸	27	3 の 2	50. 4. 1	体 育	特 活
13	岡 本 朋 子	24	3 の 3	50. 4. 1	国 語	図 書
14	赤 石 亨	52	3 の 4	52. 4. 1	国 語	給 食
15	武 藤 志津子	31	3 の 5	50. 4. 1	図 工	生 活
16	片 野 茂 夫	32	4 の 1	41. 4. 1	理 科	視聴覚
17	佐々木 玄 吾	47	4 の 2	51. 4. 1	社 会	生 活
18	久保田 由 子	34	4 の 3	50. 4. 1	国 語	図 書
19	落 合 茂 子	49	4 の 4	50. 4. 1	社 会	教 務
20	守 屋 ふ み	54	5 の 1	46. 4. 1	国語,道德	図 書
21	有 泉 徹 郎	43	5 の 2	52. 4. 1	国 語	教 務
22	小 幡 建	41	5 の 3	52. 4. 1	理 科	生 活
23	野 口 すみ子	36	6 の 1	50. 4. 1	算 数	生 活
24	古 屋 光 男	47	6 の 2	49. 4. 1	理 科	教 務
25	小笠原 久 雄	35	6 の 3	51. 4. 1	体 育	特 活
26	保 坂 たか子	27	音 楽	52. 4. 1	音 楽	保 健
27	酒 井 栄 一	64	図 工	42. 4. 1	図 工	生活,視聴
28	西 山 由美子	27	家 庭	51. 4. 1	家 庭	給 食
29	増 田 実	28	体 育	48. 5. 1	体 育	視聴覚
30	金 井 信 房	61	訪 問	51. 4. 1	図 工	生 活
31	中 村 由美子	25	”	50. 9. 16	音 楽	生 活
32	清 水 妙 子	35	養 護	49. 4. 1	体 育	保 健
33	上 田 博 文	41	事 務	47. 4. 1		事 務
34	山 田 悦 子	21	栄養士	52. 4. 1		給 食
35	蓮 池 守 一	44	指導主事	48. 4. 1	社 会	市教委
36	井 澤 祐 一	43	”	52. 4. 1	理 科	市教委

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不 詳
昭和41年度	教材の系統制について
昭和42年度	学校運営の能率化
昭和43年度	学校運営の能率化、教育環境の整備
昭和44年度	教育環境の整備と活用
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導
昭和46年度	考える子どもの育成（教科、道徳、特別活動を通して）
昭和47年度	考える子どもの育成（学年経営、学級経営、指導の重点、重点研究の3本柱）
昭和48年度	「考える力をのばす」
昭和49年度	「考える力をのばす」
昭和50年度	「考える力をのばす」
昭和51年度	「考える力をのばす」（特に事実をきちんと見つめること、表現力を高める）
昭和52年度	「おちつきのある生活をつくり出していく意欲を高める」（よく聞き、よく見る）

9. 本校の特色

- 全職員で授業研究に取り組む
- 教育環境の整備
学校花壇、教材園、自然園等の充実

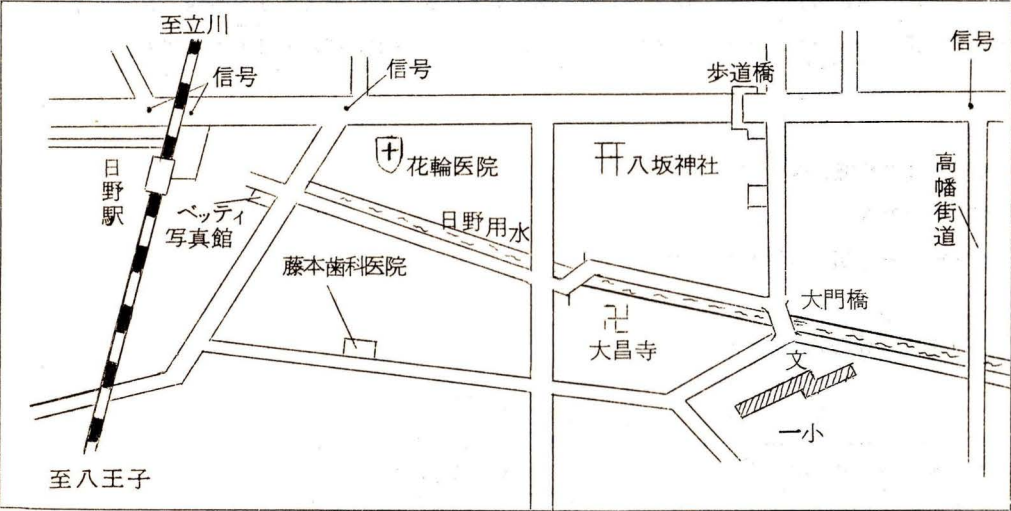
10 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別
昭和37年度	古 屋 光 男	理 科	研 究 員
昭和42年度	上 山 洋一郎	道 徳	〃
〃	村 上 澄 江	〃	〃
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	〃
〃	奈 良 悦 子	家 庭 科	〃
昭和45年度	松 井 玉 江	養 護	〃
昭和46年度	青 柳 俊 夫	体 育	〃
昭和47年度	安 藤 和 枝	給 食	〃
昭和48年度	越 村 清 治	社 会	〃
昭和50年度	高 木 映 子	教育方法	〃
昭和49年度	小笠原 久 雄	特 活	〃
昭和50年度	佐々木 玄 吾	社 会	〃
昭和51年度	片 野 茂 夫	理 科	〃

11 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	377	55.19	運 論 通 信	23	3.37
公 務 員	81	11.85	農 業	9	1.32
自 宅 商	43	6.29	自 営 業	71	10.39
自 宅 工	27	3.96	そ の 他	20	2.93
サ ー ビ ス 業	16	2.34	無 職	8	1.18
自 由 業	8	1.18		683	100

12 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第二小学校
所 在 地 日野市東豊田 2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851
順 路 中央線 豊田駅下車 徒歩10分
京王線 南平駅下車 徒歩17分

校長氏名 永 井 雅 夫

教頭氏名 大 熊 喜 一

1. 沿革の概要

- 明 7. 3 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平太夫氏長屋を仮校舎にする。
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分け、下等小学校は満 6 才より 9 才、上等小学校は満 10 才より 13 才までとする。
- 明 12. 2 豊田 1 3 2 0 番地善生寺の西隣に新校舎建築
- 明 26. 4 東京府に編入される
- 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
- 昭 17. 豊田 2 1 8 番地に新校舎建築
- 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭 27. 12 第一次増築 2 階建 8 教室
2 7 6 坪 拡張校地 3 6 6 坪
- 昭 30. 4 日野町日野第二小学校と校名変更
- 昭 31. 4 第 2 次増築 2 階建 6 教室
1 6 8 坪 拡張校地 3 6 6 坪
- 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭 43. 6 防音改築第 1 期工事完成
- 昭 44. 3 防音改築第 2 期工事完成
- 昭 45. 2 日野市指定研究「教材教具の整備と活用」研究発表をおこなう。
- 昭 46. 2 体育館工事落成
- 昭 46. 4 プレハブ教室 1 教室設置
- 昭 46. 5 全教室テレビ配置
- 昭 46. 12 体育倉庫新設
- 昭 48. 3 安全のために西側に通用門設置
- 昭 49. 3 新校舎増築（8 教室）
- 昭 49. 11 創立 100 周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名

小 山 茂 平	昭 21. 6~27. 9
増 島 光 一	27. 10~34. 3
小 池 嘉 一	34. 4~38. 3
森久保 惣 次	38. 4~42. 3
後 藤 正 太	42. 4~47. 3
安 積 利 治	47. 4~50. 3
永 井 雅 夫	50. 4~現在

3. 地域の環境

- (1) 本校の学区は、かつては、豊田の里、と呼ばれ、静かな農村であった。ところが、近年になって急激に宅地造成が進み、住宅が急増し、農家の割合が 4 % にも激減している。
- それでも、浅川を中心として田畑が散在し、屋上から見る景観はすぐれて美しい。
- (2) また、ローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- (3) さらに、父母は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- (4) 一方、学校前の都道をはじめとして、学区内の道路は、どこも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも、交通量が

しだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- (ア) 指導内容を精選し、指導の効果をたかめる。
- (イ) 授業研究を行い、指導法の研究を実践する。

イ 道徳

教育目標と道徳の徳目との関連をはかり、効果的な指導を行う。

ウ 特別活動

- (ア) 集団行動をととして心身の調和的発達をはかる。
- (イ) 児童会、学級会委員会活動、クラブ活動をととして、自主的な実践態度を育てる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア 集団生活をととして基本的生活習慣の育成をはかる。

イ 校内、校外生活について、安全教育の徹底をはかる。

(3) その他の配慮事項

特に交通事故の防止について、万全を期する。交通訓練の実施。学校だより等により家庭に協力依頼する。

ア 避難訓練をととして、防災指導の徹底をはかる。

イ 教育機器、資料の積極的な活用と整備をはかる。

6. 児童数

学年 学級数 性別	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
	4	4	4	4	3	3	22
男	102	96	69	76	70	65	478
女	70	82	70	69	53	55	398
計	172	178	139	145	123	120	877

7. 教 職 員

番号	氏 名	年齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	永 井 雅 夫	55.6	1の1	50. 4. 1	経 営	
2	大 熊 喜 一	48.6		51. 4. 1	経 営	
3	峰 岸 サ ヨ	49.8	○1の1	42. 4. 1	算 数	○就学委員会
4	伊 藤 洋 子	30.4	1の2	52. 4. 1	社 会	
5	茅 野 とめ子	31.9	1の3	52. 4. 1	国 語	
6	小 村 満紀子	39.5	1の4	51. 4. 1	○道 徳	
7	高 島 和 子	49.1	○2の1	45. 4. 1	社 会	○図書館・視聴覚○評価委員会
8	宮 本 容 子	27.5	2の2	47. 4. 1	音 楽	
9	戸 嶋 レイ子	29.1	2の3	51. 4. 1	理 科	
10	紺 屋 富 夫	31.5	2の4	50. 4. 1	○国 語	○重点研究
11	川 崎 照 子	48.1	○3の1	47. 4. 1	道 徳	○保健
12	長 田 よし子	22.3	3の2	52. 4. 16	理 科	
13	吉 沢 佐久子	44.10	3の3	51. 4. 1	国 語	
14	塚 本 喜美子	32.11	3の4	49. 4. 1	理 科	○給食
15	石 岡 信 行	51.1	○4の1	45. 4. 1	国 語	○生活指導
16	宮 坂 恵美子	33.1	4の2	49. 4. 1	○算 数	
17	高 橋 淑 子	24.6	4の3	49. 4. 1	理 科	
18	中 川 金 作	51.11	4の4	52. 4. 1	○体 育	○特別活動
19	高 橋 立 身	50.5	○5の1	51. 4. 1	○社 会	人権尊重の教育
20	島 田 美代子	28.2	5の2	46. 4. 1	○家 庭	
21	沢 本 年 人	32.2	5の3	50. 4. 1	体 育	○体育委員会
22	田 村 利 樹	41.6	○6の1	44. 4. 1	体 育	○卒業委員会
23	小 沼 利 江	23.0	6の2	51. 4. 1	家 庭	
24	松 井 慶 吾	52.11	6の3	46. 4. 1	道 徳	○教務
25	倉 石 桂	66.4	○理 科	40. 4. 1	○理 科	
26	大 場 と み	44.4	音 楽	48. 4. 1	○音 楽	
27	樋 口 静 江	25.7		49. 4. 1		
28	鶴 田 久美子	40.5	図 工	45. 4. 1	○図 工	○学芸委員会
29	菊 地 直 子	27.2	養 護	52. 4. 1	養 護	
30	小 宮 絹 子	25.7	事 務	52. 4. 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導、国語科における読速力の指導
昭和47年度	鉄棒運動の段階的指導、数と計算領域の指導
昭和48年度	数と計算領域の指導、器械運動の段階的指導
昭和49年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和50年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和51年度	主体的に学習し活動する子どもを育てる研究
昭和52年度	各教科の学年別学習到達目標の設定に関する研究

9. 本校の特色

- (1) 本校は、開校百三年の伝統を誇る由緒ある学校である。充実した百年祭も終わり、父母の協力のもと、これまでの歴史をだいにしながら新たな伝統づくりに励んでいる。
- (2) 児童の体位は標準程度であるが、体力はすぐれている。これは、学区内が自然環境に恵まれていることが大きな要因と考えられる。
- (3) 児童の心情は、すなおであり、態度もまじめである。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

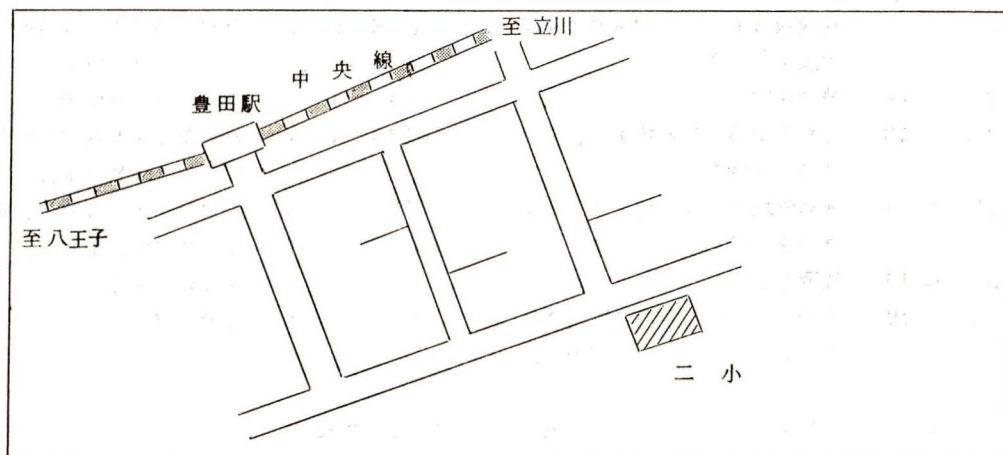
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和43年度	赤 石 亨	給 食	研 究 員
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
〃	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生
昭和39年度	大 熊 喜 一	生活指導	研究生（東京大学）
昭和48年度	高 橋 立 身	教育方法	研 究 員
昭和51年度	菊 地 直 子	学校保健	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

S 47. 5.1 現在

職 種	家庭数	%	職 種	家庭数	%
企 業 経 営 者	1 4	2	労 務 的 従 業 者	5 6	9
専 門 技 術 的 職 業	1 1 1	1 8	サ ー ビ ス 従 業 員	3 0	5
管 理 的 職 業	5 6	9	農 林 漁 業 従 事 者	2 1	4
小 企 業 者	5 8	1 0	そ の 他	2 2	4
事 務 的 職 業	2 3 5	3 9	計	6 0 6	1 0 0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 在 地 日野市日野台 2 丁目 1 番地 1 号
電 話 0425-81-0101
0850
順 路 中央線 日野駅下車徒歩 1 5 分

校長氏名 平 松 健太郎

教頭氏名 津野田 昭 二

1. 沿革の概要

- 昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童 1 ～ 3 年 340 名
教室 4、全学年 2 部授業
- 昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する。
児童数 696 名、教室 9、4 年
生迄 2 部授業
- 昭 25. 7. 18 校章制定
- 昭 25. 9. 19 4 教室増築、教室数 13、3 年
まで 2 部授業
- 昭 27. 4. 15 4 教室増築、教室数 17、2 年
まで 2 部授業
- 昭 27. 6. 10 校歌制定
- 昭 28. 6. 10 校地 850 坪拡張、6 教室増築
教室数 23、2 部授業解消され
る。
- 昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭 32. 3. 4 旧教室 4 を取除き 6 教室を増築
教室数 25、児童数 869 名
- 昭 33. 8. 3 給食調理室完成
- 昭 33. 8. 3 大小プール落成
- 昭 34. 3. 校地 1100 坪拡張
- 昭 34. 5. 11 34 年度東京都小学校理科教育
研究協力学校に指定される。
- 昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭 35. 6. 10 開校 10 周年記念日を迎え記念
式、祝賀会を催す。
- 昭 37. 4. 5 校門完成
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日
野第三小学校と校名を変更。
- 昭 39. 6. 2 放送室、用務員室完成
- 昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭 42. 9. 1 3 年以上新校舎使用開始、順次

に木造旧校舎解体

- 昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野
台 2 丁目 1 番地 1 号
- 昭 44. 12. 20 学校北側の外柵落成
- 昭 45. 6. プレハブ 2 教室落成
- 昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭 46. 4. 20 プレハブ 2 教室増設
- 昭 47. 4. 1 プレハブ 2 教室増設
- 昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎 9 教室増築落成
プレハブ 4 教室撤去
- 昭 50. 2. 25 鉄筋新校舎（5 教室、職員
室、校長室、事務室、放送
室など）竣工
- 昭 50. 6. 1 校旗制定

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
高 野 忠 正 (事務取扱)	昭 25. 6.10.～ 26. 3.12
高 野 忠 正 (校長)	昭 26. 3.13～ 27. 9.30
尾 崎 半次郎	昭 27. 10. 1～ 34. 3.31
五十嵐 光	昭 34. 4. 1～ 37. 3.31
塚 本 正	昭 37. 4. 1～ 41. 3.31
池 田 瑞 男	昭 41. 4. 1～ 47. 3.31
岩 井 庄 三	昭 47. 4. 1～ 50. 3.31
平 松 健太郎	昭 50. 4. 1

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔800mの日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり、台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法に基づいて、民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

○健康で明るい子ども ○よく考える子ども ○責任を果たす子ども

※ 指導の重点 主体的に考え行動することの育成

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

主体的に考え、学習にとりくむことのできる子どもの育成

- 友だちと協力して学習をすすめることができる。
- 自分の意見を積極的に述べたり、質問したりすることができる。
- 自分から課題をみつけて解決のため努力することができる。
- 話をよく聞き自分の考えをもつことができる。

イ 道徳

道徳的判断が行動化されることのできる子どもの育成

- 先生や友だちに対してきちんと挨拶ができる。
- 公共物の後始末をきちんとすることができる。
- 心身障害学級と仲よく協力して学校生活ができる。

ウ 特別活動

主体的に活動にとりくむことのできる子どもの育成

- 児童活動を主体的にすすめ、特に集会活動の企画や運営ができる。
- 係活動や委員会活動に積極的にとりくむことができる。
- 低、中、高学年相互に縦の協力助け合いができる。

(2) 生活指導の重点

社会生活のきまりを身につけ主体的に実践できることのできる子どもの育成

- 物を大切に扱い、後始末がきちんとできる。
- 廊下や道路での正しい歩行ができる。
- 先生や友だちの話を静かに聞くことができる。

(3) その他の配慮事項

- 心身障害児学級と一般学級との教師相互、児童相互の交流の場を積極的に設け、障害をもつ児童に対して、正しい認識と理解を深める。

- 交通安全日、避難訓練を月1回実施し、安全教育の推進をはかるとともに安全対策に万全を期す。
- 校舎内外の環境整備と美化に努める。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	ひばり	計
学 級 数	6	5	5	6	4	5	2	33
男	129	112	107	117	95	102	9	671
女	112	91	103	116	76	89	4	591
計	241	203	210	233	171	191	13	1,262

7. 教 職 員 ※年令は昭和53年3月現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	平 松 健太郎	53	校 長	昭50.4.1	学校経営	
2	津野田 昭 二	51	教 頭	52.4.1	学校経営	
3	有 馬 由紀子	33	1 の 1	48.4.1	図 書 館	保健、教務（産休中）
4	村 川 敬 子	26	1 の 2	49.4.1	音 楽	給食、教務
5	清 成 純 子	24	1 の 3	52.4.1	社 会	管理、清掃
6	福 地 保	48	1 の 4	51.4.1	理 科	校内指導、教務
7	渡 辺 静 枝	28	1 の 5	48.4.1	図 工	校外指導、教務
8	中 原 正 子	33	1 の 6	49.4.1	図 工	保健、教務
9	蔵 元 幸 二	36	2 の 1	50.4.1	社 会	給食、庶務
10	長 沼 良 子	29	2 の 2	48.4.1	家 庭	保健、職員福祉
11	吉 川 都 子	34	2 の 3	42.4.1	算 数	管理、清掃
12	橋 本 美千代	49	2 の 4	42.4.1	児童文化	給食、庶務
13	市 川 純 子	28	2 の 5	51.4.1	児童文化	特活、管理
14	高 野 ちひろ	28	3 の 1	49.4.1	図 書 館	教務、清掃
15	井 上 明 子	28	3 の 2	47.4.1	音 楽	保健、職員福祉
16	三 村 礼 子	43	3 の 3	50.4.1	国 語	給食、教務
17	金 沢 真 弓	24	3 の 4	52.4.1	図 書 館	特活、管理
18	井 上 保	48	3 の 5	44.4.1	社 会	教務主任、特活
19	山 口 和 子	51	4 の 1	50.4.1	道 徳	特活、庶務
20	橋 本 和加子	49	4 の 2	42.4.1	図 書 館	給食、管理
21	矢 野 百合子	32	4 の 3	49.4.1	国 語	庶務、清掃
22	平 山 毅	44	4 の 4	52.4.1	道 徳	特活、教務
23	梅 原 秀 明	25	4 の 5	50.4.1	体 育	校内指導、管理

番号	氏 名	年齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
24	種 田 嘉 枝	43	4 の 6	昭 49. 4. 1	図 書 館	保健、庶務
25	山 田 一 夫	29	5 の 1	47. 4. 1	児童文化	校外指導
26	和 田 淑 子	45	5 の 2	52. 4. 1	国 語	保健、教務
27	赤 池 正 人	41	5 の 3	51. 4. 1	算 数	特活、教務
28	広 川 やよい	29	5 の 4	52. 4. 1	社 会	教務、清掃
29	川原田 和 子	34	6 の 1	49. 4. 1	理 科	保健、教務
30	藤 本 憲 康	48	6 の 2	47. 4. 1	理 科	生活指導主任、教務
31	篠 原 正 人	27	6 の 3	50. 4. 1	国 語	校外指導、教務
32	浜 野 美 広	28	6 の 4	48. 4. 1	視 聴 覚	特活、管理
33	関 根 敦 子	45	6 の 5	51. 4. 1	図 書 館	給食、管理
34	森 田 隆 子	31	ひ ば り	46. 4. 1	心障教育	保健、職員福祉
35	足 立 光 江	26	〃	50. 4. 1	心障教育	教務、清掃
36	西 山 伸	31	〃	48. 4. 1	心障教育	教務、清掃
37	麻 生 文 雄	36	〃	50. 4. 1	心障教育	校内指導、教務
38	宇留野 勝 幸	28	理 科	51. 4. 1	理 科	特活、管理
39	森 甫	50	音 楽	43. 4. 1	音 楽	校外指導、管理
40	岩 永 ヒ ラ	51	図 工	51. 4. 1	図 工	校内指導、教務
41	天 野 正 枝	27	家 庭	46. 9. 1	家 庭	校外指導、教務
42	伊 佐 弘 江	42	養 護	51. 4. 1	保 健	保健、教務
43	下 城 正 二	26	事 務	52. 4. 1		
44	和 田 房 子	30	栄 養 士	49. 4. 1		
45	高 田 ふ み	60	1 の 1	.	算 数	産休代替
46	西 川 征 矢	32		48. 4. 1		組合専従

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	情緒の安定をはかり、基本的生活態度を育成する。
昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむこどもの育成をはかる。
昭和48年度	主体的な学習態度や生活態度の育成をはかる。そのための適切な指導内容・指導方法等について研究を深める。
昭和49年度	主体的に考え行動することどもの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和50年度	主体的に考え行動することどもの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和51年度	主体的に学習にとりくむ子どもの育成
昭和52年度	主体的に考え行動することどもの育成

9. 本校の特色

- 児童は明るくすなおで、決まったことや言われたことはよくするが、やや主体性を欠き、わばり強くやりぬこうとするたくましさがない。
- 校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また心障学級があり、教育相談の研修に力を入れている。
- 多摩川をのぞみ、たんぼ、はたけ、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。
- 父母は、教育に対する関心が深く、PTAは自主的に活発に活動している。住宅は個人住宅が約7割を占め、近年、団地などが建設され、児童数も増加しつつある。

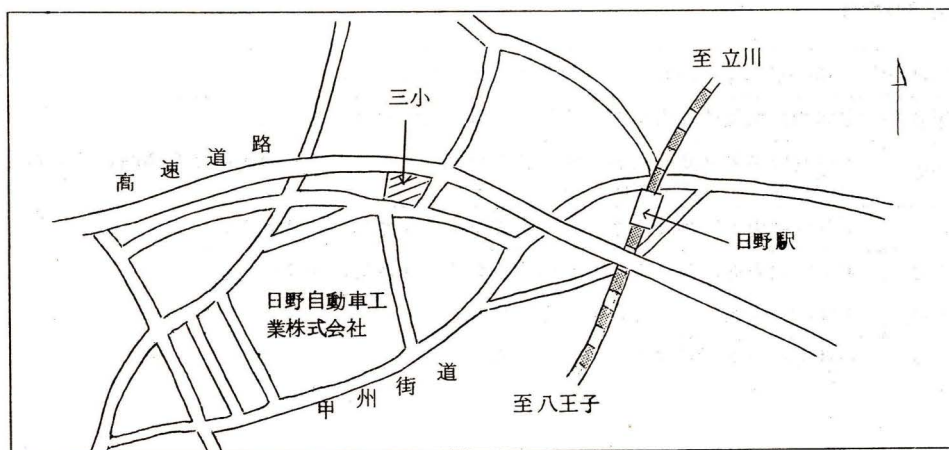
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和49年度	松日楽 敬 治	理 科	現代化委員
昭和51年度	麻 生 文 雄	心障教育	研 究 員
昭和52年度	伊 佐 弘 江	保 健	現代化委員

11. 保護者の職業一覧（※昭和51年4月10日現在）

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	598	64.0	教 職 員	21	2.3
公 務 員	93	10.0	農 業	10	1.1
自 宅 商	61	6.5	建 築 関 係	36	3.9
自 宅 工	27	2.9	無 職	9	1.0
運 輸 交 通 業	26	2.8	そ の 他	51	5.5
			計	932	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第四小学校

所 在 地 日野市石田430番地

電 話 0425-81-0038

順 路 日野駅から立川バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から多摩動物公園行バス 四小
前下車 徒歩2分

校長氏名 釜 池 博

教頭氏名 大 島 昭 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 下田学舎
21.11. 下田小学校
41. 3 日野小学校下田分校場
昭29. 8.18 校地決定 4259.14坪
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開
校記念日とする
30.12.22 校章制定
30.12.25 第三期校舎竣工
31. 3. 5 校旗完成
32.11.20 学校給食開始
35. 7.20 プール落成式並祝賀会
36. 3.26 第三期校舎落成式
36.11. 1 校歌発表会、以後この日を開
校記念日とする
39. 6.10 校地拡張及防音校舎に改築が
決定
40. 3.31 防音校舎9教室完成
41. 3.31 防音校舎第2期工事完了
14教室完成
41. 7. 9 防音校舎落成、独立11周年
下田学舎創立92周年記念式典
43.11.27 統計教育研究指定校として研
究発表会をする。(都、市指
定校)
45. 3.31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成
46. 7. 5 遊び開放用物置、便所設置
46. 8.31 理科室給排水、配電設備設置
47. 6.30 裏庭花だん新設
47. 9.30 体育倉庫新設、校長室、保健
室移転、印刷室新設

- 昭49. 2. 7 事務室設置、飼育舎新設
49. 9.15 新校舎と体育館の渡り廊下改
修、危険物倉庫新設
50. 7.20 給食室、用務員室改修

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
浦 上 増太郎	昭30.3.29～36.3.31
田 中 善 次	36.4. 1～44.3.31
森 巖	44.4. 1～47.3.31
内 藤 達 夫	47.4. 1～52.3.31
釜 池 博	52.4. 1～現在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯
9地区1900戸である。甲州街道から約1km南
にへだたった多摩川あたりにくらしい、田畑に
囲まれ、前面に中央高速道路が走っている。米
どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域で
ある。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が漸次進め
られ田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

地域社会の特性を生かし、児童の実態を把
握し、個性と能力に即し、児童の日常生活を
基盤として次の事項を目標とする。

1. 丈夫な身体で 健康安全教育
2. いつも元気に 明朗で活動的な人間
の育成
3. 何事も自分で考え 真実を求め科学する
心の育成

4. 仲 よ く 人間尊重と協力奉仕する民主的社会人の育成

5. 学びましょ う 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。

イ あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習意欲を高めると共に、計画的な体力作りを推し進める。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ 道 徳

(ア) 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。

(イ) よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ 特別活動

各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる。

(2) 生活指導の重点

集団生活をととして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しくするために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

ア 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。

イ 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

(3) その他の配慮事項

○ 朝の児童集会活動を充実し、教師と児童、児童間の心の結びつきと体力の向上に努める。

○ 地域の子ども会と連絡をとり、校外生活指導を充実する。

○ 本年度の研究主題「子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究」

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	3	3	4	3	3	19
男	69	58	68	69	66	57	387
女	65	64	64	74	53	71	391
計	134	122	132	143	119	128	778

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	釜 池 博	55	校 長	52. 4. 1	学校経営	
2	大 島 昭 子	50	教 頭	49. 4. 1	学校経営	
3	飯 田 竹	33	1 - 1	48. 4. 1	図 工	図 書 館
4	貫 井 春 子	48	1 - 2	52. 4. 1	体 育	特 活
5	佐 藤 操	28	1 - 3	52. 4. 1	社 会	特 活
6	板 谷 敏	48	2 - 1	46. 4. 1	社 会	生活指導主任
7	色 川 和 代	30	2 - 2	47. 4. 1	社 会	視 聴 覚
8	渡 辺 世津子	29	2 - 3	49. 4. 1	音 楽	特 活
9	遠 藤 綾	51	3 - 1	48. 4. 1	算 数	保 健
10	吉 村 正 三	26	3 - 2	52. 4. 1	体 育	保 健
11	窪 田 正 子	31	3 - 3	43. 4. 1	国 語	図 書 館
12	越 村 あや子	28	4 - 1	49. 4. 1	算 数	教育相談
13	岡 島 政 吉	27	4 - 2	51. 4. 1	体 育	視 聴 覚
14	小 山 富 子	27	4 - 3	51. 4. 1	算 数	給 食
15	杉 本 瑛 之	50	4 - 4	44. 4. 1	理 科	教育相談
16	笹 岡 佐和子	40	5 - 1	50. 4. 1	家 庭	図 書 館
17	菊 地 敬 子	27	5 - 2	50. 4. 1	国 語	生活指導
18	高 倉 教 行	48	5 - 3	45. 4. 1	国 語	教務主任
19	田 森 伸 詮	48	6 - 1	52. 4. 1	国 語	研究主任
20	日下部 芳 子	56	6 - 2	43. 4. 1	家 庭	給食主任
21	尾 関 博 文	38	6 - 3	51. 4. 1	体 育	生活指導
22	佐 野 静 江	23	理 科	51. 4. 1	理 科	視 聴 覚
23	村 田 那智子	38	音 楽	46. 4. 1	音 楽	道 徳
24	渡 辺 芳 郎	54	図 工	39. 4. 1	図 工	管財主任
25	古 越 富 子	21	養 護	51. 4. 1	保 健	保健主任
26	大 淵 隆 夫	31	事 務	48. 4. 1	事 務	庶務主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行、指導案作成の研究
昭和42年度	都、市研究協力校、統計教育
昭和43年度	同 上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる。
昭和45年度	読み、解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導
昭和47年度	子どもが生き生きとした学習をするくふう→算数（計算、文章題）
昭和48年度	子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究→国語（かん字の指導）
昭和49年度	” （国、算、社 指導計画の作成、指導法の工夫）
昭和50年度	” （ ” ” ” ）
昭和51年度	” （国語科 ” ” ）
昭和52年度	” （国語における主体学習をととして）

9. 本校の特色

本校は過去数年、統計教育に取り組んできた。その成果を更に深化拡充するため、昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究を進めている。児童の実態についていえば、まじめにこつこつと努力する面はみられるが、自らの力で思考し、自らの力で解決しようとする力が十分育っていないようである。今年度は特に特別活動における児童の自主性を伸ばすことに力を入れると共に、体育的行事や日常生活における体力作りももり上げ、身心両面における児童の主体性の伸長をめざして研究に取り組んでいる。

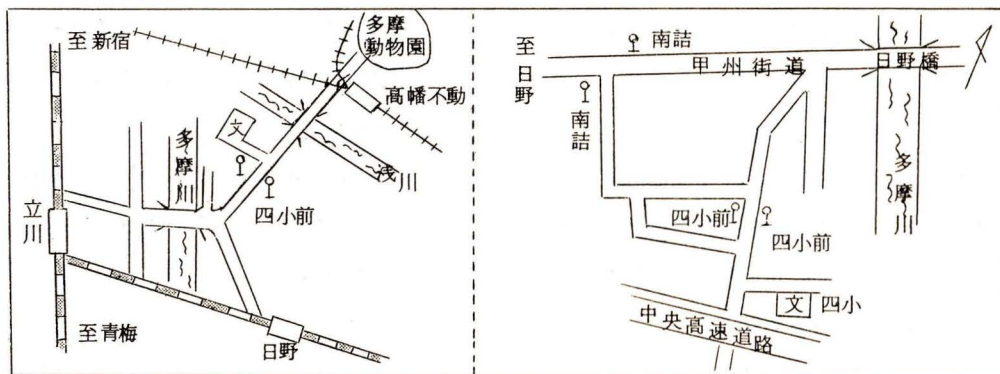
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠三郎	音 楽	”
昭和37年度	井之下 茂	体 育	”
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	”
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	”
昭和46年度	亀 山 恵之助	特 活	”
昭和49年度	上 野 森 良	国 語	”
昭和51年度	高 倉 教 行	特 活	”

11. 保護者の職業

種類 年	会社員	公務員	教員	交通・運輸	土建業	農業	工業員	自宅工	自宅商	その他	無職	合計
1	36	8	2	5	3	0	4	4	11	3	0	76
2	31	5	1	2	11	3	5	4	6	0	0	68
3	53	6	0	3	4	4	2	6	3	3	1	85
4	68	6	4	5	14	2	10	5	8	3	0	125
5	64	12	1	4	10	1	5	7	4	3	1	112
6	50	12	0	4	15	4	20	7	12	4	0	128
合計	302	49	8	23	57	14	46	33	44	16	2	594
%	50.8	8.2	1.3	3.9	9.6	2.4	7.7	5.6	7.4	2.6	0.3	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 五 小 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 6 - 2 1 - 1
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 4 0 7 (代) ・ 0 4 4 5
順 路 豊 田 駅 北 口 より 京 王 バ ス 日 野 駅 行 き
五 小 前 に て 下 車
甲 州 街 道 を 通 る バ ス (京 王 ・ 都) に 乗
り 日 野 自 動 車 工 場 前 下 車

校長氏名 多 昌 直 之

教頭氏名 近 内 信 輝

1. 沿革の概要

昭 34. 4. 1 日野市立日野第五小学校開校
昭 34. 4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
昭 34. 6. 8 第 1 期工事完成 新校舎にて授業開始 (現在地)
昭 35. 9. 13 第 2 期工事完成 2 部授業解消
昭 36. 5. 31 第 3 期工事完成
昭 36. 8. 28 大プール、小プール竣工
昭 38. 2. 20 校章制定
昭 39. 3. 11 校歌発表会
昭 39. 3. 25 校旗制定 (卒業記念寄贈品)
昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭 42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭 43. 5. 20 体育館竣工
昭 44. 3. 3 創立 10 周年記念式典
昭 50. 4. 1 訪問学級設置
昭 51. 3. 31 校舎全面的改修着手

2. 歴代校長

氏 名

増 島 光 一 昭 34. 4. 1 ~ 昭 36. 3. 31
浦 上 増 太 郎 昭 36. 4. 1 ~ 昭 39. 3. 31
福 寿 文 雄 昭 39. 4. 1 ~ 昭 42. 3. 31
星 野 正 男 昭 42. 4. 1 ~ 昭 47. 3. 31
荒 井 一 男 昭 47. 4. 1 ~ 昭 49. 3. 31

三 井 知 夫 昭 49. 4. 1 ~ 昭 52. 3. 31
多 昌 直 之 昭 52. 4. 1 ~ 現 在

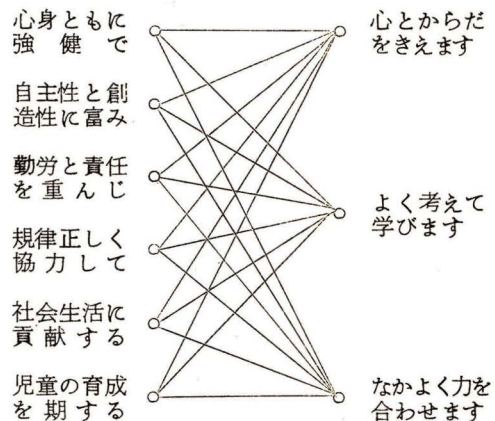
3. 地域の概況

昭和 33 年日本住宅公園により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道 20 号線 (甲州街道) にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など 4 つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標



5. 指導の重点

(1) 各教科・導徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

児童の思考過程を重視しながら、自主協力学習の指導法の研究を通して、基礎学力の伸長を期する。

イ 道 徳

道徳教育の全体計画の改善をはかり、人間尊重の精神を培うなかで道徳的心情を深化し、実践力のある児童を育成する。

ウ 特別活動

本校の特別活動の年間指導計画の改善をはかり、児童の望ましい集団活動とその実践を通して、自主性協調性をもった豊かな人間形成に努める。

エ 生活指導

学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を実践指導を通して身につけさせる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	訪問学級
学級数	5	4	4	4	4	4	25	1
男	96	87	87	80	74	80	504	8
女	97	83	86	83	65	79	493	2
計	193	173	173	163	139	159	1,022	10

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	多 昌 直 之	50	校 長	昭52.4.1	経 営	
2	近 内 信 輝	53	教 頭頭	昭51.4.1	経 営	
3	久保田 邦 子	25	1 ～ 1	昭52.4.1	国 語	保健
4	生 田 彰	52	1 ～ 2	昭50.4.1	社 会	教務主任
5	内 藤 まつ代	49	1 ～ 3	昭45.4.1	道 徳	教育環境
6	大 島 美知子	26	1 ～ 4	昭52.4.1	算 数	図書館
7	白 石 俊 二	36	1 ～ 5	昭50.4.1	社 会	生活指導主任
8	西 川 朝 子	31	2 ～ 1	昭46.4.1	国 語	教育相談

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
9	針 田 和 子	30	2 ～ 2	昭 50.4.1	理 科	図書館
10	本 保 陽 子	48	2 ～ 3	昭 51.4.1	道 徳	給 食
11	岩 尾 ふ き	50	2 ～ 4	昭 51.4.1	算 数	生活指導
12	長 沢 佳都子	42	3 ～ 1	昭 49.4.1	国 語	図書館主任
13	渋 江 美 雪	28	3 ～ 2	昭 51.4.1	図 工	生活指導
14	伊 山 節 雄	47	3 ～ 3	昭 51.4.1	算 数	視聴覚
15	山 田 恵 子	27	3 ～ 4	昭 50.4.1	理 科	特別活動
16	武 内 千尋子	51	4 ～ 1	昭 51.4.1	道 徳	給 食
17	番 場 春 枝	28	4 ～ 2	昭 51.4.1	理 科	教育相談
18	逸 見 黎 子	34	4 ～ 3	昭 47.4.1	図 工	教育環境
19	井 尻 武 子	48	4 ～ 4	昭 41.4.1	音 楽	保健主任
20	藤 本 大 策	33	5 ～ 1	昭 51.4.1	音 楽	特活主任
21	佐々木 律 子	24	5 ～ 2	昭 52.4.1	体 育	生活指導
22	山 内 春 美	51	5 ～ 3	昭 50.4.1	算 数	教育相談
23	小 倉 勇	25	5 ～ 4	昭 52.4.1	体 育	体育主任
24	大 竹 三 郎	51	6 ～ 1	昭 45.4.1	体 育	教 務
25	前 田 洋 子	27	6 ～ 2	昭 51.4.1	家 庭	教育相談
26	高 田 真 澄	26	6 ～ 3	昭 49.4.1	理 科	視聴覚
27	岡 田 充 生	32	6 ～ 4	昭 43.4.1	理 科	教育環境主任
28	古 川 明 子	28	訪 問	昭 50.4.1	国 語	保 健
29	野 村 菜穂子	25	訪 問	昭 50.4.1	体 育	教育相談
30	高 野 絃	37	音 楽	昭 52.4.1	音 楽	視聴覚
31	戸 塚 春 男	54	図 工	昭 51.4.1	図 工	教育環境
32	林 茂 子	32	家 庭	昭 43.4.1	家 庭	給食主任
33	小 島 典 子	42	養 護	昭 50.4.1		保 健
34	牧 野 誠	28	事 務	昭 52.4.1		事 務
35	伊 藤 多摩子	51	栄 養 士	昭 44.4.1		給食

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的な生活態度の完成と実践化（市）教材教具の収集と活用、基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力（都、市）、花壇の整備（都）

昭和４２年度	道徳の指導計画の作成、指導内容の精選
昭和４３年度	道徳の指導法のくふうと資料整備、基本的行動様式、体力増強のための計画と実践
昭和４４年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導。（特に特別活動との関連）
昭和４５年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和４７年度	特別活動の年間指導計画に基づき望ましい集団生活を通して実践的態度の育成
昭和４８年度	思考力を伸長するための教材教具の活用法の研究
昭和４９年度	思考力を伸長するための指導法の研究
昭５０～昭５１	思考力の伸長と自主協力学習の指導法の研究
昭和５２年度	学習意欲を高める指導法の研究

9. 本校の特色

住宅公園の進出に伴い、新しい建築様式採用により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校地の中で理想的教育活動をめざしていた。爾来児童数の急増により、８回に亘る増改築を行ない様相は一変した。しかし、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものが多く、肥満児は最近減少している。

学校では地域や児童の実態に即し、創意をもって日々の教育実践をし、成果をあげている。

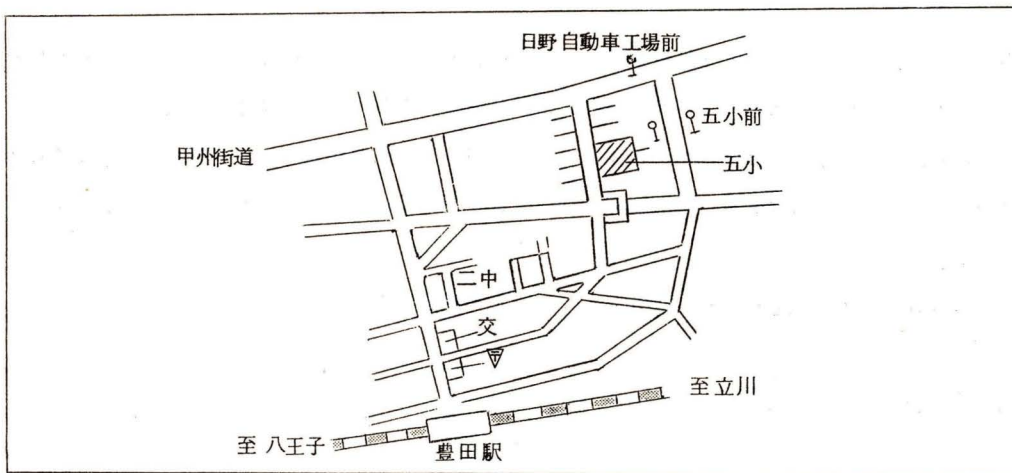
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別	年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別
昭和３６年度	石川 実	国 語	研 究 員	昭和４９年度	福地 保	教 育 管 理	研 究 員
昭和３９年度	黒沢 保雄	社 会	〃	昭和４９年度	赤池 正人	算 数	〃
昭和３９年度	堀 フサ子	給 食	〃	昭和５０年度	大竹 三郎	書 写	〃
昭和４０年度	関口 忠子	家 庭	〃	昭和５１年度	山内 春美	算 数	〃
昭和４１年度	渋谷 義一	理 科	〃	昭和５２年度	内藤まつ代	道 徳	〃
昭和４５年度	小坂橋五佐男	算 数	〃	昭和５２年度	戸塚 春男	図 工	〃
昭和４５年度	三浦 勝也	特 活	〃	昭和３９年度	大熊 喜一	算 数	研 究 生
昭和４７年度	藤崎 健児	算 数	〃	昭和４２年度	渋谷 義一	理 科	〃
昭和４８年度	赤池 正人	特 活	現代代委員				

11. 保護者の職業一覧

職 種	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
会 社 員	5 4 7	6 8.6	自 宅 工	1 8	2.3
公 務 員	7 5	9.4	そ の 他	4 6	5.8
教 職 員	4 4	5.5	無 職	3	0.4
自 宅 商	6 4	8.0	計	7 9 7	1 0 0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第六小学校
 所 在 地 日野市多摩平3丁目2番地
 電 話 0425-81-4686・0366
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩12分
 京王バス 小西六裏門下車3分

校長氏名 安 積 利 治

教頭氏名 白 井 岩 吉

1. 沿革の概要

昭 39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童1年～3年
 7学級263名
 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校
 初代校長として平山小学校長
 加々美良英就任
 14学級 児童数515名
 教職員21名
 昭 40. 9. 6 プール完成(6コース25m)
 昭 42. 2. 21 校歌の発表会
 昭 43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表
 会
 昭 43. 3. 31 校長加々美良英退職
 昭 43. 4. 1 国立市国立第一小学校長
 峰岸敬次郎第2代校長として
 就任
 昭 43. 6. 19 南校舎(普通教室11. 職員
 室、校長室)完成
 昭 43. 11. 6 第13回学研教育賞を受ける。
 昭 44. 3. 校地の土どめ工事完成
 昭 45. 2. 28 屋内体育館完成
 昭 45. 3. 16 落成式挙行(学校、PTA共
 催)
 昭 46. 3. 31 校長峰岸敬次郎滝合小学校長
 として転出
 昭 46. 4. 1 中野区上高田小学校新海圭三
 第3代校長として就任
 昭 46. 4. 1 日野市科学センター校
 昭 47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
 昭 47. 3. 「児童の社会性育成の実践指
 導」発表(市研究協力校)
 昭 47. 3. 25 プレハブ教室増設
 昭 47. 4. 「考えさせる授業への手だて」

発足
 昭 47. 5. 6 日野市科学センター校2年目
 昭 47. 6. 10 校庭東側に自然林造成
 昭 48. 3. 10 小鳥小屋、自転車置場設置
 昭 48. 4. 1 「考えさせる授業への手だて」
 2年目
 昭 48. 4. 1 日野市科学センター校3年目
 昭 49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、
 音楽室・管理室4)
 昭 49. 4. 「考えさせる授業への手だて」
 3年目
 昭 49. 4. 日野市科学センター北部セン
 ター校
 昭 49. 4. 「ふれあう授業方式」発足
 昭 49. 5. 南門完成
 昭 49. 7. 12 児童の登下校はすべて南門
 昭 49. 8. 31 北校舎黒板塗替 19教室
 昭 49. 10. 26 給食調理室増改築完成
 昭 50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指
 定
 昭 50. 3. 31 校長新海圭三中野区仲町小学
 校へ転出
 昭 50. 4. 1 日野第二小学校長安積利治第
 4代校長として就任
 昭 50. 4. 1 「考えさせる授業への手だて」
 4年目
 昭 50. 4. 1 「ふれあう授業方式」2年目
 昭 50. 4. 1 「自主学习」の試行開始
 昭 50. 4. 4 プレハブ教室使用開始 3の
 4、第2理科室
 昭 50. 4. 15 しばやま第1号発行
 昭 50. 6. 28 開校十周年を祝う会
 昭 50. 9. 22 南校舎花壇のフェンス完成
 昭 50. 12. 22 東京都選挙管理委員会より感

謝状を受ける。 永年選挙ポスターコンクールに協力したため。

- 昭 51. 4. 1 「考えさせる授業の手だて」 5 年目
昭 51. 4. 1 「ふれあう授業方式」 3 年目
昭 51. 4. 1 「自主学习」の試行継続
昭 51. 4. 1 「子どもが創る学校」をめざす。 2 年目
昭 51. 5. 21 仮称十八小開設準備委員会設置される。
昭 51. 12. 日野市議会において仮小十八小が旭が丘小と命名される。
昭 52. 1. 10 体育倉庫完成
昭 52. 2. 1 小野寺東雄教頭、日野市立旭が丘小学校長として栄進される。
昭 52. 3. 22 野外学習センター完成
昭 52. 4. 1 日野市立旭が丘小学校分離

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭 4 0. 4. 1 ～ 昭 4 3. 3. 3 1
峰 岸 敬次郎	昭 4 3. 4. 1 ～ 昭 4 6. 3. 3 1
新 海 圭 三	昭 4 6. 4. 1 ～ 昭 5 0. 3. 3 1
安 積 利 治	昭 5 0. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、児童の個性と能力に即して次のことを目指して行なう。

- | | |
|-----------------|-------------|
| ○たくましい身体と心をきたえる | ○考えながら学ぶ |
| ○みんなと仲よくする | ○がんばりぬく心を養う |
| ○しっかり働く | ○生きものを育てる |

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 「こどもが創る学校」のとりくみを通して、主体的・実践的な集団づくりをすすめる
イ 「こどもを知る」ことにつとめ、ひとりひとりに適した指導に心がける
ウ 「ふれあう授業方式」を学習指導だけでなく、教育活動全体に広げて、集団で協力しあい、こどもの全面発達をはかる
エ 楽しい学校生活づくりのとりくみを広い分野にひろげる

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 「考えさせる授業への手だて」の研究は、これまでの課題を日常の授業を通して検証するとともに、あわせてこどもの思考過程をさぐる。
- 自主学習の機会・方法をさらに深めさせるとともに学級から個人へとひろげる
- つまづきをなくすために、学年・教科部会の研究活動を充実させ、さらに学年でのおくれた子に対するとりくみを積極的にすすめる。

イ 道徳

- 児童の感動を尊重し、心豊かな人間の育成をめざす。

ウ 特別活動

- 「こどもが創る学校」への具体化を図り、児童会活動を中心に主体的、実践的な集団を作る。
- 自主的・自治的な活動を多面的にとり入れ、所属感・連帯感を育成する。

(2) 生活指導・進路指導の重点

集団生活を通して個々の児童の生活態度の向上をはかる。

- 学校のきまりをたいせつにして、自ら実践できるこどもを育てる
- たくましい身体の発達をはかり、安全生活のできるこどもを育てる

(3) その他の配慮事項

- 新教育課程の学習をすすめ、ゆとりある学校生活づくりの基礎研究をはじめ
- 委員会、学年、係は年度計画をたて、自主、協調、創造を基盤に効果的な運営につとめる
- 教師・児童・父母相互の信頼を高め、地域社会とのむすびつきを一層深めるための手だてをさらに改善する

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	4	4	4	3	23
男	100	79	72	88	67	53	459
女	79	68	79	64	70	64	424
計	179	147	151	152	137	117	883

7. 教職員一覧

(年令は 53 年末現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	安 積 利 治	60	校 長	昭50. 4. 1	経 営	経営
2	白 井 岩 吉	51	教 頭	昭52. 2. 1	経 営	経営
3	斉 藤 八重子	48	1 の 1	昭43. 4. 1	体 育	学年主任 給食 からだ委員長
4	佐 藤 和 子	28	1 の 2	昭47. 4. 1	算 数	研究委員 施設 営繕
5	河 原 百合子	23	1 の 3	昭50. 9. 1	音 楽	くらし委員 給食
6	立 川 弥 生	25	1 の 4	昭51. 4. 1	音 楽	つどい委員 学校図書館主任
7	高 橋 孝 子	34	2 の 1	昭48. 4. 1	図 工	からだ委員 給食主任 学童保育
8	来 間 志 信	36	2 の 2	昭43. 4. 1	国 語	研究委員 施設 営繕
9	広 林 節 子	31	2 の 3	昭48. 4. 1	算 数	くらし委員 扶助費
10	西 條 淑 子	57	2 の 4	昭42. 4. 1	算 数	学年主任 P T A つどい委員
11	林 克 己	27	3 の 1	昭49. 4. 1	算 数	つどい委員長 学校行事主任
12	根 岸 優 子	31	3 の 2	昭50. 4. 1	国 語	からだ委員 国語主任
13	小 野 博 子	50	3 の 3	昭44. 4. 1	理 科	学年主任 研究委員
14	岡 茂 美	27	3 の 4	昭49. 4. 1	算 数	くらし委員
15	山 添 邦 男	34	4 の 1	昭47. 4. 1	体 育	研究委員長 体育主任
16	阪 本 緑	38	4 の 2	昭45. 4. 1	国 語	学年主任 つどい委員
17	鈴 木 明 美	30	4 の 3	昭52. 4. 1	算 数	くらし委員
18	老 沼 義 晴	28	4 の 4	昭47. 4. 1	算 数	からだ委員
19	長 田 正 夫	37	5 の 1	昭45. 4. 1	社 会	からだ委員 社会科主任 保健主任
20	清 水 しずか	46	5 の 2	昭40. 4. 1	家 庭	学年主任 家庭科主任 つどい委員 視聴覚主任
21	山 崎 充 子	36	5 の 3	昭50. 4. 1	家 庭	くらし委員
22	弥 延 潤 太	27	5 の 4	昭51. 4. 1	算 数	研究委員 算数主任
23	野 口 昭 平	51	6 の 1	昭49. 4. 1	道 徳	学年主任 生活指導主任 補教 教育相談 くらし委員 道徳主任 安全教育主任
24	落 合 貴美江	31	6 の 2	昭49. 4. 1	国 語	つどい委員 特別活動主任
25	越 村 清 治	33	6 の 3	昭50. 4. 1	社 会	研究委員 校具
26	曾 我 哲 夫	46	音楽理科	昭43. 4. 1	算 数	教務主任 研究委員
27	岸 本 和 子	54	図 工	昭46. 4. 1	図 工	図工主任 入退学 くらし委員長
28	鹿島田 恭 江	40	理 科	昭50. 4. 1	理 科	理科主任 教科書 からだ委員 使用教材
29	嶋 真理子	26	音 楽	昭50. 4. 1	音 楽	音楽主任 図書 からだ委員
30	上 山 美知子	41	養 護	昭40. 4. 1	保 健	養護主任 からだ委員
31	伊 東 淳 司	30	事 務	昭49. 4. 1	事 務	管材主任 事務主任
32	入 澤 悦 子	20	栄 養 士	昭52. 4. 1	給 食	からだ委員
33	広 沢 フサ子	39		昭43. 4. 1		都研、長期研究生

番号		年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
34	上 條 浩 子	32		昭44. 4. 1		産休 育休53. 3. 31

研 究……研究しあう会 からだ……強い身体作り会
くらし……正しいくらしの会 つどい……楽しい集いの会

8. 本校における研究主題の推移

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道德の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして（市研究協力校）
昭和47年度	考えさせる授業への手だて
昭和48年度	” （継続研究）
昭和49年度	” （継続研究）
昭和50年度	” （継続研究）
昭和51年度	” （継続研究）
昭和52年度	” （継続研究）

9. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位を示し、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花だん、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。授業研究を6年間継続している。
- (6) 「ふれあう授業」として、全校で協力授業をしている。
- (7) 児童が主体的、自主的に学習するよう学年の発達に応じて計画的に指導している。

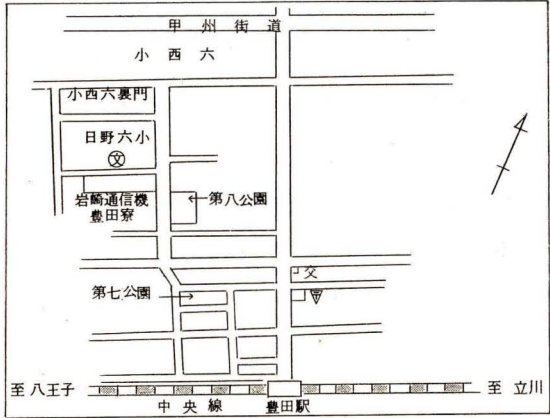
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研寄員、研究生別
昭和35年度	黒 沢 保 雄	社 会	研究生(教育大)
昭和39年度	"	社 会	教 育 研 究 員
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	研究生(学 大)
昭和43年度	上 山 美智子	養 護	教 育 研 究 員
昭和45年度	高 田 敏	給 食	"
昭和48年度	藤 田 孝 彦	特 活	"
昭和42年度	小野寺 東 雄	理 科	"
昭和45年度	秋 永 悦 郎	国 語	"
昭和40年度	野 口 昭 平	道 徳	"
昭和48年度	越 村 清 治	社 会	"
昭和50年度	長 田 正 夫	社 会	"
昭和50年度	草 刈 喜 一	給 食	"
昭和42年度	白 井 岩 吉	体 育	"
昭和50年度	"	体 育	教育現代化委員

11. 保護者の一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
工 業	10	1.4	団 体 職 員	46	6.6
商 業	46	6.6	会 社 員	458	66.2
運 輸 交 通 業	17	2.4	医 師	3	0.4
国 家 公 務 員	17	2.4	そ の 他	50	7.3
地 方 公 務 員	47	6.7	計	692	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡 4 0 2 番地
電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 0 4 0 9 . 0 4 1 0
順 路 京王線 高幡不動駅下車北へ徒歩 4 分

校長氏名 村 田 安 正

教頭氏名 鈴 木 敏 郎

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明 1 1. 1 1 三沢 7 0 1 番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明 2 0. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明 2 6 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 3 4. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 4 2. 5 昭栄尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭 1 6. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 2 2. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭 2 7. 5 創立 8 0 周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭 3 0. 1 0 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 3 3. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭 3 4. 4 給食調理室完成
- 昭 3 7. 1 0 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭 3 8. 1 1 校名を日野市立潤徳小学校と変更（9 0 周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭 4 0. 1 2 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 4 1. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校

廃止

- 昭 4 4. 2 屋内体育館落成
- 昭 4 4. 9 日野市立第八小学校分離
- 昭 4 4. 1 0 百草台分校併設
- 昭 4 5. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭 4 6. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 昭 4 6. 4 普通教室 9 教室、学校図書館（2 教室分）増築
- 昭 4 7. 4 プレハブ教室増築
- 昭 4 8. 4 プレハブ教室増築（4 教室）
- 昭 4 8. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭 4 9. 4 日野市立南平小学校分離
- 昭 5 2. 4 日野市程久保小学校分離
- 昭 5 2. 4 プレハブ 6 教室撤去

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年 月 ~ 年 月 |
|------------|---------------------|
| 初 大塚四郎右衛門 | 創 立 |
| 2 覚 井 諦 暁 | 明 19. 12 ~ 明 11. 11 |
| 3 和 田 作太郎 | 明 11. 11 ~ 明 15. 11 |
| 4 土方 喜久太郎 | 明 15. 11 ~ 明 17. 2 |
| 5 宮 倉 保五郎 | 明 17. 2 ~ 明 19. 10 |
| 6 小 宮 太之助 | 明 19. 10 ~ 明 20. 10 |
| 7 須 崎 和 蔵 | 明 20. 10 ~ 明 31. 2 |
| 8 小 宮 弥一郎 | 明 31. 2 ~ 明 34. 4 |
| 9 加 藤 菊次郎 | 明 34. 4 ~ 明 36. 1 |
| 10 佐 藤 良 輔 | 明 36. 1 ~ 明 42. 4 |
| 11 沖 倉 与 一 | 明 42. 4 ~ 明 43. 4 |
| 12 荒 木 田大夫 | 明 43. 5 ~ 明 45. 3 |

	氏 名	年 月 ~ 年 月
13	小 宮 弥一郎	明 45. 4 ~ 大 12. 3
14	平 杉 蔵	大 12. 4 ~ 大 13. 3
15	矢 沢 久 司	大 13. 3 ~ 大 14. 9
16	小 泉 栄 一	大 14. 10 ~ 大 3. 3
17	広 井 博	昭 3. 4 ~ 昭 7. 9
18	重 松 正 顕	昭 7. 9 ~ 昭 14. 7
19	鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7 ~ 昭 22. 2

	氏 名	年 月 ~ 年 月
20	赤 坂 元 春	昭 22. 2 ~ 昭 27. 9
21	塚 本 正	昭 27. 10 ~ 昭 37. 3
22	尾 崎 半次郎	昭 37. 4 ~ 昭 41. 3
23	塚 本 正	昭 41. 4 ~ 昭 43. 3
24	溝呂木 桂 次	昭 43. 4 ~ 昭 47. 3
25	星 野 正 男	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
26	村 田 安 正	昭 51. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅がふえ、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約0.5%である。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

敬 愛	・わかるまで考える子
自 由	・すすんで はたらく子
勤 労	・思いやりのある子
	からだをきたえる子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

児童にあった内容を選定し、学習効果を高める。

- ・学習過程を重視し、児童の思考力を伸ばす。
- ・指導方法をくふうし、教具を整備活用する。

イ 道 徳

児童の実態に応じて道徳性を高め、情操を豊かにする。

- ・公共心を培い、協力し合う心情を高める。
- ・勤労を尊び進んで物事をやりぬく態度を育成する。

ウ 特別活動

児童の自主性・創造性を育てる。

- ・自分たちの問題に気づき、自分たちで主体的に解決しようとする態度を養う。
- ・学級生活に関する問題を正しい話し合いによって解決したり積極的に学級生活に参加する態度を養う。

- ・自主的に自発的に興味・関心を追求し、豊かな個性をめざす。

(2) 生活指導・進路指導の重点

学年、学級における生活指導の充実と徹底をはかる。

- ・学校における基本的行動様式を身につけさせる。
- ・児童ひとりひとりを見つめ、教師と児童との心の交流をはかる。
- ・安全指導を計画的に行なう。

(3) その他の配慮事項

- ① 40分授業を考慮してゆとりある生活時程を設定し、教育的に有効に活用する。
- ② 学校教育において行事を精選し教育活動にゆとりをもち、父母との連帯をすすめる。
- ③ 授業研究および教材研究をととして、指導方法をくふうし児童の基礎学力の充実をはかる。

6. 児 童 数 (4月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	4	3	3	3	3	20
男	69	73	74	60	64	59	399
女	68	71	52	63	62	45	361
計	137	144	126	123	126	104	760

7. 教 職 員 (4月1日現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	村 田 安 正	54	校 長	51. 4. 1	学校経営	
2	鈴 木 敏 郎	50	教 頭	52. 4. 1	学校経営	
3	福 島 ちよ子	26	1 - 1	48. 4. 1	算 数	算数主任
4	伊 藤 清 子	47	1 - 2	45. 4. 1	家 庭	1年学年主任・給食主任
5	大 森 ツル子	28	1 - 3	51. 4. 1	国 語	児童名簿等教務関係
6	高 橋 茂 子	33	1 - 4	49. 4. 1	社 会	社会科主任
7	古 谷 二三子	49	2 - 1	51. 4. 1	算 数	2年学年主任
8	高 井 くめ子	32	2 - 2	48. 4. 1	体 育	教科書等図書関係
9	渡 辺 トモ子	27	2 - 3	51. 4. 1	国 語	国語主任・転出等教務関係
10	渡 辺 孝 雄	41	2 - 4	50. 4. 1	体 育	財務主任・転入等教務関係
11	中 村 大	45	3 - 1	52. 4. 1	理 科	視聴覚主任
12	中 村 佳 代	29	3 - 2	52. 4. 1	音 楽	月行事予定等教務関係
13	三 浦 みのり	48	3 - 3	49. 4. 1	特 活	3年学年主任・特活主任
14	青 木 良 子	55	4 - 1	48. 4. 1	図 工	4年学年主任
15	後 藤 楚 子	39	4 - 2	45. 4. 1	理 科	図書主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
16	小 竹 章	51	4 - 3	49. 4. 1	特 活	教務主任
17	佐 藤 栄久雄	37	5 - 1	51. 4. 1	体 育	体育主任・環境主任
18	加 藤 タ イ	38	5 - 2	51. 4. 1	理 科	理科主任
19	小 川 雪 子	50	5 - 3	47. 4. 1	社 会	五年学年主任
20	岡 上 和 子	48	6 - 1	51. 4. 1	国 語	六年学年主任
21	椿 坂 俊 夫	35	6 - 2	50. 4. 1	特 活	児童活動・教育相談
22	古 谷 孝 太	47	6 - 3	48. 4. 1	道 徳	道德主任・研究主任
23	内 山 美知子	44	音 楽	50. 4. 1	音 楽	専科主任・音楽主任
24	小 口 清 一	39	図 工	47. 4. 1	図 工	生活指導主任・図工主任
25	石 川 成 子	37	家 庭	45. 9. 16	家 庭	家庭科主任・渉外主任
26	松 井 玉 江	48	養 護	49. 4. 1	保 健	保健主任
27	橘 田 晟	40	事 務	46. 4. 1	事 務	庶務会計主任
28	佐 藤 典 子	25	栄 養 士	47. 4. 1	給 食	献立・調理関係

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をととしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統性を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和46年度	学級指導の計画化に基づく指導実践
昭和47年度	学習効果をたかめるための教材教具の整備と活用
昭和48年度	各教科の指導内容を精選し、指導課程をくふうして思考力を伸ばす。
昭和49年度	学年を中心とした授業研究と併せて普通学級における心身障害児の問題解決
昭和50年度	思考力を高める授業研究
昭和51年度	思考力を伸ばすための授業研究

9. 本校の特色

本校は開校百年余りの輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ今日にいたっているが、近年地域の宅地造成による急激な児童数の増加はプレハブ教室の新增築、そして学校分離の繰り返しを余儀なくされ、落ち着くところのない悪条件のなかをよく全職員・父母一体となって克服してきた。

しかし本年度は程久保小学校分離とともにプレハブ校舎もようやく撤去され大規模校としてのさまざまな困難な条件も解消され理想的な規模のもとに新しく生れ変わろうとしている。

したがって教育目標を達成するため施設設備等教育諸条件の整備と教育内容の充実をめざし努力を傾注している。

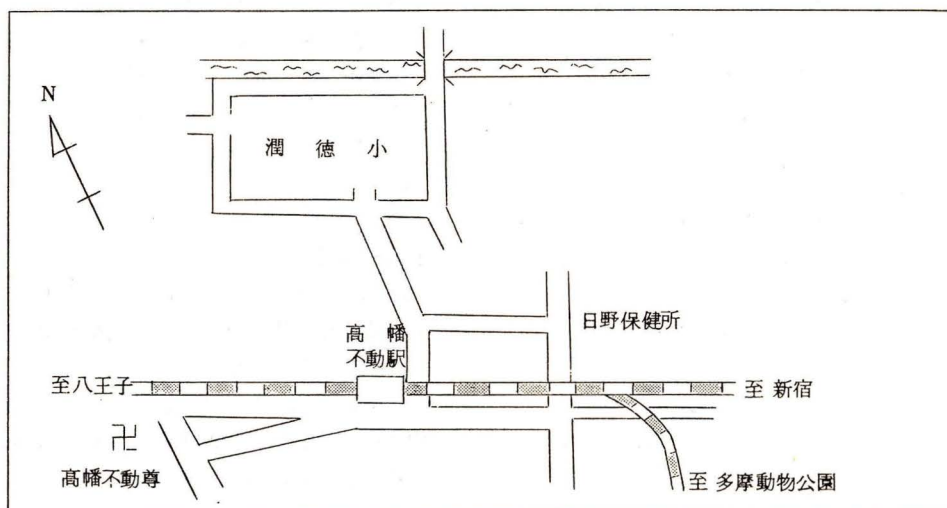
10. 都教育研究員、研究生、現代化委、文部省中央研の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和 37 年度	村 田 安 正	社 会	研 究 員
昭和 44 年度	古 谷 孝 太	特 活	"
昭和 46 年度	鈴 木 敏 郎	特活(学年行事)	"
昭和 47 年度	小 竹 章	特活(学級会)	"
昭和 49 年度	伊 藤 清 子	学 校 給 食	"

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	81	14.5	サービス従事者	56	10.0
管 理 的 職 業	24	4.3	農林、漁業従事者	3	0.5
事 務 的 職 業	215	38.3	そ の 他	22	3.9
自 営 業	77	13.7			
労 務 従 事 者	83	14.8	計	561	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立平山小学校
所在地 日野市平山4-8-6
電話 0425-91-4123・0512
順路 京王線 平山城址公園下車 徒歩10分
▽ 191

校長氏名 深 沢 真 人

教頭氏名 古 谷 洋 太

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校
(真心学舎といい修業年限は
8カ年)
- 明 17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改め
る。
- 明 35. 5 校名を平山尋常高等小学校と
改める。
- 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2
カ年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生
村立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により
七生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日
野町立平山小学校と改める。
- 昭 37. 2 東京都給食研究協力校として
研究発表。
- 昭 38. 11 市制施行により日野市立平山
小学校と改める。
- 昭 42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育
館の落成により、平山4-8
-6に移転する。
- 昭 44. 日野市研究協力校として「児
童の体力の向上」について研
究発表
- 昭 45. 3 防音鉄筋校舎9教室および機
械室工事完成
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変
更、平山小学区は浅川の南側
の地区となる。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
梁 義 伯明	6. 5～12. 1
大 沢 教之助	12. 1～20. 3
石 井 芳 丸	20. 4～30. 5
吉 永 信 丸	30. 6～35. 5
小 宮 弥一郎	35. 6～45. 3
古 屋 障 司	45. 4～ 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5～ 4. 5
平 杉 蔵	〃 4. 6～ 9. 3
上 田 富 大	〃 9. 4～15. 3
杉 山喜知太郎	〃 15. 4～ 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4～11. 2
鳥 羽 照 司	11. 2～13. 3
石 谷 倉太郎	13. 4～21. 3
飯 塚 節 三	21. 3～22. 3
田宮五郎右衛門	22. 4～28. 3
森久保 惣 治	28. 4～34. 3
高 橋 本 義	34. 4～37. 3
加々美 良 英	37. 4～40. 3
後 藤 正 太	40. 4～42. 3
安 積 利 治	42. 4～47. 3
小 野 晁	47. 4～51. 3
深 沢 真 人	51. 4～現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子市に
接する平地、田んぼ、畑等の農地も残ってお
り、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年、団地、都営住宅、造成地住宅等市街
化されつつあり、他地域からの転入者が多く、
児童数も急激に増加している。

4. 教育目標

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 健康安全教育的目標 | ① 健康で 明るい子ども |
| (2) 学力の充実 | ② よく考えて さいごまでやりぬく子 |
| (3) 自主性の育成 | ③ 進んでよいことをする子ども |
| | ④ 力を合わせて働く子ども |

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

- 指導の効率を高めるために、指導内容の精選はもちろん教材教具のくふう、機器の活用に重点をおき、学年会、校内研修活動を中心にすすめる。

イ 道 徳

- 日常生活ののぞましい行動様式を育成する。
- 教材教具の整備、機器の利用をさらにすすめ、実態に即した徳目を精選して指導する。

ウ 特 別 活 動

- 行事、学級指導をととし、交通安全教育の指導をさらにすすめていく。
- 児童会活動、係活動をととし、自主性や協力のしかたを学ばせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 日々の学校生活をととし、教師対児童、児童対児童がひとりひとりを理解し、尊重し合っていくようにつとめる。
- 安全教育には特に留意し、児童ひとりひとりが自覚していくよう指導する。

(3) その他の配慮事項

- 児童にゆとりある学校生活を送らせ、教師対児童、児童対児童の心の交流をはかる。
- 放課後の時間をくふうし、教材研究、研修会、学年会にあて、いっそう指導の効率化をはかる。
さらに、年間3回の授業研究を実施し、研究を深める。
- 心身障害児学級との交流につとめる。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	わかくさ	計
学 級 数	6	5	5	5	4	4	3	32
男	120	108	113	114	85	85	10	635
女	116	94	95	99	76	88	8	576
計	236	202	208	213	161	173	18	1,211

7. 教 職 員

(年令は53年3月末現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	深 沢 真 人	53	校 長	51. 4. 1	学校経営	
2	古 谷 洋 太	50	教 頭	52. 4. 1	学校経営	
3	佐々木 みゆき	30	1 の 1	50. 4. 1	社 会	図 書 館
4	高 石 道 子	28	1 の 2	52. 4. 1	算 数	保 健
5	綿 貫 清 江	26	1 の 3	49. 4. 1	音 楽	給 食 指 導
6	大 鳥 ルミ子	40	1 の 4	48. 4. 1	国 語	生 活 指 導
7	田 中 美知子	27	1 の 5	52. 4. 1	算 数	給 食 指 導
8	碩 みよの	26	1 の 6	49. 4. 1	図 工	図 書 館
9	小 林 和 子	34	2 の 1	49. 4. 1	国 語	教 育 相 談
10	岩 井 豊 子	57	2 の 2	41. 4. 1	国 語	教 育 相 談
11	梅 津 久 子	26	2 の 3	51. 4. 1	算 数	視 聴 覚
12	月 成 カズ子	28	2 の 4	47. 4. 1	図 工	図 書 館
13	渡 辺 由起子	26	2 の 5	51. 4. 16	図 工	心 障 教 育
14	関 恒 夫	49	3 の 1	45. 4. 1	社 会	生 活 指 導
15	田 美枝子	32	3 の 2	50. 4. 1	国 語	給 食 指 導
16	阿 部 二三子	29	3 の 3	50. 4. 1	国 語	図 書 館
17	多 久 江 美	25	3 の 4	50. 4. 1	算 数	生 活 指 導
18	安 達 美 武	32	3 の 5	44. 4. 1	社 会	生 活 指 導
19	会 田 尚 子	41	4 の 1	44. 4. 1	算 数	研 究 主 任
20	加 藤 千恵子	28	4 の 2	49. 4. 16	音 楽	教 務
21	坂 本 守	28	4 の 3	51. 4. 1	理 科	視 聴 覚
22	大 園 智 子	22	4 の 4	51. 4. 1	音 楽	教 務
23	塩 津 孝 子	30	4 の 5	51. 4. 1	算 数	給 食
24	長 尾 節 子	58	5 の 1	45. 4. 1	家 庭	給 食
25	大 上 琢 磨	46	5 の 2	50. 4. 1	体 育	視 聴 覚
26	和 田 文 雄	44	5 の 3	41. 4. 1	体 育	教 務 主 任
27	信 夫 清 彦	33	5 の 4	48. 4. 1	体 育	保 健
28	甘 利 信 子	30	6 の 1	49. 4. 1	社 会	視 聴 覚
29	藤 岡 和 子	43	6 の 2	51. 4. 1	体 育	教 務
30	赤 松 紀 子	36	6 の 3	44. 4. 1	家 庭	給 食 指 導
31	溝 江 恵美子	36	6 の 4	39. 4. 1	国 語	生 活 指 導
32	岡 野 三 郎	56	わかくさ	52. 4. 1	図 工	心 障 教 育
33	中 沢 芙美子	40	"	50. 4. 1	図 工	心 障 教 育
34	八 木 文 夫	31	"	52. 4. 1	体 育	心 障 教 育

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
35	吉 川 郁 子	43	理 科	44. 4. 1	理 科	視 聴 聴 覚 覚
36	川 上 昇 一	33	"	45. 4. 1	理 科	視 聴 覚
37	澤 田 末 吉	31	図 工	52. 4. 1	図 工	図 書 館
38	立 花 せつ子	31	音 楽	50. 4. 1	音 楽	視 聴 覚
39	小 林 さと子	30	養 護	49. 4. 1	体 育	保 健
40	知 花 豊	26	事 務	52. 4. 1	事 務	
41	幸 地 通 夫	23	"	52. 4. 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科（すじ道をたてて考える学習）
昭和41年度	同 上
昭和42年度	道徳（道徳指導計画の改訂）
昭和43年度	道徳・体育（道徳・体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用）
昭和44年度	体育（体育活動を中心に体力の向上をはかる） 市研究協力校
昭和45年度	体育（体力の向上をはかる体育学習）
昭和46年度	生活指導（自主性を育てる）
昭和47年度	同 上
昭和48年度	同 上
昭和49年度	交通安全教育・安全対策の推進（地域の実態に即した）
昭和50年度	国語の指導
昭和51年度	国語の指導
昭和52年度	算数の指導

9. 本校の特色

- 教育目標第一の柱「健康安全教育の充実」に重点をおき、地域の実態に即し交通安全教育の推進をはかっている。環境は約131㎡の大花壇・教材園、約100㎡の芝生園があり、児童の心情を暖める場を形成している。また、職員の手になるタイヤ山・電柱利用の固定平均台等の遊具施設がある。なお、昭和48年度から特殊学級が併設された。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

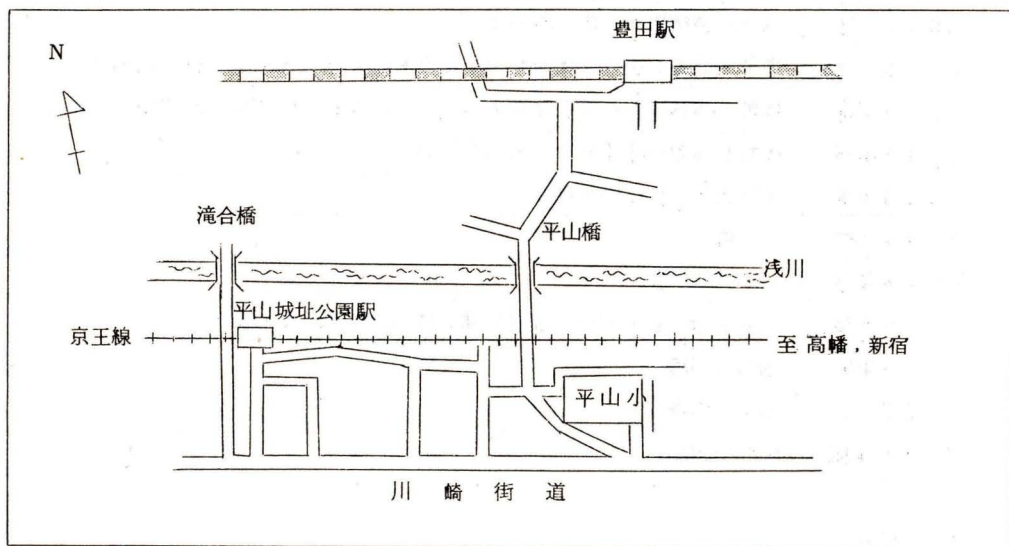
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和49年度	和 田 文 雄	体 育	都 研 究 員
昭和50年度	大 上 琢 磨	体 育	都教育現代化委員
昭和45年度	古 谷 洋 太	図 工	研 究 員

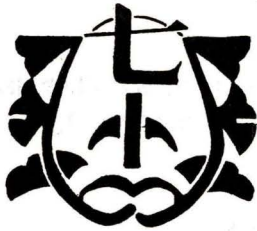
11. 保護者の職業一覧

職 業	実庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	33	4	労 務 従 事 者	108	12
専 門 ・ 技 術 的 職 業	106	12	サ ー ビ ス 従 事 者	92	11
管 理 的 職 業	65	7	農 林 漁 業	27	3
小 企 業 者	64	7	そ の 他	36	4
事 務 的 職 業	347	38	無 職	22	2

(% 不 変)

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明上区画整理地域内106街区
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 国電 中央線日野駅下車 徒歩約10分
〒191

校長氏名 上 部 正 彦

教頭氏名 清 水 七 郎

1. 沿革の概要

- | | |
|--|--|
| <p>昭46. 12</p> <ul style="list-style-type: none">・七小開校促進委員会を、第五小学校PTAを母体として発足。以後、小委員会を14回にわたって開催し、七小開校に伴う諸問題について協議。 <p>昭47. 3</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会において、七小建設に伴う案件承認。 <p>昭48. 4</p> <ul style="list-style-type: none">・日野市立日野第七小学校として開校。日野第一小学校および日野第七小学校の学区を定め、児童数384名、12学級の規模で開校。・トラックをのぞく運動場全面にティフトーフ（洋芝）の植付け完了。 <p>昭48. 5</p> <ul style="list-style-type: none">・プール建設工事着工 <p>昭48. 6</p> <ul style="list-style-type: none">・校章制定『ひの七小』を、いちよの葉で図案化したものである。植樹計画にいちよの木を多くいれ、将来、いちよの木が七小のイメージに合致することを夢見たものである。 <p>昭48. 7</p> <ul style="list-style-type: none">・体育館建設工事着工 <p>昭48. 8</p> <ul style="list-style-type: none">・プール建設工事完了。10日プール開き、水泳指導開始。体育倉庫も完成。・フェンス建設工事着工 <p>昭48. 9</p> <ul style="list-style-type: none">・校旗制定。校章を金糸、銀糸で表示。紫の布地にはえてあざやか。 <p>昭48. 11</p> <ul style="list-style-type: none">・第1次植樹計画完了。いちよの並木、さくら、とうじゅ | <p>ろ、ヒマラヤすぎ、つつじ、さつきなど。学校らしくなる。</p> <p>昭48. 12</p> <ul style="list-style-type: none">・プールのフェンス完成。・校歌制定。作詩、作曲、国立音楽大学教授 岡本敏明先生 <p>昭49. 2</p> <ul style="list-style-type: none">・体育館建設工事完了。体育倉庫を付設。 <p>昭49. 3</p> <ul style="list-style-type: none">・日野市立日野第七小学校『校舎および体育館の落成記念式』と『校歌発表』・3月1日を開校記念日に制定。校舎および体育館の落成記念式を記念。・第1回、卒業証書授与式。卒業生 2学級 45名。（男24、女21） <p>昭49. 4</p> <ul style="list-style-type: none">・開校2年目、入学児77名、児童数398名、12学級の規模で始業。・西洋木づた、B棟の南面と西面に植付。・第1次植樹の樹木、活着。いちよ並木のつつじ、鮮かなレッド、2列咲きそろろう。 <p>昭49. 5</p> <ul style="list-style-type: none">・東通用門わきに学級園6、観察池と水田各1。正門わきに花壇、裏庭に焼却場完成。それぞれに区画の美をくふう。・洋芝、順調に成長。再び、トラックをのぞく校庭全面が緑でおおわれる。・強風で、体育倉庫の屋根がとぶ。ただちに、修理復元。 <p>昭49. 6</p> <ul style="list-style-type: none">・第1次避難場所に、集合場所 |
|--|--|

の看板を設置。

- 昭49. 9 • 夏季休業中の工事完了。音楽室の2重防音と換気扇の取付け。飼育小屋の建設。
給食室の前室の床、防塵フィルター・網戸の取付け。玄関の水道取付け。砂場の新設。
駐車場のくさり取付け。
• 西側通用門内の通路にじゃり敷き。
- 昭50. 2 • 運動場のトラックと芝の境にれんがなどで仕切り取付け。
- 昭50. 3 • 第2回卒業証書授与式。卒業生 2学級65名。男子31名、女子34名。
- 昭50. 4 • 開校3年目、入学児童76名、児童総数426名、12学級の規模で始業。
• 校庭芝生え順調。
- 昭50. 7 • 校庭西側に円形砂場完成。
- 昭50. 9 • 実践女子大西側通学路、3年目によりやく舗装される。
- 昭50. 12 • B棟の周囲に植えた西洋木づた、はい登りはじめる。
- 昭51. 1 • 西通用門に、飛び出し防止さくを仮設。
- 昭51. 3 • 第3回、卒業証書授与式。卒業生 2学級58名。男子29名。女子29名。
- 昭51. 4 • 開校4年目、入学児童67名、児童総数455名、12学級の規模で始業。
• 校庭の芝 芽生え順調。
- 昭51. 11 • B棟屋上欄干塗装工事。
- 昭52. 3 • 校庭南側に花壇設置。
- 昭52. 3 • 第4回、卒業証書授与式。卒業生 2学級74名。男子38名。女子36名。

2. 歴代校長

初代 星野武之 昭和48年4月～昭和52年3月
2代 上部正彦 昭和52年4月～現在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅から線路ぞいに徒歩10分。二つの坂を登りつめた高台に位置している。坂を登りながら眺められる校舎は、周囲にさえぎられることなく自然と調和して、環境のよさに心をひかれる。

本校所在地の日野市神明上区画整理地域内の呼称が示すように、校舎の北側に少々住宅がたちはじめたが、南側には、樹木、雑草、畑作物の緑が広がっている。

屋上に登ると、学区全体をくまなく見渡すことができる。本校児童の95%は、中央線の鉄路でへだてられた西側の台地に居住している。この地域は、こゝ10余年の間に旧甲州街道ぞいに発達した新興住宅地帯である。都営住宅、さらに分譲住宅という順に急速にふくらんできた町である。あちこちに林があり、樹木が散在するこの地域は、児童の成長にとってすこぶる好ましい状況にある。

現在、本校の南側0.5 kmのところの日野消防署がある。日野市の庁舎も本校の東側に建設中である。校舎の東側校地に、これからの人口増を予想した校舎増築の構想ができています。

4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で豊かな個性と能力をもった子どもを育成する。

- みんなと仲よく がんばります。
- 心とからだを きたえます。
- 深く考えて 学びます。
- いきものを だいじにそだてます。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各 教 科

- ムリ、ムダ、ムラのない授業の創造をはかる。(授業の効率化を目ざして～第1段階)
- 学習過程をとおして、児童の主体性を育て、思考を高める。(学習～教授過程の改善とくふう)

(2) 道 徳

- 指導法にくふうを加えながら、児童の道徳心情と態度の向上をはかる。
- 特に、本校児童の実態から、自主、自律の心、動植物愛護の心、向上心、努力心の向上に重点をおく。

(3) 特別活動

- 児童の自主的、自発的活動の場を設定し、自主、自発の心を育てる。
- 集団活動に、積極的に参加する態度を育てる。

(4) 生活指導

- 安全指導の徹底をはかる
- 望ましい生活習慣の育成に努める
- 望ましい友だち関係の育成に努める

6. 児 童 数 (昭和52年4月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	2	2	2	2	2	3	13
男	42	43	36	42	42	45	250
女	37	24	45	40	34	46	226
計	79	67	81	82	76	91	476

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	上 部 正 彦	53	校 長	52. 4. 1	経営・理科	
2	清 水 七 郎	46	教 頭	51. 4. 1	経営・国語	
3	舞 田 章 子	48	1 - 1	48. 4. 1	体育・社会	保健主任
4	園 部 久 子	30	1 - 2	48. 4. 1	○社会・算数	
5	斉 藤 イ ク	68	2 - 1	48. 4. 1	音楽・斉藤	給食主任
6	小 室 恒	32	2 - 2	48. 4. 1	国語・算数	視聴覚主任
7	堀 内 美恵子	32	3 - 1	48. 4. 1	○国語・体育	図書主任
8	市 川 忝 子	48	3 - 2	52. 4. 1	○道徳・音楽	教育相談員(人権尊重)
9	信 夫 頼 子	32	4 - 1	51. 4. 1	算数・図工	
10	小坂橋 五佐男	49	4 - 2	48. 4. 1	算数・道徳	教務主任(人権尊重)
11	秋 山 憲 一	34	5 - 1	52. 4. 1	○理科・体育	生活指導主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
12	加 藤 美知子	27	5 - 2	48. 4. 1	○家庭・理科	教育相談研修員
13	嶋 貫 博	31	6 - 1	48. 4. 1	○体育・社会	生活主任
14	竹 下 サエ	25	6 - 2	52. 4. 1	○算数・家庭	
15	成 井 朝 雄	49	6 - 3	48. 4. 1	体育・国語	施設主任
16	池 田 宏 子	32	音 楽	48. 4. 1	○音楽	
17	河 合 香 子	30	図 工	51. 4. 1	○図工	
18	福 島 雪 江	47	養 護	52. 4. 1		学校教育相談係
19	吉 村 達 也	30	事 務	48. 4. 1		

※ 年令は、昭和53年3月31日現在 ○印は主任

8. 研究主題の推移

昭和48年度	学習環境の整備 ～学級経営の創意くふう～
昭和49年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむだのない授業～
昭和50年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～
昭和51年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～
昭和52年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～ 国語，算数

9. 本校の特色

(1) 小規模校の特性を生かした学校づくりを進めている

開校5年め。児童数476名，13学級，日野市における最小規模の学校である。開校後1年間で校庭の芝，プール，フェンス，植樹，体育館と施設・設備のほとんどが完成した。2，3，4年めはその充実・活用につとめてきた。本年度は発展を旨とする年である。

小さな学校でも大きく見えるように，ますます児童・父母・教職員がひとかたまりになって学校づくりに励んでいる。

(2) 自然環境に恵まれている

学校周辺は，区画整理進行中のため住民が少なく，畑地が点在し，灌木の群れも見られ緑が多い。児童朝会のとき，耳をすますと野鳥のさえずりがさわやかに聞こえてくる。南には多摩丘陵西には奥多摩の山並，富士山なども眺められるすぐれた自然環境である。

(3) 校庭緑化の一環として，校庭に芝が植えられている。

この芝は，ティフトワーフといって，校庭用としてきわめて適切な洋芝だといわれている。さか立ちする子，でんぐりかえしをする子，寝ころんで天を仰ぐ子，走っても歩いてもころんでもふわとしたソフトな感触が返ってくる。緑のマットとなり，時には緑のじゅうたんとなって子どもたちの心まではぐくんでくれる。

将来を見とおして，校庭に整然と植えられた，いちよう，さくら，ひまらやすぎ，とうじゅうろ，つじ，さつき，たまいぶきといった樹木と調和して，体育両ではもちろんのこと，情操面でのすぐれた環境となっている。

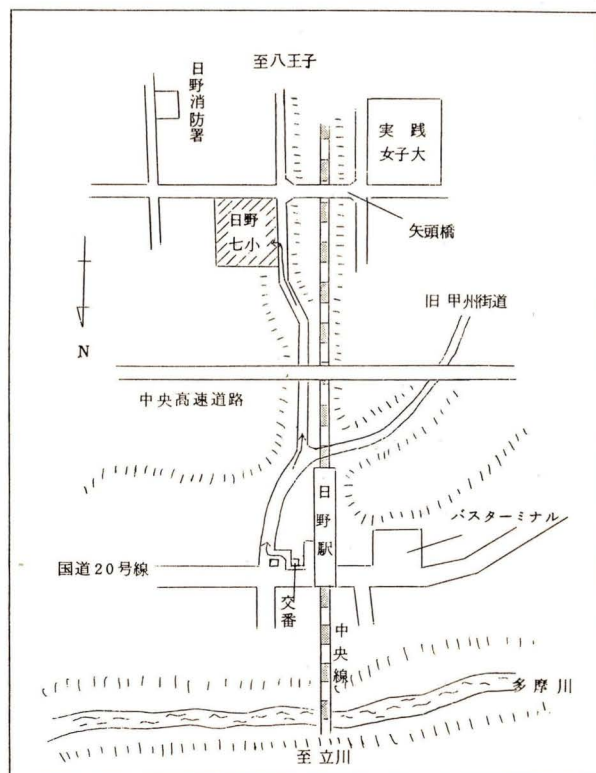
10. 都教育研究員・研究生・中央研の出身歴

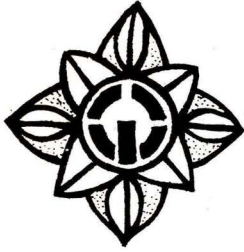
年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生等
昭和45年度	小板橋 五佐男	算 数	研 究 員
昭和51年度	小板橋 五佐男	算 数	現 代 化 委 員
昭和38年度	斉 藤 イ ク	学 校 給 食	研 究 員
昭和47年度	清 水 七 郎	特 活	研 究 員
昭和50年度	清 水 七 郎	学 校 経 営	現 代 化 委 員
昭和50年度	清 水 七 郎	国語・特活	文 部 省 中 央 研
昭和51年度	秋 山 憲 一	理 科	研 究 員

11. 保護者の職業一覧（昭和48年5月1日調査）

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	2	0.7	労 務 従 事 者	59	20.6
専 門・技 術 的 職 業	61	21.3	サ ー ビ ス 業 従 事 者	21	7.3
管 理 的 職 業	33	11.5	農 林 漁 業	0	0
小 企 業 者	28	9.8	そ の 他	9	3.1
事 務 的 職 業	74	25.4	無 職	1	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第八小学校
所在地 日野市三沢200
電話 0425-91-2411・2412
順路 京王線 高幡不動駅より東へ徒歩15分

校長氏名 岡本省吾

教頭氏名 和田国平

1. 沿革の概要

昭和44年度

- 44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。
- 44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。
- 44. 8. 16 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。
- 44. 8. 16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。
- 44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行なう。
- 44. 11. 1 開校式挙行11月1日開校記念日と決定。
- 44. 11. 25 第八小学校落成式祝賀式挙行。
- 45. 1. 15 公募により八小の校章決定
- 45. 3. 25 第一回卒業式挙行
56名の卒業生を送る。

昭和45年度

- 45. 4. 1 学級増の14学級となりプレハブ2教室増築。

- 45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94名の一年生を迎えた。
- 45. 6. 15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行なった。
- 45. 7. 15 日野第八小学校の校旗ができた。
- 45. 7. 16 25m6コースの新ブルーが完成し、落成式並びにブルー開きを行なう。
- 45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。
- 46. 3. 25 第2回卒業式挙行 67名の卒業生を送る

昭和46年度

- 46. 4. 6 第2回入学式を挙行し、109名の一年生が入学した。
学校全体では1学級増の15学級となり、教師は1名増員となった。教室不足のため校舎東側にプレハブの教室を増築した。
- 46. 4. 10 本年度より水、木の2日間を40分授業とし、業間体育並びに集会を行うことにした。
- 46. 6. 4 本年度中に校舎施設、体育

- 研究等に関する他県より本校参観は7件にのぼった。
市の社会教育のための校庭開放が本年度より実施されることになった。
46. 9. 15 体育館工事が完成され、47年1月31日に完成した。
46. 12. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行なう。市及び市外の参加者約100名で盛会裡に終了した。
47. 2. 15 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了した。
47. 3. 6 来年度の学級増に伴うプレハブ2教室が完成した。
47. 3. 25 第3回卒業式を新体育館において挙行し、5学年以上が参加した。59名の卒業生を送る。

昭和47年度

47. 4. 6 第3回入学式を行ない、159名の一年生が入学した。1学級増の4学級となる。全校児童数は681名で、昨年より3学級増の18学級となった。プレハブ5教室使用。
47. 5. 9 今年度の研究テーマに「教材教具の活用」と「体育の練習カードの利用」をとりあげ年間15回の研究会をもった。
47. 6. 20 南側丘陵に600世帯の西武百草園団地ができたため、児童数が急増、年間約250名の転入者があった。
47. 9. 1 本校舎8教室の増築工事が開始され48年3月に完成した。
47. 10. 20 本校南側の程久保川(4m)の改修工事がはじまり、48年5月に完成した。
(巾13.5m)
48. 3. 24 第4回卒業式を挙行し、94名の卒業生を送る。

昭和48年度

48. 4. 6 第4回入学式を行い146名入学、学級数25
48. 6. 20 日野市教育委員会の授業研究委託研究校となり、本年度の研究の中心を「授業の記録と分析」におき、研究校参観や校内研究等を実施する。
48. 11. 19 創立後はじめての学味会を体育館で開催した。
49. 3. 1 人、車道をわけたモダンな校門が完成した。
49. 3. 25 第5回卒業式を挙行し、105名の卒業生を送る。

昭和49年度

49. 4. 6 第5回入学式を挙行し191名が入学した。学級数25。昨年度より学級増となりプレハブ5教室を使用する。
49. 5. 15 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「授業記録をもとに分析する能力を高め、毎日の授業に生かす」におき研究を進める。
49. 6. 29 VTR一式を購入し、視聴覚教育の充実を図る。
49. 8. 15 仮設2教室が増設され、図書室及び会議室兼教材室として使用する。
49. 8. 31 放送機を取り替える。
49. 9. 10 さく井より都市水道に切替える。
50. 1. 20 校地拡張及びさくの移動。西門通学路の整備完了。

50. 2.20 第3期増築工事（普通教室6、教材室2、配膳室3、非常階段）及び付帯工事として職員更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板等が設置された。

昭和50年度

50. 4. 7 第六回入学式を挙行し、228名が入学した。学級数27。昨年度より、2学級増となり、プレハブ教室を図書館、第二音楽室、児童会室とする。
50. 4. 9 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「子どもが主体的に学習する授業のくふう」におき、研究を進めた。
50. 5.14 都立教育研究所三鷹分室より竹の子文庫の図書を前・後期計2000余冊を借用し、図書館教育の充実を図る。
50. 6.24 桜建設より校樹の「たちばな」3本が寄贈され、玄関前に植える。
50. 7.15 プール市水切替工事完了。
- 50.10.25 体育館床、塗装工事をする。
- 50.12.20 砂場（10×8m）完成する。
50. 3.25 第七回卒業式を挙行し、133名の卒業生を送った。

昭和51年度

51. 4. 6 第七回入学式を挙行し、215名が入学。学級数29。
51. 4.30 都立研究所三鷹分室より竹の子文庫の図書、前後期2000余冊を借用し、図書館教育の充実を図る。
52. 2.16 流感のため臨時休校（16～19の4日間）
52. 3.20 プレハブ教室、給食調理室の増改築開始。
52. 3.25 第八回卒業式を挙行。卒業生164名。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
金子 武 夫	昭和44.8～昭和48.3
岡 本 省 吾	昭和48.4～現在

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のはぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。通学区の最も遠いところは学校まで40分以上もかかる。
- ・4カ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- ・父母の70%がサラリーマンで学校に協力的である。

4. 教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

- 健康でたくましい子
- 美しく、ゆたかな心の子
- 深く考え、やりぬく子
- 力を合わせ、はげみあう子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

1. 児童の発達段階・能力に応じた学習形態をくふうし、ひとりひとりに目標をもたせ、意欲的に活動させ、基礎学力の充実を図る。
2. 考えさせるための効果的な発問をくふうする。
3. 教材研究を深め、教具の活用を工夫する。

イ 道徳

1. 低学年は学校のきまりや礼儀作法を身につけさせる。
2. 中学年は協力や忍耐について内面的に深める。
3. 高学年は責任感を養い、親切を実践させる。

ウ 特別活動

学校生活を豊かにするために、児童の意欲的な活動をする力を育てる。特に学級指導は月別に指導内容を明確にし、学級における好ましい人間関係と健全な生活態度をつくる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

1. 職員が協力して全児童の生活指導に関心をもち、生活目標の徹底を図る。
2. 学校内における安全指導を徹底し無事故を目標として努力する。
3. 非常災害に備え、児童の安全確保に努力する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	6	5	6	5	4	5	31
男	122	120	127	100	97	95	661
女	137	102	105	108	76	94	622
計	259	222	132	208	173	189	1,283

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	56	校 長	48. 4. 1	経 営	
2	和 田 国 平	49	教 頭	50. 4. 1	道 徳	
3	秋 山 照 子	34	1 - 1	46. 4. 1	社 会	
4	林 啓 子	25	1 - 2	52. 4. 1	音 楽	
5	小 沢 信	46	1 - 3	50. 4. 1	道 徳	学年主任、保健主任
6	浜 辺 孝 子	22	1 - 4	50. 4. 1	算 数	
7	林 道 子	28	1 - 5	49. 4. 1	家 庭	
8	松 田 多摩江	38	1 - 6	52. 4. 1	体 育	
9	安 斎 満里子	44	2 - 1	50. 4. 1	社 会	学年主任
10	川 田 浩 子	41	2 - 2	51. 4. 1	算 数	
11	中 川 元 美	34	2 - 3	47. 4. 1	国 語	
12	武 井 玲 子	22	2 - 4	52. 4. 1	体 育	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	そ の 他
13	長 田 裕 子	40	2 - 5	44. 8. 16	理 科	
14	渡 辺 和 子	34	3 - 1	48. 4. 1	算 数	
15	柴 田 美知子	26	3 - 2	52. 4. 1	図 工	
16	今 野 みち子	53	3 - 3	52. 4. 1	道 徳	学年主任
17	佐 藤 章 吾	52	3 - 4	44. 8. 16	社 会	生活指導主任
18	大 倉 利 一	26	3 - 5	52. 4. 1	社 会	
19	間 瀬 静 夫	29	3 - 6	48. 4. 1	体 育	
20	中 島 寿 子	34	4 - 1	48. 4. 1	社 会	
21	西 田 陽	42	4 - 2	51. 4. 1	国 語	学年主任、研究員
22	馬 場 令 子	26	4 - 3	51. 4. 1	国 語	
23	西 尾 信 博	36	4 - 4	52. 4. 1	理 科	
24	飯 田 幸 次	54	4 - 5	44. 8. 16	算 数	教務主任
25	水 谷 辰 夫	25	5 - 1	48. 4. 1	理 科	
26	安 室 清 治	28	5 - 2	46. 4. 1	体 育	
27	内 藤 康	42	5 - 3	44. 8. 16	体 育	学年主任
28	長 浜 和 子	34	5 - 4	44. 8. 16	国 語	
29	伏 見 琴 江	29	6 - 1	52. 4. 1	算 数	
30	比 企 通 男	31	6 - 2	50. 4. 1	体 育	
31	柳 沼 敏 男	51	6 - 3	44. 8. 16	理 科	学年主任
32	池 田 康 雄	26	6 - 4	48. 4. 1	理 科	
33	橋 本 允 子	35	6 - 5	45. 4. 1	国 語	
34	北 原 恒 雄	27	音 楽	49. 9. 1	音 楽	
35	桜 川 順 子	24	”	52. 4. 1	音 楽	
36	高 山 晴 子	50	図 工	51. 4. 1	図 工	
37	窪 田 弥 生	30	家 庭	52. 4. 1	家 庭	
38	佐 藤 ヒサ子	34	養 護	50. 4. 1	体 育	
39	石 川 耀 子	43	派 遣 生	49. 4. 1	体 育	研究生
40	郷 原 敦	32	事務主事	44. 8. 16	事 務	事務主任
41	溝 口 美 枝	26	主 事	50. 1. 1	給 食	

8. 本校研究主題の推移

昭和44年度 体育科の効果的指導法の研究

昭和45年度 授業の効率を高める体育指導

日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。

昭和46年度 研究テーマ「授業の効率を高める体育指導」

“機械運動を中心にカードの作成と活用”

○ 教材教具の効果的な活用

昭和47年度 ○ 授業の効率を高める体育指導

練習カードの作成と活用

- | | |
|--------|---|
| 昭和48年度 | ○ 教材教具を効果的に活用する授業研究 |
| 昭和49年度 | ○ こどもがよろこんで楽しく学習するように指導するにはどうしたらよいか
(授業分析) |
| 昭和50年度 | ○ こどもが主体的に学習できる授業のくふう |
| 昭和51年度 | ○ こどもが主体的に学ぶ学習指導 |

10. 本校の特色

- (1) 「きれいな学校」これが本校の努力目標である。「環境は人をつくる」といわれるが、特に環境づくりに力をいれている。校章をかたどった花壇、顔が写るくらい磨きあげられた床など自慢できる特色である。
- (2) みどりに包まれたすばらしい環境の中にありながら、体位体力は全国平均より劣っている。そこで創立以来、「たくましいからだづくり」をめざしてきた。業間に業間体育をすすめてきたが、現在はその幅を拡げ、業間活動としている。これは、体力づくりだけでなく、遊びを通しこどもの創造性を併わせて伸ばすねらいである。
- (3) 宅地化が進み、児童数は増加の一途である。したがって、普通教室4、図書館、第二音楽室をプレハブで過ごしている。53年度には、学校分離を要する。

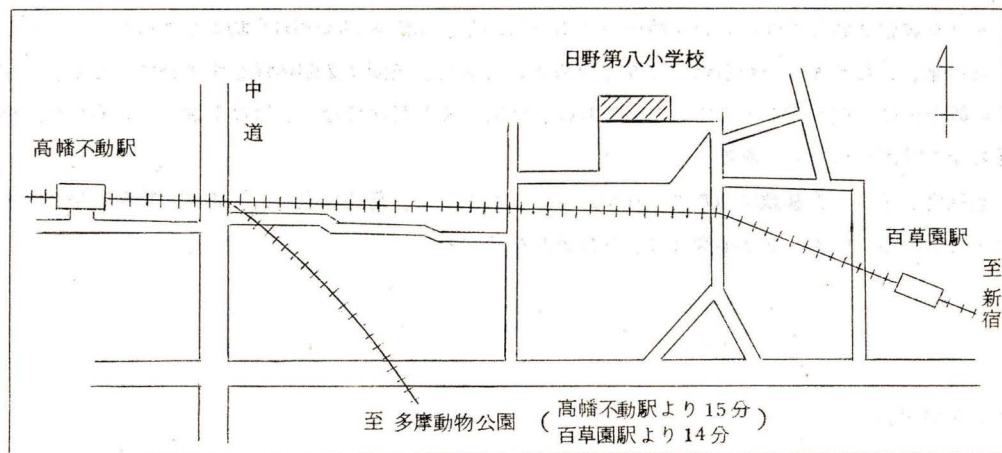
11. 都教育研究員

- | | | |
|------|---------|------------------|
| 45年度 | 内 藤 康 | 「授業の効率を高める体育指導」 |
| 47年度 | 近 藤 正 晴 | 「疑問をもちながら読む読書指導」 |
| 48年度 | 平 山 毅 | 道 徳 |
| 49年度 | 内 藤 康 | 「体育」研究派遣生 |
| 52年度 | 石 川 耀 子 | 「幼児体育」研究派遣生 |
| " | 西 田 陽 | 「国語」研究員 |

12. 保護者の職業一覧

職 業 分 類	家庭実数	%	職 業 分 類	家庭実数	%
専門的技術者	47	4.9	サービス業従事者	82	8.8
企業経営者	75	7.9	公務員	105	11.2
事務従事者	436	45.3	その他	33	3.6
労務従事者	83	8.7	無職	9	0.1
技術従事者	90	9.4			
農業	8	0.1	計	968	

13. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 百 草 台 小 学 校
所 在 地 日 野 市 百 草 9 9 9
電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 0 9 9 8
順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 より 百 草 団 地 行 き バ ス
に て 5 分 百 草 セ ン タ ー 下 車

校長氏名 田 中 春 男

教頭氏名 松 日 樂 敬 治

1. 沿革の概要

昭 44. 校舎新築起工

44.12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始

45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。
学級数8, 児童数118, 教職員16, 市職員3

45. 6. 1 開校式挙行, 6月1日を開校記念日とする。

45. 9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加296名となり, 学級数11, 教職員17となる。

46. 3. 8 校旗, 校歌発表会を開き3月8日を制定記念日とする。

46. 3.25 第一回卒業式挙行
卒業生 34名

46. 4. 1 社会増による教室不足のためプレハブ6教室増設

46. 4. 6 児童数604, 学級数16, 教職員23, 市職員3となる。

46. 4.30 校地北側の埋立工事完了

46. 7.31 プール工事完了, 大プール, 小プール, シャワー, 更衣室, 機械室等竣工

46.12.15 体育館新築工事着工

47. 1.31 給食調理室および周辺の舗装工事竣工

昭 47. 2.12 調理室火入れ式挙行, 調理開始

47. 3.25 第二回卒業式挙行
卒業生 44名

47. 3.31 高幡台小学校の新設にともなう学区変更により高幡台団地および周辺の児童は高幡台小学校へ転校

47. 4. 1 高幡台小学校の新設により, 児童数416, 学級数12, 教職員18となる。

47. 6.17 体育館落成式挙行

48. 1.31 図工室南側と北側に花だん竣工

48. 2. 1 投てき板が完成

48. 3.17 校庭南の土手につつじ園が完成

48. 3.24 第三回卒業式挙行
卒業生 43名

48. 4. 6 児童数463, 学級数13

48. 9.26 校舎造築工事開始

49. 3.25 第4回卒業式挙行 卒業生39名

49. 3.31 増築7教室竣工

49. 4. 6 児童数541, 学級数16, 教職員数24名

50. 3.25 第5回卒業式挙行
卒業生48名

50. 4. 7 児童数613名 学級数17

職員数25名
 昭51. 3.25 第6回卒業式挙行
 卒業生56名
 51. 4. 1 増築校舎完成(普通教室7,
 図書室1)
 51. 4. 6 児童数700, 学級数17
 52. 3.25 第7回卒業式挙行
 卒業生77名
 52. 4. 6 児童数738名, 18学級
 (新入生177名), 教職員
 26名

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	岡 本 省 吾	4 5. 4. 1～4 8. 3. 3 1
2代	村 田 安 正	4 8. 4. 1～5 1. 3. 3 1
3代	田 中 春 男	5 1. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地がおもな学区域である。団地の内外とも起伏が多く、まわりにはまだ緑も多く、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクリーションの人々でにぎわう。自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

- 元気で じょうぶなこども
- 進んで 働くこども
- よく考え 正しいことをやりぬくこども
- 思いやりがあり 助け合っていくこども

5. 指導の重点

○ 各 教 科

体験や行動を通じ、児童が主体的にとりくむ学習をめざして

- ・発問や課題に創意を加える
- ・教材、教具や資料を活用する。

○ 道 徳

身近な生活の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる

○ 特別活動

- ・代表委員会、学級会活動、各種委員会のつながりを深め組織的な活動を高める
- ・児童が自発的に参加する学校行事をめざして創意工夫をもった活動の展開をはかる

○ 生活指導

- ・集団生活の基本的行動をきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。
- ・学校美化、清掃をととして公共物愛護と勤労の精神を養う。

6. 児 童 数 （ 5 2.4.1 0 現在 ）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	4	3	3	2	2	18
男	92	86	64	67	37	47	393
女	85	73	69	54	31	33	345
計	177	159	133	121	68	80	738

7. 教 職 員

（ 年 令 は 5 3 年 3 月 現在 ）

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	田 中 春 男	54	校 長	51. 4. 1	経 営	
2	松日榮 敬 治	51	教 頭	50. 4. 1	経 営	
3	荻 沢 モト子	50	1 の 1	45. 4. 1	図 書	生活指導主任
4	鈴 木 淳 子	26	1 の 2	49. 4. 1	音 楽	視聴覚主任
5	油 井 朝 子	25	1 の 3	50. 7. 16	社 会	社会科主任
6	草 刈 喜 一	43	1 の 4	52. 4. 1	教 育	給食主任、体育主任
7	土 方 淳 子	31	2 の 1	52. 4. 1	理 科	給食指導
8	若 月 美登里	26	2 の 2	49. 4. 1	理 科	国語主任
9	中 川 和 代	28	2 の 3	48. 4. 1	社 会	庶務主任、各種委担当
10	秋 永 悦 郎	47	2 の 4	52. 4. 1	国 語	教務主任
11	幸 野 嘉 子	51	3 の 1	46. 4. 1	算 数	教育課程責任者
12	鷹 尾 富貴江	36	3 の 2	51. 4. 1	算 数	図書館主任
13	田 中 鈴 子	29	3 の 3	48. 4. 1	国 語	算数主任
14	三 浦 勝 也	48	4 の 1	49. 4. 1	特 活	教務事務
15	藤 井 泰 蔵	27	4 の 2	50. 4. 1	体 育	運動委責任者
16	大 羽 かおる	29	4 の 3	49. 4. 1	国 語	庶務担当

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
17	山 浦 幸 子	40	5 の 1	50. 4. 1	算 数	P T A 担当
18	江 口 耕 一	44	5 の 2	52. 4. 1	理 科	特活主任, 科学センター
19	永 井 一 郎	41	6 の 1	49. 4. 1	理 科	研究主任, 科学センター
20	石 黒 芳 子	42	6 の 2	51. 4. 1	社 会	環境部責任者
21	千 台 健 治	26	理 科	49. 4. 1	理 科	科学センター主任
22	飯 島 睦 子	36	音 楽	49. 4. 1	音 楽	音楽主任
23	佐 藤 カズ子	31	図 工	45. 4. 1	図 工	図工主任
24	佐々木 加津子	45	養 護	45. 4. 1	保 健	保健主任, 就学児担当
25	石 川 一 政	25	事 務	51. 4. 1		管財事務
26	斉 藤 茂	46	専 従	45. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	作文指導の系統
昭和47年度	作文の力をのばす指導
昭和48年度	考える力をつけるための授業
昭和49年度	授業を通して思考力を高める
昭和50年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方
昭和51年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方
昭和52年度	発問, 課題のあたえ方や教材教具の創意ある活用を通じて思考力を高める授業のあり方

9. 本校の特色

在学児童のおよそ95パーセントが住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし反面学区域がせまく、変化をもとめ、土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

開校以来7年を経過したが、児童数の増加がはげしく、すでに高幡台小を分離し、さらに毎年2学級増の見込みで、数年先には、22学級からの規模となる見通しである。激変する本校では教育上の内容環境ともに数年先を見こした教育計画（長期計画とよんでいる）の充実が急務となっている。

なお、50年度は普通教室9、図書室1の増築工事が完了し、51年度より使用を開始した。

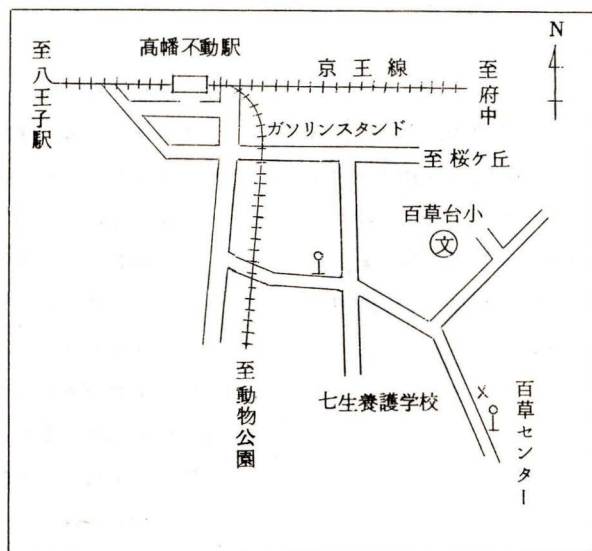
10. 都教育研究員，研究生歴

区 分	年 度	教科・領域	氏 名	場 所
研 究 員	3 7 年 度	社 会	村 田 安 正	都 教 委
派 遣 生	3 7 年 度	理 科	永 井 一 郎	学 大
研 究 員	4 1 年 度	理 科	村 松 徹 二	都 教 委
研 究 員	4 5 年 度	特 活	三 浦 勝 也	"
研 究 員	4 9 年 度	保 健	佐々木 勝 子	"
現 代 化 委 員	4 9 年 度	理 科	松日楽 敬 治	"
研 究 員	5 2 年 度	図 工	佐 藤 カズ子	"

11. 保護者の職業一覧

職 業	自 由 業				勤 め 人				無 職
	商 業	工 業	自由業	その他	会社員	公務員	各種法人	その他	
%	1.2	0.6	3.3	0.9	67.7	15.4	6.0	4.7	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2の3の1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩10分

校長氏名 鈴木 英 夫

教頭氏名 深 尾 真

1. 沿革の概要

昭46. 4. 1 平山2720番地に開校

(学校長 峰岸敬次郎

児童728人 20学級)

46. 6. 1 開校記念日

46.12. 1 校章, 校歌制定

47. 2.25 落成式挙行

50. 4. 校地緑化用植樹(桜・柳・梅等)

52. 3. 旭が丘小に201人分離

2. 歴代の校長

1. 峰岸敬次郎 昭46.4～ 昭50.3

2. 鈴木 英夫 昭50.4～ 現 在

3. 地域の環境

農地の間に点在する屋敷森をはさんで、浅川より平山団地、中央線より鉄道宿舎が並び、それ等の間に近代風の住宅が建ちはじめ、新旧入りまじった景観の中にも、緑が多く、野鳥のさえずりの聞える自然環境には恵まれた地域である。

4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 本年度指導の重点

- (1) 各 教 科

ア 各種の教育機器の活用をはじめ、教材教具を効果的に使用して指導法の研究をする。

イ 授業研究を自主的におし進め、国語、算数、社会の授業を重点的にとりあげ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

(2) 道 徳

ア 人命はもちろん、動植物の生命を尊重し、それに基づく健康の増進と安全教育に努力する。

イ たがいに信頼し、協力し合い、実践活動を重視する。

ウ やさしい心をもって、動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

ア 生活指導、保健、給食指導と密接な連絡のもと、職員共通理解の上に立って活動を進める。

イ 教育目標を達成するために、個々の児童の自主性、創造性を尊重しながら連帯意識の昂揚をはかる。

ウ 学級指導の充実をはかる。

(4) 生活指導の重点

ア 「学級のきまり」を作成し、これを日々の教育活動に結びつけたり、家庭との密接な連絡をとったりして日常生活における基本的な行動様式の育成をはかる。

イ 交通、避難の訓練行事や、学校の全教育活動をとおして、安全に対する意識や理解を深め、自他の生命を尊重する実践的な態度を養う。

6. 児童数と学級数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	5	5	4	4	4	4	26
男	95	95	82	76	85	79	512
女	87	97	75	71	71	88	489
計	182	192	157	147	156	167	1,001

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	鈴木 英 夫	54	校 長	50. 4. 1	経 営	
2	深 尾 真	52	教 頭	50. 4. 1	経 営	
3	白 勢 玲 子	23	1 - 1	52. 4. 1	図 工	図書館
4	岩 尾 照 夫	48	1 - 2	48. 4. 1	算 数	生活指導主任
5	榎 圭 子	30	1 - 3	48. 4. 1	音 楽	学級指導
6	内 藤 洋 子	33	1 - 4	48. 4. 1	図 工	図書館
7	柿 沢 鎮 子	47	1 - 5	46. 4. 1	理 科	学級指導
8	大 森 信	28	2 - 1	52. 4. 1	算 数	児童活動
9	田 辺 友 子	29	2 - 2	50. 4. 1	国 語	児童活動
10	鈴木 ナ ラ	56	2 - 3	47. 4. 1	家 庭	給 食
11	木 村 貴 子	32	2 - 4	50. 4. 1	家 庭	給 食
12	志 村 道 子	33	2 - 5	49. 4. 1	理 科	児童活動
13	小笠原 本 江	36	3 - 1	46. 4. 1	理 科	生活指導
14	宮 田 敦 子	22	3 - 2	52. 4. 1	図 工	図書館
15	西 田 淳 子	38	3 - 3	46. 4. 1	国 語	図書館
16	田 中 健	25	3 - 4	50. 4. 1	体 育	児童活動
17	山 口 智恵子	24	4 - 1	51. 4. 1	社 会	道 徳
18	清 水 輝 夫	60	4 - 2	46. 4. 1	算 数	道 徳
19	野 崎 賛	31	4 - 3	49. 9. 1	算 数	保 健
20	赤 松 昭 子	33	4 - 4	46. 4. 1	図 工	保 健
21	小 林 桂 子	26	5 - 1	47. 4. 1	家 庭	生活指導
22	宮 川 征三郎	39	5 - 2	51. 4. 1	国 語	視聴覚
23	渡 辺 か ほ	41	5 - 3	46. 4. 1	国 語	図書館
24	伊 藤 恵 造	51	5 - 4	46. 4. 1	社 会	教育主任
25	井 上 善 夫	30	6 - 1	51. 4. 1	体 育	給 食
26	秋 野 美津子	30	6 - 2	46. 4. 1	音 楽	児童活動

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
27	橋 本 清	51	6 - 3	46. 4. 1	体 育	視聴覚
28	川 上 美穂子	40	6 - 4	46. 4. 1	国 語	視聴覚
29	鳥 飼 政 喜	53	図 工	46. 4. 1	図 工	保 健
30	村 越 正	41	理 科	46. 4. 1	理 科	視聴覚
31	萩 原 章 子	31	家 庭	50. 4. 1	家 庭	保 健
32	岡 田 あつ子	27	音 楽	47. 4. 1	音 楽	児童活動
33	田 島 佳 子	35	保 健	46. 4. 1	体 育	保 健
34	藤 井 悦 子	29	事 務	47. 4. 1	事 務	

8. 研究主題の推移

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには、その整備及び活用をどうしたらよいか。

昭和47年度

特別教室、資料室等の利用を有効に、教材教具を有効的に使用するよう指導法の研究をする。

昭和48年度

授業研究を自主的におし進め、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和49年度

授業研究を自主的におし進め、特に体育の授業を重点的にとりあげ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和50年度

児童の創造性、思考力の発展をめざし、各教科における系統的、効果的な指導法の研究を深め、授業研究をととして児童ひとりひとりが主体的に学習を進められるような授業をめざす。

昭和51年度

児童の創造性、思考力の発展をめざし、前年度に引き続き国語・社会・算数を中心に、児童の実態を基に授業研究を深め、質の高い授業をめざす。

昭和52年度

前年度に引き続き国語、社会、算数を中心により質の高い授業をめざす。

9. 本校の特色

(1) 校地面積21391㎡という中学校なみの広さに、二の字型のA棟B棟と音楽、図工室は各2を

備え、市のモデル校的存在になっている。

- (2) 児童は全般的に素朴、純情、素直さ等の美点をもつ反面、荒らしで、活発に行動し、元気のみなぎった児童も多い。

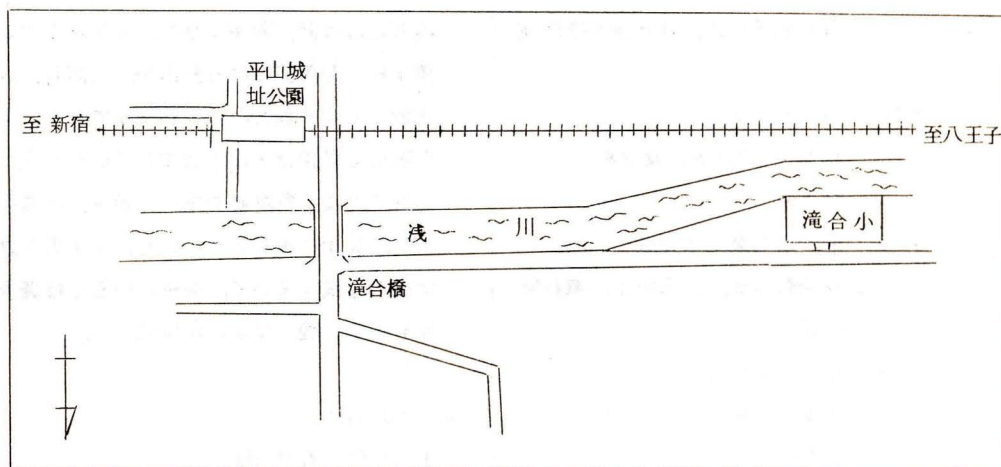
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	都研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	都研究生(都研究所)
昭和48年度	岩 尾 照 夫	算 数	都研究生(学芸大)

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
農 業	3	0.3	会 社 員	461	62.1
工 業	8	1.0	医 師	4	0.5
商 業	33	4.4	公 社 職 員	73	9.8
運 輸 交 通 業	31	4.1	そ の 他	51	6.8
国 家 公 務 員	16	2.1			
地 方 公 務 員	63	8.5	計	742	99.5

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分 高幡台団地下車

校長氏名 手代木 和 夫

教頭氏名 古 田 耿 介

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
47. 3.10 校舎完成
47. 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋三階建校舎 普通教室12, 特別教室4, 特別室9, 学級数12, 児童数402名, 教職員18名, 市職員2名
47. 5.27 高幡台小学校PTA設立総会
47. 6.24 開校式
本日を開校記念日とする
47. 8. 1 ブール完成, ブール開き挙行
48. 2.24 校旗, 校歌制定
48. 3.24 第1回卒業式
卒業生 男18, 女15
計33
48.10. 6 体育館落成式, 体育選手模範演技
49. 3.25 第二回卒業式
卒業生 男18. 女28
計46
49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9, 図書室1, 職員室
改造工事
50. 3.25 第三回卒業式
卒業生 男29, 女26
計55
51. 3.25 第四回卒業式
卒業生 男32, 女31

計63

- 昭52. 3.25 第五回卒業式
卒業生 男51, 女46
計97

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
平 松 健太郎	昭47.4.1 ~ 50.3.31
手代木 和 夫	50.4.1 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階~11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にこそしむ農家の人もあり、静かなよい環境である。

4. 教育目標

- (1) 学校の教育目標
個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- ・あたたかい心で 助け合うこども
- ・よく考え、自分からやりぬくこども
- ・働くこども
- ・明るく健康なこども
- ① た すけあう子
- ② か んがえる子
- ③ は たらく子
- ④ た くましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校教育目標の具体化、学年化を図る。学年、学期始めに計画を立て、期末に反省を行い、つぎに生かす。

教科指導の重点を国語におき、授業研究を通し教育目標を徹底する。

職員研修を充実して、教材、指導法の研究をし、指導力を高める。

5. 指導の重点

ア 教 科

朗読・文意の読みとりがしっかりできる子どもを育てる。児童が感動をおぼえる学習をめざす。

イ 道 徳

規則の尊重……廊下歩行、集合等の集団訓練、学校のきまりの遵守、実践化を図る。

自主、自立……学習、生活面にわたる自主的態度の育成を図る。

ウ 特別活動

学校行事、学校生活全般にわたって、児童の考えを生かし、楽しい学校生活を築く。

学級指導年間計画の再検討と指導の充実、時間設定をくふうする。

エ 生活指導

- ・「助け合う子」の教育目標の徹底
- ・節度ある生活を定着させる
- ・校舎内外の清掃美化に留意し、情操ゆたかな子どもを育てる。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	5	4	3	3	2	21
男	90	85	79	65	56	43	418
女	86	98	78	68	55	39	424
計	176	183	157	133	111	82	842

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	手代木 和 夫	59	校 長	50. 4. 1	理 科	
2	古 田 耿 介	51	教 頭	52. 2. 1	理 科	
3	玉 置 順 子	31	1 - 1	50. 4. 1	図 工	庶 務
4	本 間 幸 子	28	1 - 2	48. 4. 1	体 育	保 健
5	山 口 重 雄	28	1 - 3	50. 4. 1	理 科	環 境
6	坂 口 田鶴子	55	1 - 4	50. 4. 1	国 語	図 書
7	斉 藤 正 子	35	2 - 1	52. 4. 1	社 会	教 務
8	村 越 裕 子	41	2 - 2	47. 4. 1	国 語	庶 務
9	勝 俣 友 子	40	2 - 3	51. 4. 1	体 育	教 務
10	中 村 笙 子	35	2 - 4	47. 4. 1	音 楽	生活指導
11	小 口 澄 代	31	2 - 5	51. 4. 1	図 工	環 境
12	渋谷 範 子	30	3 - 1	47. 4. 1	図 工	給 食
13	山 内 道 子	27	3 - 2	49. 4. 1	社 会	生活指導
14	岡 江 フミ子	28	3 - 3	47. 4. 1	算 数	教 務
15	丹 羽 亮 典	43	3 - 4	52. 4. 1	算 数	視聴覚
16	末 継 逸 夫	52	4 - 1	47. 4. 1	道 徳	教 務
17	岩 崎 英 夫	25	4 - 2	50. 4. 1	体 育	給 食
18	佐久間 久美子	46	4 - 3	49. 4. 1	理 科	教 務
19	赤 井 光 子	31	5 - 1	47. 4. 1	図 工	図 書
20	安 西 利 江	34	5 - 2	47. 4. 1	社 会	教 務
21	増 田 静 香	28	5 - 3	47. 4. 1	国 語	生活指導
22	須 藤 貞 雄	52	6 - 1	49. 4. 1	体 育	給 食
23	青 柳 佳 子	31	6 - 2	47. 4. 1	社 会	視聴覚
24	河原田 桂 子	45	音 楽	47. 4. 1	音 楽	生活指導
25	長 沼 正 幸	32	理 科	52. 4. 1	理 科	環 境
26	森 田 芳 博	29	体 育	52. 4. 1	体 育	生活指導
27	副 田 実 枝	30	図 工	52. 4. 1	図 工	給 食
28	金 野 峰 子	32	養 護	52. 4. 1	保 健	保 健
29	石 田 義 一	43	事 務	47. 4. 1	事 務	事 務
30	小山田 直 己	32	給 食	47. 4. 1	特 活	給 食

8. 研究主題の推移

昭和47年度	資料の整備と活用
昭和48年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について
昭和49年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究
昭和50年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究
昭和51年度	・「明るく健康な子ども」の育成について ・授業研究
昭和52年度	「文章の意味をしっかりと読みとる」指導

9. 本校の特色

- ・団地校であることから、家庭の生活程度が平均している。児童の知能程度も比較的高い。反面に閉鎖的で協力的な面が欠けるので「あたたかい心で助け合う子ども」の育成を旨として研究を進めようとしている。
- ・開校四年目で整備されていない面が多く、将来の校舎増築などとも関連して、継続的、計画的な校内の環境整備が望まれている。一つずつ整備につとめている。

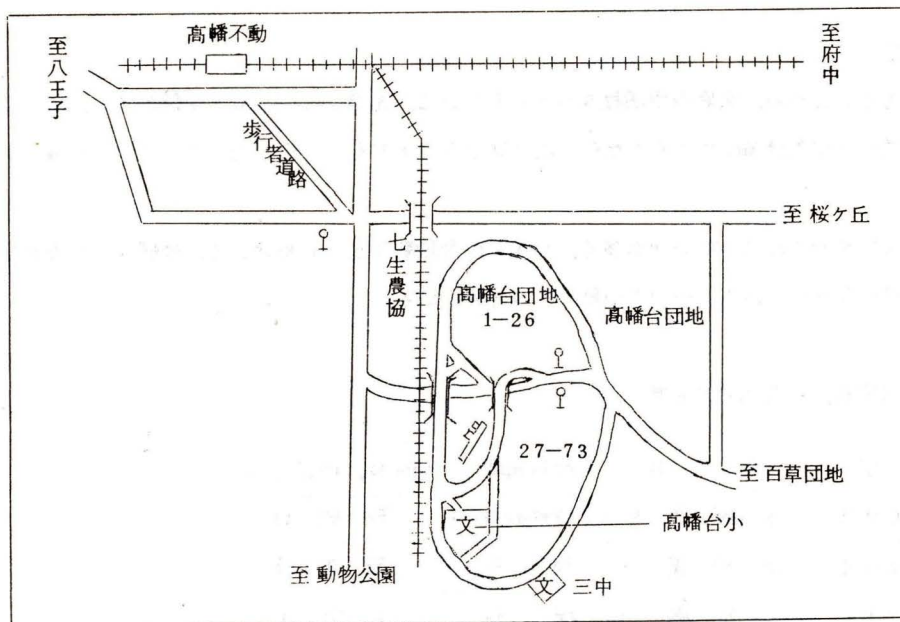
10. 都教育研究員、研究組の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	末 継 逸 夫	特殊教育	研 究 員
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 員
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 生
昭和50年度	古 田 耿 介	教育経営	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	5 7 3	6 8 %	報 道 関 係	1 8	2 %
公 務 員	5 9	7 %	各 種 技 師	2 4	3 %
運 輸	4 2	5 %	会 社 役 員	1 7	2 %
教 員	2 7	3 %	団 体 職 員	1 6	2 %
工 員	8	1 %	そ の 他	3 4	4 %
自宅商・自宅工	2 4	3 %	計	8 4 2	1 0 0 %

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 南 平 小 学 校
所 在 地 日 野 市 南 平 4 - 1 8 - 1
電 話 0 4 2 5 - 9 2 - 2 0 2 1 ・ 2 0 2 2
順 路 京 王 線 南 平 駅 より 徒 歩 1 0 分

校長氏名 黒 沢 保 雄

教頭氏名 梅 田 茂

1. 沿革の概要

- 昭 4 8.1 2.1 7 日野市教育委員会において南平小学校設置を決定
- 4 8.1 2.2 6 日野市議会において、南平小学校設置を可決
- 4 9. 3. 2 5 仮設校舎完成。プレハブ教室 11 職員室 1、校長・事務室 1、職員室 1、教材室 1。他に潤徳小新館に 4 教室。更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
- 4 9. 4. 1 日野市立南平小学校開校
学級数 15、児童数 535 名、
教職員 22 名、市職 4 名
- 4 9. 4. 5 仮設校舎校地整理完了
- 4 9. 4. 6 第 1 学期始業式、第 1 回入学式
挙行。新 1 年 122 名
- 4 9. 5. 4 本校舎工事着工。総工費
220,166 万円、敷地面積
26535㎡、鉄筋コンクリート
四階建 防音校舎 4,456㎡
- 4 9. 5. 2 2 南平小学校 P T A 設立総会開催
- 4 9. 7. 1 0 校樹として「スズカケの木」を
決定。校旗・校章図案のもとと
する。
- 4 9.1 1.1 5 本校舎完成 普通教育 20、特
別教室 5（理、音、家、図、図
書）、その他保健室、給食室、
校長室、職員室、事務室、用務
員室等
- 4 9.1 1.2 2 校歌、校旗、校章の制定および
発表会を潤徳小体育館にて挙行。
当日を本校開校記念日として制
定
- 4 9.1 1.2 9 本校舎へ移転

- 昭 4 9.1 1.3 0 校庭（運動場）整備完了、進入
路舗装完了、正門・フェンス取
付完了。全児童登校授業開始
- 4 9.1 2.3 1 体育館完成
- 5 0. 2.1 4 校舎、体育館落成式挙行
同記念行事、同祝賀会挙行。
- 5 0. 3. 2 5 第 1 回卒業式挙行。卒業生 67
名
- 5 0. 3. 3 1 校庭。花だんへ植樹
- 5 0. 4. 7 第 2 回入学式挙行。入学児童
118 名
- 5 0. 4. 3 0 大小プール完成
- 5 1. 3. 2 5 第 2 回卒業式挙行。卒業生 68
名
- 5 2. 3. 2 5 第 3 回卒業式挙行。卒業生
101 名

2. 歴代校長

黒 沢 保 雄 昭 4 9.4.1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんべいだい）、みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんで南平中（なか）、下（しも）（昔からの唯一の集落）、京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成され、比較的まとまった学区域であり地区の把握がしやすい。南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等自然条件にめぐまれ、西方に丹沢連峰から秀麗富

士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と合まって、教育的環境としては最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法 の精神に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自発性・創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行なう。

- 心身ともにたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 最後までやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 教職員の学校経営への積極的参加をととして、行事、会議等のむり、むだをはぶき、日々の授業を充実させ、明るく豊かな学校とよい校風づくりにはげむ。
- 「各教科領域の研究」をととして、教育内容の精選と充実指導法の改善をはかる。
- 体力づくりを行なうため環境を整備し、体育、特別活動をととして計画的な指導を行なう。

5. 指導の重点

(1) 各教科

- 「考えさせる授業」の指導法をくふうし、目標、内容、方法の一貫化と教材教具の整備活用をはかる。
- 児童の自発的学習意欲を高めるくふうをする。

(2) 道徳

- 人間尊重の精神を根本におき、おもいやりの心をたいせつにする指導を計画的にすすめる。
- 各教科、領域との連けいを深め、内面化、実践化をはかる。
- 効率的な指導と実装をはかるために、指導計画の立案をすすめる。

(3) 特別活動

- 実践活動をととして、児童の自発的、自治的な実践活動を促す指導をすすめ、自主性、創造性と豊かな社会性を養い、実践的な態度を身につけさせる。
- 児童が積極的に楽しく参加できる特別活動の全体計画を樹立する。

(4) 生活指導

- ひとりひとりを大事にし、互に尊重し合う生活態度を養う。
- 「学校のきまり」を主体的にとり組ませ、充実した学校生活をさせる。
- 安全生活に心がけ、けがのない日、事故のない日をめざし、くふうする。
- 協力して明るく清潔で活気ある学校をつくるようにさせる。

6. 児 童 数 (5 0 . 4 . 1 0 現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	4	3	3	2	3	1 8
男	6 8	7 3	7 1	6 1	5 0	5 9	3 8 2
女	6 4	6 5	4 9	5 9	3 6	4 5	3 1 8
計	1 3 2	1 3 8	1 2 0	1 2 0	8 6	1 0 4	7 0 0

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	黒 沢 保 雄	52	校 長	49. 4. 1	学校経営	
2	梅 田 茂	51	教 頭	52. 4. 1	学校経営	
3	和 田 いさを	35	1 - 1	49. 4. 1	音 楽	視聴覚主任
4	坂 本 富 子	30	1 - 2	"	算 数	庶 務
5	坂 井 和 子	53	1 - 3	"	社 会	
6	河 村 令 子	29	2 - 1	"	算 数	図 書 館
7	武 田 佳代子	26	2 - 2	"	特 活	特活主任
8	船 橋 美奈子	24	2 - 3	51. 4. 1	国 語	生活指導
9	高 橋 昭 子	51	2 - 4	49. 4. 1	音 楽	給食主任
10	進 真 郎	50	3 - 1	"	社 会	教務主任
11	中 西 快 枝	24	3 - 2	52. 4. 1	図 工	図 書 館
12	佐々木 正 典	27	3 - 3	52. 4. 1	体 育	特 活
13	前 川 花 子	50	4 - 1	51. 4. 1	国 語	教 務
14	古久保 蝶 子	24	4 - 2	"	理 科	特 活
15	逸 見 政 一	39	4 - 3	"	体 育	生活指導
16	佐々木 守 夫	47	5 - 1	50. 4. 1	理 科	保健主任
17	堀 竹 充	23	5 - 2	52. 4. 1	体 育	視聴覚
18	当 間 糸 子	47	6 - 1	50. 4. 1	家 庭	図 書 館 主 任
19	杉 本 順 一	25	6 - 2	50. 4. 1	算 数	特 活
20	藤 田 孝 彦	45	6 - 3	50. 4. 1	道 徳	生活指導主任
21	森 清 晃	51	理 科	51. 4. 1	理 科	教務, 研究主任
22	村 上 悦 子	40	音 楽	49. 4. 1	音 楽	視聴覚
23	加 納 博 之	49	図 工	"	図 工	生活指導
24	土 屋 良 子	24	養 護	"	保健体育	保 健
25	野 崎 幸 子	24	栄養士	"	給 食	給 食
26	田 辺 正 志	30	事 務	"	事 務	事 務

8. 研究主題の推移

昭和50年度分研究委託校として授業研究にとり組み、51.3第1回発表を行なう。

51, 52年度も引続き「児童の思考力を高める指導法の研究」をすすめている。

9. 本校の特色

(1) 児童、父母ともに学校を信頼し、協力的である。

(2) 児童、父母の経済的、社会的地位が比較的安定しており、要・準保護家庭がすくない。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員別	昭和45年度	古谷 洋太	図 工	研究員
昭和35年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 生	昭和48年度	藤田 孝彦	特 活	研 究 員
昭和39年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 員	昭和50年度	清水 七郎	"	現代化委
昭和42年度	坂井 和子	教育方法 (図書館)	研 究 員	"	"		中堅研修
昭和45年度	村上 悦子	音 楽	研 究 員	昭和51年度	逸見 政一	体 育	研 究 員
昭和47年度	清水 七郎	特 活	研 究 員				

11. 保護者の職業一覧 (50.4調べ)

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	258	55	各 種 技 師	18	4
公 務 員	53	11	会 社 役 員	18	4
教 員	13	3	団 体 職 員	8	2
運 輸	18	4	農 業	9	2
工 員	5	1	建 設 業	16	2
自 宅 商・工	33	7	そ の 他	9	1
報 道 関 係	12	2			
サ ー ビ ス 業	3	1	合 計	473	100

12. 学校に至るまでの地図



学 校 名 日 野 市 立 程 久 保 小 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 5 0 4 の 1
電 話 0 4 2 5 - 9 2 - 5 0 1 4
順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 より 動 物 園 行 き バ ス に て
5 分 中 程 久 保 下 車 徒 歩 2 分

校長氏名 渋 谷 義 一

教頭氏名 村 松 徹 二

1. 沿革の概要

- 昭 5 1. 校舎新築起工
- 5 2. 2. 1 初代校長渋谷義一就任
潤徳小学校内に開設準備室をおく
- 5 2. 校舎完成
- 5 2. 4. 1 日野市立程久保小学校として開校。学級数 18, 児童数 657, 教職員 26, 市職 8

2. 歴代校長

氏 名 年 月 ～ 年 月
渋 谷 義 一 昭 5 2. 2. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園線の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎もみられ遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接しているけれど一面緑が目に入る自然環境である。

4. 教育目標

心身ともに健康で互いに協力しあい豊かな情操の持ち主を次の三点をとおして育成する。

- 本 気
- 元 気
- 根 気

5. 指導の重点

- 各 教 科
 - ・意欲的な学習態度を育てる
 - ・教材研究を深め実地授業をとおして指導法の改善をはかる。
 - ・教材教具の整備充実と活用をはかる
- 道 徳
 - ・教育目標の本気・元気・根気の実現をめざした道徳教育を推し進める
 - ・教科・特活指導と連れいを持たせて道徳性の内面化・態度化をはかる
- 特 別 活 動
 - ・学級会活動、児童会・クラブ活動を充実させ自主性、社会性の育成をめざす
 - ・学校の行事にすすんで参加することによって学校生活を安全で明るく楽しいものにする。
- 生 活 指 導
 - ・連帯感のある学校づくりをすすめる
 - ・学校における基本的行動様式を身につけさせる。
 - ・安全教育の徹底をはかる

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	3	3	3	3	3	18
男	58	58	67	47	54	56	340
女	46	54	65	56	50	46	317
計	104	112	132	103	104	102	657

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	渋谷 義一	50	校 長	52. 2. 1	理 科	
2	村松 徹二	50	教 頭	52. 4. 1	理 科	
3	河野 千秋	41	1 の 1	52. 4. 1	社 会	生活指導主任
4	塚本 純子	33	1 の 2	52. 4. 1	家 庭	図 書 館
5	浜野 育子	28	1 の 3	52. 4. 1	国 語	教育相談
6	堀越 満枝	51	2 の 1	52. 4. 1	体 育	研究主任
7	川原田 和子	33	2 の 2	52. 4. 1	社 会	教 務
8	石川 茂子	26	2 の 3	52. 4. 1	算 数	図 書
9	渡辺 みち子	27	3 の 1	52. 4. 1	国 語	給食主任
10	佐多 千鶴子	24	3 の 2	52. 4. 1	体 育	生活指導
11	松田 英明	29	3 の 3	52. 4. 1	体 育	補 教
12	井浦 弘	34	4 の 1	52. 4. 1	図 工	視 聴 覚
13	糸井 則子	23	4 の 2	52. 4. 1	理 科	環境美化
14	間瀬 悦子	27	4 の 3	52. 4. 1	国 語	教 務
15	上野 森良	47	5 の 1	52. 4. 1	道 徳	教務主任
16	小原 ゆりえ	23	5 の 2	52. 4. 1	家 庭	特 活
17	小畑 智恵子	48	5 の 3	52. 4. 1	国 語	庶務主任
18	土方 邦男	32	6 の 1	52. 4. 1	理 科	特活・体育
19	川井 矩子	37	6 の 2	52. 4. 1	社 会	視 聴 覚
20	米川 みえ子	26	6 の 3	52. 4. 1	国 語	図 書
21	川上 卓一	30	理 科	52. 4. 1	理 科	環境美化
22	小堀 こう子	28	音 楽	52. 4. 1	音 楽	教 務
23	松本 真知子	25	図 工	52. 4. 1	図 工	教育調査
24	細井 聖子	52	養 護	52. 4. 1	養 護	保 健
25	横山 謙二	29	事 務	52. 4. 1	事 務	
26	宮坂 典	35	給 食	52. 4. 1	給 食	

8. 本校の特色

在学児童の多くは家庭環境にめぐまれており、いろいろな面でみたまされている。しかし、児童は保護されて育った感じで、たくましさ欠けている。これが今後の課題である。

開校間もないため、校庭など整備されていない面が多いが一つずつ整備につとめている。

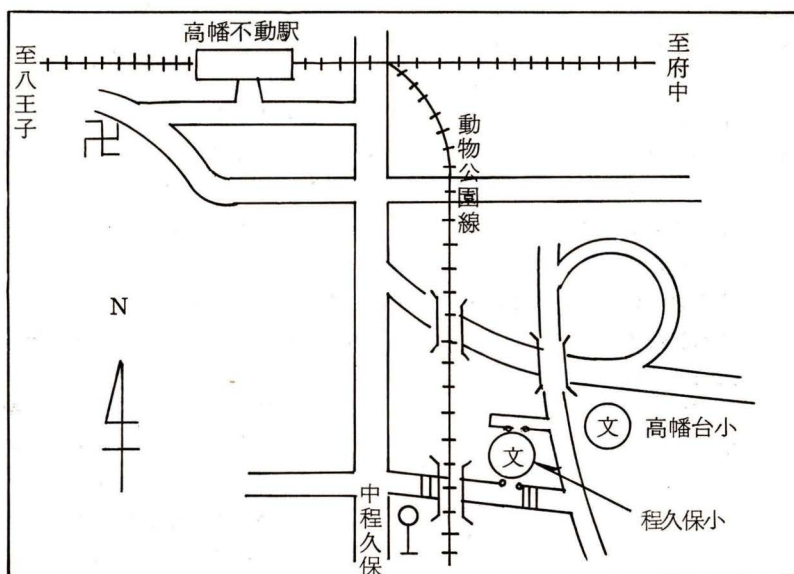
9. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	区 分
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 員
昭和41年度	村 松 徹 二	理 科	研 究 員
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 生
昭和49年度	上 野 森 良	国 語	研 究 員

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	315	64.7	運 輸	6	1.2
公 務 員	45	9.3	報 道 関 係	8	1.7
教 員	33	6.8	団 体 職 員	15	3.1
自 宅 商	30	6.2	そ の 他	15	3.1
自 宅 工	11	2.3	無 職	4	0.8
医 師	4	0.8	計	486	100

11. 学校に至るまでの地図



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
 所 在 地 日野市旭が丘5丁目21番地1
 電 話 0425-83-3733
 3748
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分
 京王バス 大和田坂上
 都バス (石川 入口)下車10分

校長氏名 小野寺 東 雄

教頭氏名 山 口 武 彦

1. 沿革の概要

- 昭51. 5.21 仮称第18小学校の開設準備委員会が発足する。六小8名、滝合小8名、市教委8名計24名。
- 昭51. 9. 6 安全祈願祭が、仮称第18小学校の敷地で行われる。
- 昭51.11.29 日野市教育委員会で、仮称第18小学校の学区域がきまる。
- 昭51.12.23 日野市議会で仮称第18小学校の設置が正式に決定する。
- ・ 学校 の 名 称 日野市立旭が丘小学校
 - ・ 設 置 場 所 日野市旭が丘5丁目21番地の1
- 昭52. 2. 1 初代校長として、日野市立日野第六小学校教頭小野寺東雄が補せられる。
- 昭52. 4. 1 日野市立旭が丘小学校開校する。学級数18、児童数707名、教職員26名、市職員8名、計34名
- 昭52. 4. 6 第1学期始業式、第1回入学式挙行する。
- 昭52. 4.20 授業研究校を受けることを決定する。
- 昭52. 4.21 給食を開始する。

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	小野寺 東雄	52.2.1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部の八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二河岸段丘の二段にまたがっている。東西2km、南北1.5kmと広く、学校が西に偏位しているため、通学時間が30分以上かかる児童もいる。学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場がしめ、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在している。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設の整備はおくれている。また、工場は多いが、公害問題は少ない。学校の周辺には、畑や雑木林も多く公園もあり、自然に恵まれている。父母は、67%が会社員で学校教育への関心は深い。

4. 教育目標

- (1) よく考える子ども
- (2) なかよくすることも
- (3) がんばりぬく子ども
- (4) からだをきたえる子ども

5. 本年度指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点
 - ア 各教科
 - 授業研究を積極的におし進め、ひとりひとりの児童のわかり方に即した質の高い授業をめざす。
 - 特別教室、資料室等を有効に利用し、教材教具を効果的に活用した指導法を

くふうする。

イ. 道 徳

- つとめて相手の長所を見つけ、互いに仲良く助け合って、よき連帯感を育てる。
- 人や動植物の生命をたいせつにし、やさしい思いやりの心を育てる。

ウ. 特別活動

- 学級指導の指導内容を明確にし、学級内のよい人間関係を育てる。
- 委員会、クラブ活動の実践を活発にして、なかのよい子どもを育てる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 自分の持物をはじめ、学校の校舎、運動場など、ものをたいせつにきれいに使う習慣を育てる。
- 学校と家庭との連携を密にして、児童の登下校の安全指導を徹底して行う。

(3) その他の配慮事項

- 運動場、体育館等の施設の工事が、次々に進められる中での学校生活であるため、児童の事故防止には、全職員が努力してあたる。
- 父母会、授業参観、地区児童会、家庭訪問などのあらゆる機会をとらえて、父母と学校との交流を深める。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	3	3	3	2	3	1 8
男	7 3	5 7	6 0	6 5	3 9	5 7	3 5 1
女	7 6	6 7	6 4	4 5	5 0	5 4	3 5 6
計	1 4 9	1 2 4	1 2 4	1 1 0	8 9	1 1 1	7 0 7

7. 教 職 員 (※ 年令は昭和53年3月現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	小野寺 東 雄	5 1	校 長	5 2. 2. 1	学校経営	経 営
2	山 口 武 彦	4 6	教 頭	5 2. 4. 1	学校経営	経 営
3	渡 辺 馨 鴻	4 5	1 の 1	5 2. 4. 1	体 育	生活指導主任・学年主任
4	飯 田 国 代	3 2	1 の 2	5 2. 4. 1	算 数	教務部・視聴覚
5	川 原 由 紀	2 9	1 の 3	5 2. 4. 1	理 科	生活指導部・保健
6	斉 藤 彌 生	3 1	1 の 4	5 2. 4. 1	算 数	生活指導部・給食
7	中 村 麗 子	4 6	2 の 1	5 2. 4. 1	算 数	学年主任・図書主任
8	金 畑 昭 正	3 1	2 の 2	5 2. 4. 1	理 科	生活指導部・行事
9	間 島 春 美	2 9	2 の 3	5 2. 4. 1	理 科	生活指導部・図書館
1 0	田 中 和 子	3 2	3 の 1	5 2. 4. 1	国 語	教務部
1 1	馬 場 富 男	4 1	3 の 2	5 2. 4. 1	国 語	生活指導部・行事

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
12	前 川 セ ツ	50	3の3	52. 4. 1	社 会	学年主任・生活指導部・給食
13	泉 芳 夫	44	4の1	52. 4. 1	社 会	学年主任・視聴覚主任
14	諏 訪 喜代子	28	4の2	52. 4. 1	国 語	生活指導部・保健
15	石 原 美 代	30	4の3	52. 4. 1	体 育	教務部・視聴覚
16	佐 藤 慎 一	27	5の1	52. 4. 1	体 育	生活指導部・視聴覚
17	石 井 和 子	50	5の2	52. 4. 1	社 会	学年主任・行事主任・生活指導部
18	渡 辺 健 一	38	6の1	52. 4. 1	体 育	特活主任・図書館
19	上 山 洋一郎	47	6の2	52. 4. 1	道 徳	教務主任・研究主任
20	石 原 八重子	46	6の3	52. 4. 1	道 徳	学年主任・保健主任
21	伊 東 春 子	25	音 楽	52. 4. 1	音 楽	教務部・給食
22	藤 田 富治郎	32	図 工	52. 4. 1	図 工	生活指導部・視聴覚
23	奈 良 悦 子	46	家 庭	52. 4. 1	家 庭	給食主任・生活指導部
24	倉 林 紀 子	37	養 護	52. 4. 1	保健体育	保健部
25	伊 藤 功	32	事 務	52. 4. 1	事 務	事務主任
26	加 藤 広 子	34	栄 養	52. 4. 1	栄 養	給食

8. 本校研究主題の推移

昭和52年度	教育環境の整備と活用の研究	
--------	---------------	--

9. 本校の特色

本年は、開校の年であるので、教育目標のうちの1つ「なかよくする子ども」に視点をあて、よき教育環境づくりをめざして、教育活動を展開している。

(イ) 授業研究の推進

(ロ) 職員，児童，父母の協働による環境整備と美化

(ハ) 敷地内の自然林の保存と活用

10. 都教育研究員，研究生の出身歴

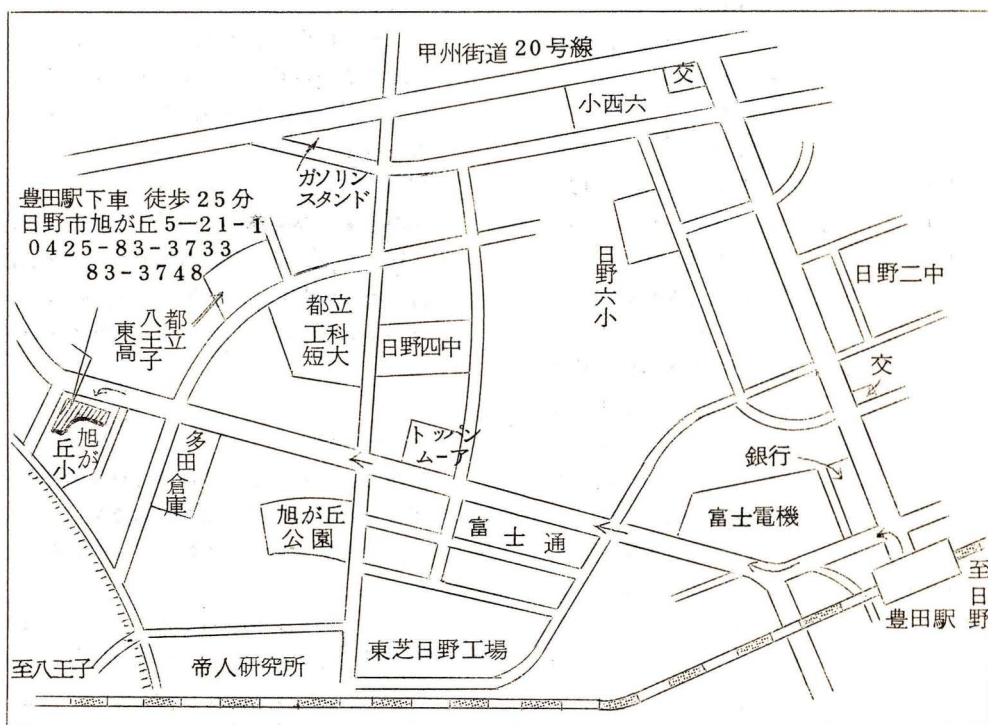
年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和42年度	小野寺 東 雄	理 科	教育研究員
昭和42年度	上 山 洋一郎	道 徳	教育研究員
昭和44年度	奈 良 悦 子	家 庭	教育研究員
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	教育研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	研究生（都研）
昭和48年度	中 村 麗 子	給 食	教育研究員

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和49年度	山 口 武 彦		文部省中央研修
昭和49年度	奈 良 悦 子	家 庭	現代化委員

1 1. 保護者の職業一覧（昭和52年4月8日現在）

区 分	内 容	人 数	%
会 社 員	各種会社員，店員，工員，銀行員	360	67.2
自 営 商 工	商業，工業，建築業，アパート経営	55	10.3
公 務 員	地方公務員，国家公務員	38	7.1
公社・公団職員	国鉄，電信電話，国民金融公庫	27	5.0
教 員	国・公・私立の幼・小・中・高・大の教員	20	3.7
サ ー ビ ス 業	美容，理容，タクシー運転手，ウェイトレス，看護婦	15	2.8
自 由 業	タレント，デザイナー，著述業，弁護士，計理士，医師	13	2.4
農 業	専業農家	1	0.2
無 職		6	1.3
合 計		353	100.0

1 2. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第一中学校

所 在 地 日野市日野 2 6 1 4

電 話 0425-81-0009(代)

順 路 国電 日野駅下車 徒歩 1 0 分

校長氏名 東 恭 朝

教頭氏名 佐 野 和 夫

1. 沿革の概要

- 昭 2 2. 4. 3 0 公立中学校として設置認可
日野中学校と称する。
- 2 3. 3. 2 4 第一回卒業式挙行（卒業生
4 3 名）
- 2 4. 4. 1 校歌制定
- 2 9. 4. 1 校名を日野第一中学校と改
称
- 3 2. 3. 2 2 校旗制定
- 3 7. 1. 1 7 標準服実施の決定，3 7 年
度より実施
- 3 7. 9. 1 7 新校舎（鉄筋防音）落成
- 3 8. 9. 9 プール落成
- 3 8. 1 1. 3 日野市制施行，市立日野第
一中学校となる。
- 3 9. 5. 1 特別教室完成
- 4 1. 7. 1 体育館落成
- 4 2. 1 1. 4 二十周年記念式典挙行
- 4 4. 1 0. 1 9 救助袋 5 個取付
- 4 4. 1 0. 2 3 プレハブ校舎完成
- 4 6. 6. 3 0 校庭夜間照明灯設置
（社会教育）
- 4 7. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
- 4 7. 2. 2 9 体育館への渡り廊下建設
- 4 8. 3. 1 0 校舎増築（普 3，特別 2）
完成（東側）特別教室への
渡り廊下完成
- 4 9. 6. 3 0 プール循環装置完成
- 4 9. 1 0. 2 6 プール脱衣所完成
- 5 0. 3. 2 6 体育倉庫完成
- 5 0. 4. 1 2 プレハブ二階建校舎完成
- 5 1. 3. 1 9 校舎増築（普 3，教材 1，
生徒指導 2）完成，石灰庫

完成，浄化槽完成（西側）

- 5 2. 3. 1 9 第 3 0 回卒業式挙行（卒業
生 3 3 1 名，通算 8,030 名）

2. 歴代校長

- 初代 町田勘之助 昭 2 2. 4～2 5. 9(死去)
- 2 代 飯塚 節三 2 5. 1 0～3 7. 3(死去)
- 3 代 大沢 彰 3 7. 4～4 0. 3
- 4 代 大沢 量作 4 0. 4～4 5. 3
- 5 代 安部 達郎 4 5. 4～4 9. 3
- 6 代 東 恭朝 4 9. 4～現 在

3. 地域の環境

日野市の東部，多摩川と浅川の合流する第
四紀沖積層の低地に当り，水の便よく水田が
発達し甲州街道ぞいの宿場町として栄えて来
た。近年郊外の住宅，工場（羽田ヒューム管，
雪印乳業，オリエント時計），特に中小企業
家内工業，商業が多く，近郊農業も見られる。

なお，日野市の中心地区として，市役所，
警察署，郵便局，消防署等が置かれ，他に農
林省，水産（淡水）研究所，蚕業研究所があ
る。

4. 教育目標

わたしたちは，ひとりひとりを尊重し，真
理と平和を求める人間となるために学び，希
望に満ちた社会をめざしてつぎの目標を定め
ます。

- (1) よく考え，やりぬく人（主体性）
- (2) 協力し，全体につくす人（連帯性）
- (3) 心豊かで，思いやりのある人（人間性）
- (4) 進んで，心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標達成のための基本方針と指導の重点

(1) 基本方針

- 教育内容の組織 思考力や創造力の育成をめざし、教育内容の精選，集約化をはかる。
- 授業時数の配当 自主的な態度，社会連帯の精神，豊かな情操と積極的な体力の育成をめざし調和と統一のとれた人間の育成を期するための時数の配当をする。
- 指導方法 自発的態度を助長し，思考力を育成するため，表現や発表の機会を常にとり入れる。
- 諸条件の整備 教育内容の組織化と効率化をめざし，教育機器の活用をする。

(2) 指導の重点

① 各教科

- 積極的に学習する姿勢を育てる。
- 発表の場や表現の機会を多くする。
- 学習の計画を立てさせ，復習，予習の習慣をつける。
- よく考える態度を養い学力伸長をはかる。
- 指導内容の精選，指導法の改善に努める。

② 道徳

- ひとりひとりを尊重する態度を養う。
- きまりを守り行動する態度を伸ばす。
- 感謝する気持を育てる。

③ 特別活動 ・教師の指導態度を十分整え，自発的，自律的活動を伸ばす。

- 生徒活動 ・クラブ活動に参加し，自主的な活動を伸長する。
- ・学級の基盤に立った生徒会活動，委員会活動を重視し，自主的な活動を伸長する。
- 学級活動 ・望ましい人間関係を育て，健全な生活態度を形成する。
- 学校行事 ・活動の場を明確にし，自主性を育てる。

④ 生活指導

- 生徒相互による自主的運営の芽を育てるよう教師の共通理解を深め指導態度を整えて
- 登下校の時刻を守り，休み時間と授業時間の区別をつけさせ，時間をたいせつにする態度を養う。
 - 公共物を大切にし，進んで清掃に努めるなど，共同社会への貢献を自覚させる。

⑤ 進路指導

- 個々の生徒の能力，適正の把握に努め，自ら進んで進路について考えるよう指導をすすめる。

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担任教科	分 掌 ・ そ の 他
1	東 恭 朝	52	校 長	49. 4. 1	経 営	
2	佐 野 和 夫	49	教 頭	47. 4. 1	技 術	
3	大 山 正 昭	47	1 A	43. 4. 1	英 語	図書視聴覚部主任
4	安 食 久 子	29	1 B	52. 4. 1	国 語	図書視聴覚部
5	島 倉 昭 雄	48	1 C	51. 4. 1	英 語	研究部一年学年主任
6	山 本 節 子	37	1 D	41. 4. 1	数 学	保健部
7	山 浦 宏	51	1 E	45. 4. 1	社 会	教務部
8	古 厩 清 夫	46	1 F	52. 4. 1	数 学	教務部
9	松 岡 史 記	25	1 G	52. 4. 1	技 術	教務部
10	森 田 与一郎	24	1 H	50. 4. 1	国 語	生活指導部
11	高 橋 賢	23	1 I	52. 4. 1	保 体	生活指導部
12	立 川 泰 司	49	1年所属	47. 4. 1	理 科	生活指導部主任
13	阿 部 敬	49	〃	43. 4. 1	音 楽	事務部
14	真 船 治 美	42	〃	45. 4. 1	保 体	教務部
15	蓑 輪 博 美	29	〃	48. 4. 1	家 庭	事務部
16	森 田 寿 子	56	1年心障	43. 4. 1	心障教育	保健部
17	黒 田 健 蔵	28	2 A	51. 4. 1	社 会	生活指導部
18	逸 見 敏	39	2 B	46. 4. 1	美 術	生活指導部
19	簡 井 ハ ル	55	2 C	45. 4. 1	家 庭	教務部
20	内 堀 範 子	29	2 D	47. 4. 1	英 語	事務部
21	保 井 雅 之	23	2 E	52. 4. 1	国 語	生活指導部
22	榊 原 紀 子	38	2 F	52. 4. 1	理 科	生活指導部
23	福 島 良 樹	28	2 G	47. 4. 1	理 科	教務部
24	宮 田 隆	28	2 H	48. 4. 1	保 体	研究部主任
25	岩 村 武	48	2年所属	50. 4. 1	社 会	教務部二年学年主任
26	黒 木 利 武	51	〃	45. 4. 1	英 語	事務部主任
27	鈴 木 美代子	46	〃	50. 4. 1	数 学	保健部
28	大 貫 米 子	44	〃	44. 4. 1	国 語	図書視聴覚部
29	伊 藤 利 子	32	〃	46. 4. 1	保 体	保健部
30	土 田 きよみ	25	2年心障	52. 4. 1	心障教育	教務部
31	阿 部 貞 夫	40	3 A	44. 4. 1	保 体	生活指導部
32	天 野 義 雄	44	3 B	47. 4. 1	社 会	研究部
33	宮 田 和 子	46	3 C	48. 4. 1	理 科	生活指導部
34	萩 原 晃	40	3 D	48. 4. 1	理 科	図書視聴覚部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担任教科	分 掌 ・ そ の 他
3 5	保 阪 暁	3 8	3 E	5 2. 4. 1	技 術	教務部
3 6	設 楽 益 穂	4 0	3 F	4 9. 4. 1	社 会	生活指導部
3 7	能 瀬 典 子	3 2	3 G	5 0. 4. 1	国 語	図書視聴覚部
3 8	青 木 保	3 2	3 H	5 1. 4. 1	音 楽	生活指導部
3 9	市 塚 正 史	4 5	3年所属	4 2. 4. 1	数 学	教務部三年学年主任
4 0	宇津木 十四男	5 1	〃	4 6. 4. 1	国 語	事務部
4 1	及 川 和 子	2 9	〃	5 2. 4. 1	美 術	保健部
4 2	吉 田 忠 夫	2 2	〃	5 2. 4. 1	英 語	保健部
4 3	長谷川 忠 男	4 4	〃	4 8. 4. 1	数 学	教務部主任
4 4	鶴 田 幸 夫	2 3	3年心障	5 1. 4. 1	心障教育	生活指導
4 5	小 谷 澄 江	2 8	養 護	4 5. 4. 1		保健部主任
4 6	古 塚 淳 夫	3 4	主 事	4 9. 4. 1		事務室主任
4 7	荻 原 延 元	2 9	〃	5 2. 4. 1	美 術	普通学級担当
4 8	大 森 信 子	4 4	〃	5 2. 4. 1	理 科	普通学級担当
4 9	木 村 留美子	2 5	〃	5 2. 4. 1	音 楽	普通学級，心障学級担当
5 0	貫 井 タ リ	3 9	〃	5 2. 4. 1	英 語	普通学級，心障学級担当
5 1	城 所 京 子	3 9	〃	5 2. 4. 1	美 術	心障学級担当
5 2	浅 井 健 作	2 7	〃	5 2. 4. 1	美 術	普通学級担当

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか（教科について）
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか（教科以外について）
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた
昭和48年度	教科における指導法の改善について
昭和49年度	教科における指導法の改善について
昭和50年度	教科における指導法の改善について
昭和51年度	基礎学力の向上をめざす指導法のくふう
昭和52年度	基礎学力の向上をめざす指導法のくふう

9. 本校の特色

掲げられた教育目標の具現下の一つとして、次の二点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法のくふうをとおして、生徒の学習の意欲を高め、よく考える態度を養うため、他校参観や校内での授業研究をもとに、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室・廊下などの掲示指導に意を用い、また、校舎内外の美化のために清掃に意を用い実施している。登下校時間の厳守には、教師・生徒会が一体となってつとめている。

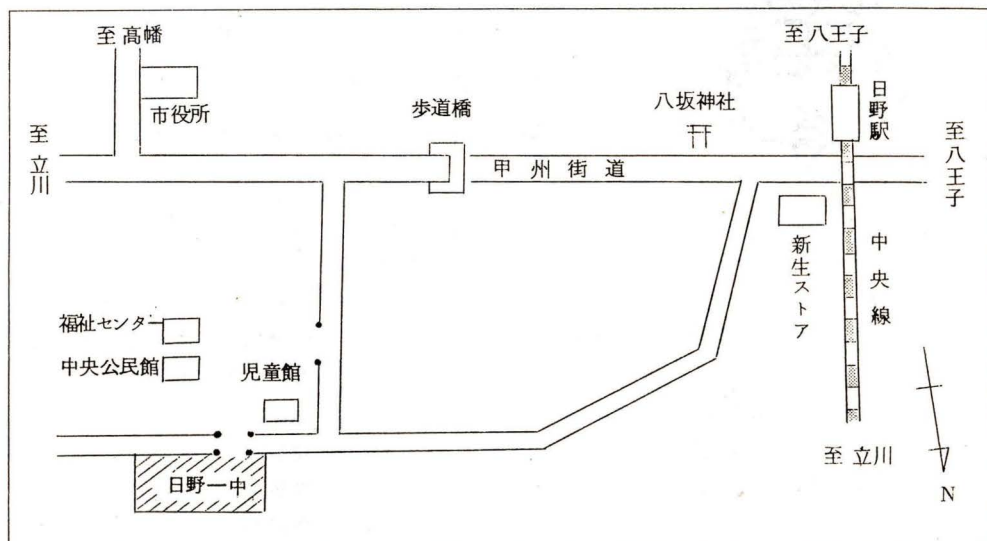
10. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和35年度	佐 野 和 夫	職 業	研究員（豊島区高田中）
昭和43年度	立 川 泰 司	特 活	研究員（八王子市横山中）
昭和43年度	長谷川 忠 男	数 学	研究員（福生市福生一中）
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	研究員
昭和46年度	萩 原 晃	特 活	研究員（墨田区両国中）
昭和46年度	島 倉 昭 雄	英 語	研究員（小平市小平四中）
昭和47年度	岩 村 武	教育方法	研究員（昭島市清泉中）
昭和47年度	市 塚 正 史	教育方法	研究員
昭和48年度	阿 藤 貞 次	保 体	研究員
昭和49年度	天 野 義 雄	特 活	研究員
昭和49年度	保 阪 暁	技 術	現代化要員（国立一中）
昭和50年度	逸 見 敏	美 術	研究員
昭和50年度	島 倉 昭 雄	特 活	研究員（都立久我山盲）
昭和51年度	真 船 治 美	保 体	研究員

11. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	127	11.6	技能 的 職 業	230	21.1
官 理 的 職 業	109	10.0	運輸・通信の職業	95	8.6
事 務 的 職 業	366	33.4	サー ビ ス 的 職 業	28	2.6
販 売 的 職 業	66	6.0	無 職 ・ そ の 他	28	2.6
農 業 ・ 漁 業	45	4.1	計	1,094	100

1 2. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平4丁目5の2
電 話 0425-81-0056. 0262
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 小 林 政之助

教頭氏名 長谷川 辰 美

1. 沿革の概要

昭29年 設立認可,開校式,入学式(生徒200名)
第二期工事八教室増築落成
昭31年 第三期工事竣工落成
昭32年 第一回卒業式(卒業生204名)
昭33年 校旗,校歌制定
昭34年 産業教育研究校に指定される。
昭35年 特別教室(工作,調理,理科)竣工落成
昭36年 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会,修学旅行研究発表会
昭37年 プール竣工落成
昭38年 保健体育研究発表会
昭39年 普通教室3教室竣工,創立10周年記念式典挙行
昭40年 体育館竣工
昭41年 防音校舎第一期工事完成(6教室)
昭42年 防音校舎第一期工事完成(18教室),プール用更衣室工事完成
昭43年 南校舎前,境花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭44年 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟
昭45年 プレハブ一棟
昭46年 プレハブ一棟
昭47年 プレハブ二棟
昭48年 四中新設のため34学級より25学級に縮小
昭48年 創立20周年記念式挙行
校舎改修工事(内装)

昭49年 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。調理室床塗装。体育館屋根修理,外装,中庭,池整備。
昭50年 南校舎6教室増設,南校舎2階塗装
昭51年 校庭バレーボールコート整備

2. 歴代校長

初代 橋本 貫一 昭29. 3.31~30. 9.30
二代 増山 恒 昭30.10. 1~41. 3. 1
三代 飯田 栄一 昭41. 4. 1~46. 3.31
四代 河村俊一郎 昭46. 4. 1~48. 3.31
五代 飯田 卯吉 昭48. 4. 1~51. 3.31
六代 小林政之助 昭51. 4. 1~

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき,東南部におお農業地域を残し,本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし,民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし,

- (1) 健全なからだとし、節度ある自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を身につける。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

- ・各教科
 - 自ら学びとる学習の態度を育成し，基礎学力の充実をはかる。
- ・生活指導
 - 基礎的生活習慣の確立，生徒との交流を深める。
- ・進路指導
 - 系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し，将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	9	8	8	25
男	177	162	186	525
女	204	166	171	541
計	381	328	357	1,066

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	小 林 政之助	53	校 長	51. 4. 1		経営管理
2	長谷川 辰 美	49	教 頭	48. 4. 1	英 語	校務一般
3	安 原 美 代	25	1-1	50. 4. 1	英 語	学習指導部
4	我 妻 要	53	1-2	42. 4. 1	国 語	生徒指導部
5	中 根 勉	33	1-3	52. 4. 1	社 会	教務部
6	三 島 敏 史	27	1-4	49. 4. 1	理 科	生徒指導部
7	石 渡 和 子	48	1-5	47. 4. 1	国 語	保健指導部
8	武 藤 光 哉	49	副主任 1-6	47. 4. 1	社 会	庶務部
9	大 庭 和 義	25	1-7	51. 4. 1	数 学	学習指導部
10	渡 辺 欣 哉	23	1-8	52. 4. 1	理 科	学習指導部
11	筆 吉 則 子	33	1-9	49. 4. 1	家 庭	庶務部
12	佐 藤 光 子	45	1 年	50. 4. 1	音 楽	生徒指導部
13	渡 辺 勉	51	1 年	44. 4. 1	数 学	教務主任
14	西 川 良 三	23	1 年	52. 4. 1	英 語	学習指導部
15	大 石 幸 雄	37	1年主任	46. 4. 1	保・体	生徒指導部
16	山 崎 智 子	25	1 年	52. 4. 1	保・体	教務部
17	村 上 敏 雄	41	2-1	47. 4. 1	音 楽	教務部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
18	高 崎 雅 子	41	2-2	46. 4. 1	国 語	学習指導部
19	北 野 義 昭	30	2-3	48. 4. 1	美 術	庶務部
20	大 山 裕 子	30	2-4	51. 4. 1	社 会	生徒指導部
21	渡 辺 貴 一	23	2-5	52. 4. 1	理 科	生徒指導部
22	古 莊 斗糸子	37	2-6	45. 4. 1	数 学	教務部
23	千 田 正 之	38	2-7	43. 4. 1	保・体	学習指導部
24	佐 藤 実枝子	54	2-8	48. 4. 1	英 語	教務部
25	西 村 敦 子	37	2 年	47. 4. 1	家 庭	学習指導部
26	永 谷 豊	43	2年主任	47. 4. 1	技 術	生徒指導部
27	渡 辺 恵 敏	41	副主任 2 年	46. 4. 1	理 科	生徒指導部
28	由 佐 豊 子	34	2 年	47. 4. 1	国 語	保健指導部
29	井 田 武	47	3-1	41. 4. 1	国 語	庶務部主任
30	和 田 啄 子	39	3-2	47. 4. 1	保・体	保健指導部
31	福 地 和 子	37	3-3	47. 4. 1	理 科	生徒指導部
32	内 田 耕一郎	45	3-4	48. 4. 1	数 学	学習指導部主任
33	矢 崎 博	28	3-5	52. 4. 1	数 学	学習指導部
34	伊 東 道 雄	24	3-6	50. 4. 1	国 語	生徒指導部
35	飯 島 利 三	37	3-7	48. 4. 1	技 術	生徒指導部
36	伊 藤 務	40	3-8	52. 4. 1	社 会	学習指導部
37	小 林 初 子	39	3 年	46. 4. 1	美 術	教務部
38	森 紀 子	36	副主任 3 年	45. 4. 1	社 会	保健指導部
39	稲 川 正義	48	3 年	44. 4. 1	理 科	生活指導主任
40	石 田 洋 子	30	3 年	46. 4. 1	英 語	教務部
41	広 瀬 昭	45	3年主任	48. 4. 1	英 語	教務部
42	須 藤 節 子	29	養護教諭	45. 4. 1	養 護	保健指導部主任
43	佐 藤 博 助	56	主 査	49. 4. 1	事 務	事務部主任，庶務部
44	市 川 昌 子	32	主 事	48. 10. 15	事 務	事務部
45	千 葉 とも子	22	主 事	52. 4. 1	事 務	事務部
46	川 村 道 雄	54	用務員	48. 4. 5		用 務
47	村 野 正 次	53	用務員	50. 7. 15		用 務
48	田 村 静 子	48	講 師	52. 4. 1	美 術	
49	中 西 久 恵	38	講 師	52. 4. 1	保・体	
50	大 江 清 子	27	講 師	52. 4. 1	音 楽	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教科の経営について	昭和45年度	基本的生活習慣の具体的指導について
昭和41年度	目標と評価（初年度）	昭和46年度	性教育について
昭和42年度	目標と評価（継続）	昭和49年度	授業研究
昭和43年度	環境整備について 市美術教育研究協力校	昭和50年度	授業研究
昭和44年度	環境美化について（継続）	昭和51年度	授業研究
		昭和52年度	授業研究

9. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別
昭和36年度	松本 利雄	社 会	研究員	昭和38年度	小林 節夫	美 術	研究員
昭和36年度	中村 忠男	数 学	〃	昭和39年度	〃	美 術	〃
昭和37年度	照山宗一郎	技術・家庭	〃	昭和40年度	〃	美 術	〃
昭和37年度	榎本 健三	学校行事	〃	昭和40年度	福田 慶罔	英 語	〃
昭和38年度	本間 トヨ	保健行事	〃	昭和44年度	小林 節夫	美 術	〃
昭和39年度	松本 利雄	学校行事	〃	昭和45年度	西村美沙子	音 楽	〃
昭和39年度	原島 弘	保健体育	〃	昭和46年度	高木 宏文	数 学	〃
昭和39年度	村上 利雄	音 楽	〃	昭和46年度	中村 功	理 科	〃
昭和47年度	成瀬 二郎	理 科	〃	昭和49年度	村上 敏雄	音 楽	〃
昭和47年度	橋本 紘一	英 語	〃	昭和50年度	森川 亮	教育経営	〃
昭和48年度	原島 弘	道 徳	〃	昭和51年度	村上 敏雄	音 楽	研 究 生
				昭和51年度	内田耕一郎	数 学	現代化委員
				昭和52年度	広瀬 昭	英 語	研 究 員
				昭和52年度	永谷 豊	教育課題	〃

1 0. 保護者の職業一覧

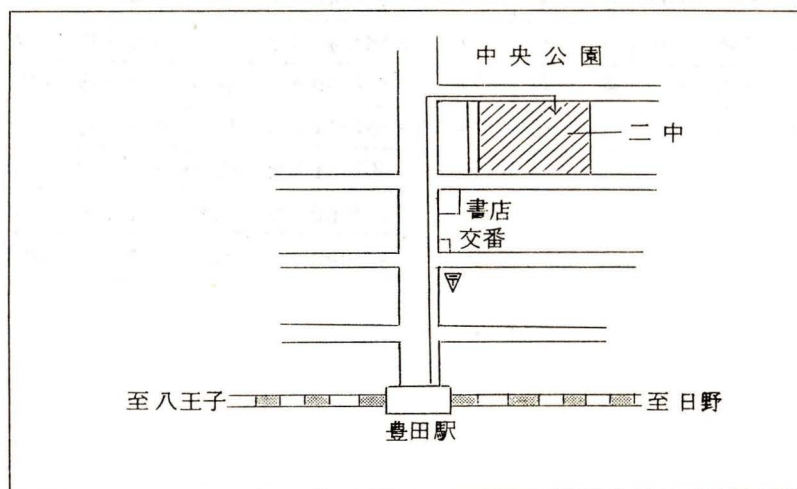
職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	9 5	8.7	運輸・通信的職業	1 9	1.7
管 理 的 職 業	7 6	7.0	サ ー ビ ス 業	1 7	1.5
事 務 的 職 業	7 0 5	6 7.0	無 職・そ の 他	1 9	1.7
販 売 的 職 業	6 8	6.2			
農 業	1 3	1.1			
技 能 的 職 業	5 4	5.1	計	1,0 6 6	1 0 0

1 1. 本校の特色

3,000世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木,北に緑の中央公園に囲まれ,自然環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。昨年は6教室の校舎増築も完成した。広い校庭に恵まれ,体育系のクラブ活動は活発である。二学期には青桐祭(文化祭,運動会)を計画し,教職員生徒共々,意欲的に取りくんでいる。

生徒数1,066名,25学級。出身小学校は,二小,三小,五小,六小,七小である。進路は殆ど全員が進学である。

1 2. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6-7-1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅(京王線)下車徒歩7分
豊田駅(国電) 下車徒歩15分

校長氏名 吉 岡 孝二郎

教頭氏名 川 崎 昭 三

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
- 昭22. 5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足。
- 昭23. 2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 昭23. 9. 4 新校舎完成、本日より授業開始
- 昭32.12. 1 PTA結成第1回総会を挙行
- 昭32.12. 1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36. 7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37. 7.31 プール開きを挙行
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭41. 1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45. 3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45. 4. 1 七生中学校三中分校設置
- 昭45. 9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三中分校廃止
- 昭46. 3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 昭46. 5.27 防音校舎落成記念式典挙行
- 昭46. 8.24 プール浄化装置、更衣室完成
- 昭47. 3.20 観察用水槽完成
- 昭47. 5.22 訪問学級開級式
- 昭47. 7.10 自然観察園完成
- 昭50. 5.22 南校舎西側増築工事完成
訪問学級教室完成

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
飯 塚 節 三	昭22. 4～昭25. 9
増 山 恒	昭25.10～昭30.10
飯 島 一 吉	昭30.10～昭37. 3
木 村 功	昭37. 4～昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4～昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4～昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4～昭51. 3
吉 岡 孝二郎	昭51. 4～現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区内には、高幡不動、また多摩動物園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

教育基本法と学校教育法の定めるところにもとづき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の五つを教育目標とする。

5. 本年度指導の重点

- ・学習指導
基本的事項の指導の徹底をはかるとともに進んで学ぶ態度を育てる。
- ・生活指導
学校の教育目標を身につけた中学生らしい生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導

道徳，特別活動の効果的運営

・進路指導

進学・就職の両面にわたり，自己の希望と適性を考え進路を決定するよう指導する。

・その他

健康の保持増進，交通に対する安全教育を推進する。更に本年度は生活指導に重点をおき特に学校経営の充実をはかりたい。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計		1 年	2 年	3 年	計
学級数	7	6	6	19	訪問学級				1
男	148	143	124	415	男	1		4	5
女	158	109	104	371	女				
計	306	252	228	786	計	1		4	5

7. 職員数

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	吉 岡 孝二郎	54	校 長	51. 4. 1	技 術	
2	川 崎 昭 三	48	教 頭	52. 2. 1	理 科	
3	山 本 和 夫	25	1－1	51. 4. 1	保 体	生活指導
4	大 藪 和 子	51	1－2	48. 4. 1	数 学	視聴覚
5	佐 藤 栄	33	1－3	49. 4. 1	社 会	保 健
6	三 原 津 香	27	1－4	52. 4. 1	音 楽	生活指導
7	釣 晃 敏	34	1－5	49. 4. 1	社 会	研究主任
8	戸 川 二美子	30	1－6	45. 4. 1	国 語	庶 務
9	小 松 文 木	46	1－7	48. 4. 1	理 科	教務主任
10	山 辺 文 男	55	1年所属	43. 4. 1	国 語	生活指導主任
11	阿 部 晃 一	45	1年所属	42. 4. 1	美 術	図 書
12	高 木 あけみ	29	1年所属	51. 4. 1	英 語	教 務
13	本 田 貞 子	23	1年所属	52. 4. 1	英 語	生活指導
14	荒 井 式 子	45	2－1	48. 4. 1	社 会	図書主任
15	天 野 敏 明	40	2－2	52. 4. 1	音 楽	保 健
16	内 藤 由紀子	40	2－3	49. 4. 1	英 語	生活指導
17	伊 藤 秀 則	40	2－4	49. 4. 1	保 体	教 務
18	中 村 剛 紀	35	2－5	46. 4. 1	美 術	生活指導
19	吉 田 太 郎	38	2－6	51. 4. 1	理 科	視聴覚主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
20	山 川 昭 子	45	2年所属	48. 4. 1	数 学	教 務
21	高 見 豊志子	31	2年所属	50. 4. 1	家 庭	庶務主任
22	永 井 みどり	27	2年所属	51. 4. 1	国 語	研 究
23	三 浦 義 次	43	3 - 1	49. 4. 1	技 術	保 健
24	安 藤 ゆき江	37	3 - 2	49. 4. 1	保 体	図 書
25	本 城 裕 彬	32	3 - 3	51. 4. 1	社 会	生活指導
26	山 田 葉 子	28	3 - 4	47. 9. 1	英 語	生活指導
27	小井塚 洋 一	25	3 - 5	50. 4. 1	保 体	視聴覚
28	大 石 文 秋	31	3 - 6	50. 4. 1	国 語	研 究
29	森 屋 文 子	45	3年所属	51. 4. 1	数 学	庶 務
30	成 舞 京 子	42	3年所属	46. 4. 1	理 科	教 務
31	久 村 敏 男	25	3年所属	52. 4. 1	理 科	教 務
32	白 井 和 子	30	3年所属	44. 6. 16	養 護	保 健
33	御子柴 昭 治	51	訪問学級	47. 4. 1	訪 問	訪問学級
34	榎 沢 日出子	32	訪問学級	49. 4. 1	訪 問	訪問学級
35	伊 藤 尚 子	34	産休補助	52. 2. 3	養 護	保 健
36	吉 岡 興 村	44	主 査	51. 4. 1	事 務	事務主任
37	中 村 やす子	29	主 事	51. 4. 20	事 務	
38	富 樫 和 美	26	主 事	51. 11. 1	事 務	
39	立 川 錦 国	59	用 務 員	49. 4. 1	用 務	
40	宮 崎 惣 次	47	用 務 員	52. 4. 1	用 務	
41	中 原 スエ子	47	産休補助	52. 4. 1	事 務	
42	大 山 博 子	45	P.T.A	44. 9. 1		
43	清 水 亀 喜	53	講 師	52. 4. 1	数 学	
44	中 村 芳 子	46	講 師	52. 4. 1	国 語	
45	笠 間 信 也	54	講 師	52. 4. 1	技 術	
46	佐 藤 靖 子	38	講 師	52. 4. 1	家 庭	
47	浅 井 健 作	27	講 師	52. 4. 1	美 術	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について	
昭和41年度	学校行事等の調査検討	
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について	㊦
昭和43年度	学校と家庭の協力について	㊦
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について	㊦
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について	㊦
昭和46年度	効率をたかめるための指導のあり方について	
昭和47年度	学級経営の効率的運営について	
昭和48年度	ひとりひとりを生かす学級経営について	
昭和49年度	ひとりひとりを生かす学級活動について	
昭和50年度	生活指導を充実するための学級活動について	
昭和51年度	生活指導を充実するための学級活動について	
昭和52年度	授業の充実をめざして	

9. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。

昭和35年頃までは、純農村であったが、現在は農業経営の子弟は2.0%、ほとんどがサラリーマンの子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

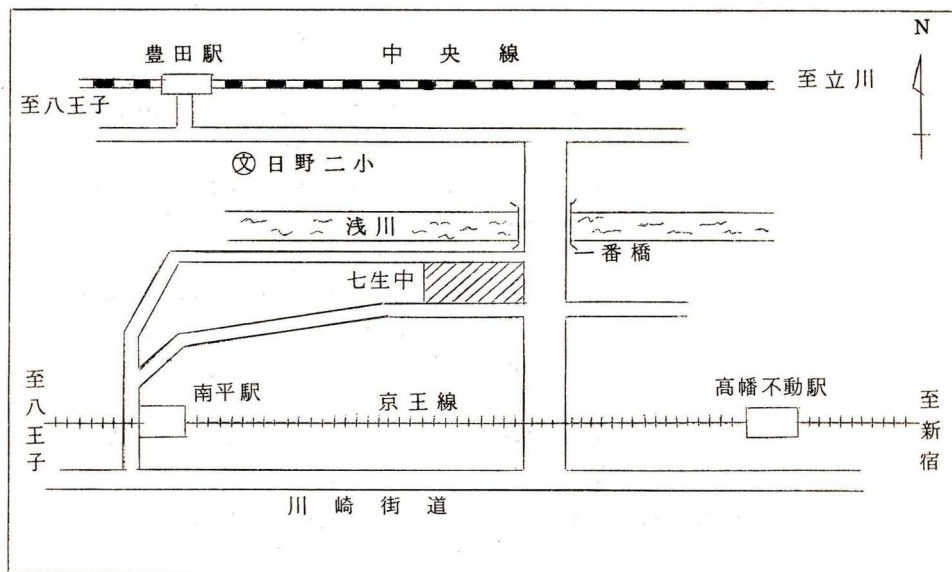
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

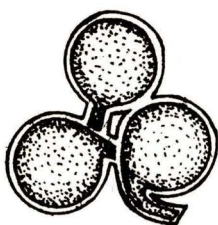
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和41年度	天 野・敏 明	音 楽	研究員
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	〃
昭和45年度	小 松 文 木	理 科	〃
昭和46年度	三 浦 義 次	技 術	〃
昭和49年度	山 川 昭 子	数 学	〃

1 1. 保護者の職業一覧

職 業 名	家庭実数	%	職 業 名	家庭実数	%
会 社 員	4 3 2	6 0.0	自 営 商 業	5 6	7.6
公 務 員	6 9	9.4	自 営 農 業	1 5	2.0
学 校 職 員	2 5	3.8	自 由 業	2 2	3.0
鉄道関係職員	1 9	2.5	無 職	9	1.1
公 団 職 員	9	1.1	そ の 他	2 5	3.8
自 営 工 業	3 9	5.7	計	7 2 0	1 0 0

1 2. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第三中学校
所 在 地 日野市程久保650
電 話 0425-91-2228(代)
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスに
て高幡台団地下車 徒歩5分

校長氏名 松 延 耕 作

教頭氏名 小 林 節 夫

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三
中分校として、七生中学校内
で授業開始。生徒数26名。
教職員数12名。
- 昭45. 7. 7 プール建設工事着工(日野市
程久保650)
- 昭45. 9. 4 校舎新築工事着工。(同上)
- 昭45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校、
七生中学校内で授業。生徒数
44名、教職員14名。百草
団地、高幡台団地を学区域と
する。
- 昭45.10.28 プール工事竣工。
- 昭46. 3.27 校舎新築工事竣工。
- 昭46. 4. 1 学区域変更、程久保地区全部、
三沢地区上、中を加える。生
徒数228名、学級数7、教職
員16名、市職員3名、日野市
程久保650番地の新校舎に移
転。
- 昭46. 7. 1 学区域変更、西部百草園団地
を加える。
- 昭46.10. 2 開校式挙行。10月2日を開
校記念日とする。校章、校歌
を発表、制定記念日とする。
- 昭47. 4. 1 生徒数363名、学級数10、
教職員19名、市職員4名。
- 昭47. 8.11 体育館建設工事着工。
- 昭48. 1.31 体育館工事竣工。
- 昭48. 3.17 第2回卒業式挙行。卒業生
105名。(累計128名)
- 昭48. 4. 1 生徒数455名、学級数12、

教職員22名。社会増による
教室不足のためプレハブ2教
室増設

- 昭49. 3.15 プレハブ家庭科室工事着工
- 昭49. 3.18 第3回卒業式挙行。卒業生
144名(累計272名)
- 昭50. 3.20 第4回卒業式挙行(卒業生
142名(累計414名))
- 昭50. 4. 1 校舎増築第二期工事竣工
- 昭50. 3.20 第5回卒業式挙行
- 昭51. 3.19 第6回卒業式挙行

2. 歴代校長

- 初代 橋本 敏一 昭45.9~48.3
二代 松延 耕作 48.4~現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市南部の多摩丘陵地帯に位置し、日本住宅公団の百草団地、高幡台団地と民間分譲地の三井団地、電建団地、西部百草園団地および在来の集落である程久保、三沢をふくんだ人口急増のベッドタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、眼下には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地を一望に見渡すことができる。学区域内に都立多摩動物公園、明星大学があり、よい環境である。住民の多くは各地より最近移住した者で、その大半は都心へ通勤するサラリーマンである。

4. 教育目標

- (1) 自ら判断し、責任をもって実行する人と

なる。

- ① 基礎学力を充実し，文化を創造する人となろう。
- ② 豊かな心を養い，力を合わせて進もう。
- ③ 若人らしい気力，体力を養おう。

(2) 基本方針

- ① 教育目標の具現化をはかり，学級経営の充実をはかる。
- ② 基礎指導をじゅうぶん行ない，個人および集団の自主性を高める指導方法をくふうする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

教材を精選するとともに，自主的学習を促進し，学習の効率化をはかる。

- イ. 道徳他領域との関連をはかりながら，豊かな心を養い，自主的判断のもとに責任ある行動ができるように指導内容をくふうする。

ウ. 特別活動

- ① 小集団を基礎に個人の自発的活動をうながし，学級集団の質を高める。
- ② 学級学年の活動を母体としての生徒会活動の充実をはかる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- ア. 生活指導 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ，組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

- イ. 進路指導 教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり，各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	8	6	6	20
男	164	123	117	404
女	185	130	115	430
計	349	253	232	834

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	松 延 耕 作	56	校 長	48. 4. 1	経 営	
2	小 林 節 夫	48	教 頭	49. 4. 1	美 術	
3	鈴 木 幸 子	47	1－1	45.10. 1	数 学	給食指導

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
4	綿 引 正 己	48	学年代表 1-2	49. 4. 1	英 語	教務事務
5	五十嵐 公 恵	46	1-3	50. 4. 1	国 語	図書・資料
6	小 林 廣	30	1-4	52. 4. 1	社 会	教務事務
7	宮 尾 文 子	41	1-5	50. 4. 1	理 科	保健指導
8	水 野 英 世	47	1-6	52. 4. 1	数 学	教務事務
9	河 野 裕 香	44	1-7	45.10. 1	音 楽	生活指導
10	星 野 明	58	1-8	48. 4. 1	国 語	生活指導
11	北 原 景 昭	44	生活指導主 任	45.10. 1	保・体	生活指導
12	秦 好 一	53	1年付	52. 4. 1	社 会	進路指導
13	泉 歌 代	37	〃	52. 4. 1	保・体	生活指導
14	坂 田 直 子	24	〃	52. 4. 1	英 語	生活指導
15	佐 藤 恒	46	〃	45.10. 1	美 術	庶務事務
16	佐 藤 寿 枝	38	2-1	45.10. 1	家 庭	保健指導
17	志 茂 知 之	46	2-2	47. 4. 1	社 会	教務事務
18	新 井 幹	46	2-3	52. 4. 1	音 楽	生活指導
19	菊 地 貞 光	39	2-4	48. 4. 1	技 術	牛乳給食指導
20	細 谷 洋 三	44	2-5	48. 4. 1	理 科	庶務事務
21	加 藤 常 光	41	2-6	50. 4. 1	保・体	特別活動
22	高見沢 文 男	28	2年付	48. 4. 1	数 学	教務事務
23	東 郷 隆 盛	51	〃	45.10. 1	国 語	生活指導
24	西 出 恒 子	42	〃	52. 4. 1	英 語	図書・資料
25	塩 野 邦 夫	46	3-1	50. 4. 1	理 科	庶務事務
26	桜 井 絢 子	40	3-2	46. 4. 1	保・体	生活指導
27	加 島 俊 博	30	3-3	50. 4. 1	技 術	牛乳給食指導
28	羽 生 幸 一	45	3-4	52. 4. 1	国 語	教務事務
29	大 塚 長 栄	48	3-5	49. 4. 1	国 語	教務代表
30	富 山 謙 一	32	3-6	49. 4. 1	社 会	生活指導
31	長 島 寿 平	55	3年代表	45.10. 1	理 科	視聴覚（教具・機具）
32	遠 藤 仁	43	3年付	45.10. 1	英 語	図書・資料
33	大 坪 久美子	40	〃	51. 4. 1	数 学	特別活動
34	伊 佐 節 子	40	〃	50. 4. 1	養 護	保健指導
35	大 室 郁 夫	26	主 事	51. 6. 1		事 務

（講 師）

1	青 木 洋 子	33		50. 4. 1	美 術	
2	西 野 美智子	39		52. 4. 1	家 庭	

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	評価の改善について 学級活動の組織的研究
昭和47年度	評価について 教育活動（特活を中心としたもの）年間計画の検討
昭和48年度	視聴覚教育機器の取り扱いと利用法の研究
昭和49年度	完全給食実施に関する諸問題について
昭和50年度	学級における自主性の指導
昭和51年度	クラブ問題について

9. 本校の特色

本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる。校舎落成3年目であるが、施設、設備は一応整って、その活用につとめている。

開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。

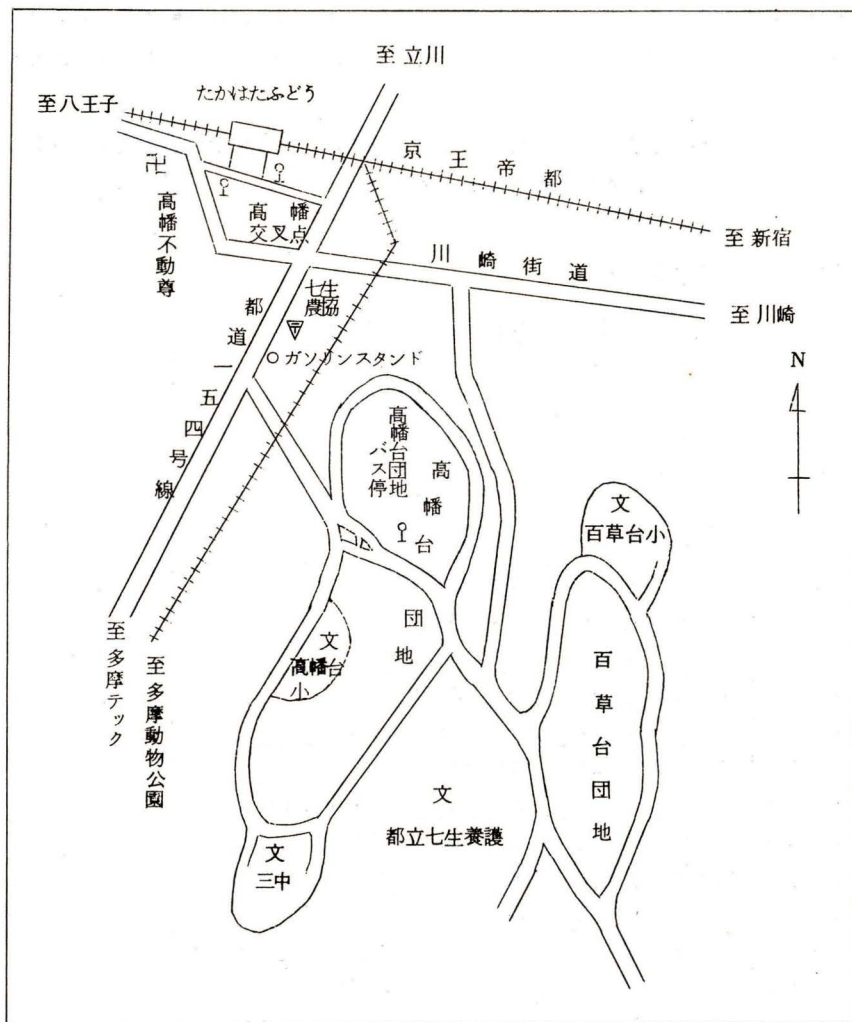
10. 都教育研究員，研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和26年度	松 延 耕 作	社 会	研 究 生
昭和36年度	〃	〃	研 究 員
昭和38年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和39年度	〃	〃	〃
昭和40年度	〃	〃	〃
昭和43年度	志 茂 知 之	安全教育	〃
昭和44年度	綿 引 正 己	教育方法	〃
昭和44年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和45年度	加 島 俊 博	技 術	〃
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	〃
昭和47年度	持 田 友 宏	社 会	〃
昭和48年度	志 茂 知 之	教育経営	〃
昭和48年度	小 林 節 夫	美 術	教育現代化委員
昭和49年度	持 田 友 宏	社 会	研 究 生
昭和49年度	五十嵐 公 恵	国 語	教育現代化委員
昭和50年度	大 塚 長 栄	国 語	研 究 員
昭和50年度	志 茂 知 之	社 会	教育現代化委員
昭和51年度	加 藤 常 光	特 活	研 究 員
昭和51年度	綿 引 正 己	英 語	教育現代化委員
昭和51年度	大 塚 長 栄	国 語	研 究 員

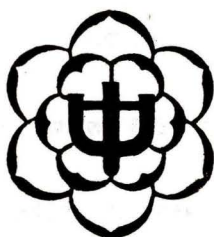
1.1. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	172	22.1	運輸通信などの職業	40	5.2
管 理 的 職 業	208	23.0	保 安 的 職 業	14	1.8
事 務 的 職 業	170	21.9	サ ー ビ ス 的 職 業	16	2.1
販 売 的 職 業	61	7.9	無 職 ・ そ の 他	15	1.9
農林漁業などの職業	2	0.3			
技 能 的 職 業	81	10.4	計	777	100.0

1.2. 学校に至るまでの地図



順路：京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて高幡台団地下車 徒歩5分



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭ガ丘 2-42
電 話 0425-83-3905
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス(長房団地行)都立工科短大下車5分

校長氏名 山 口 幸 雄

教頭氏名 河 野 寿 忠

1. 沿革の概要

- 昭47. 8.21 四中校舎起工式(工事費19億円。施工小田急建設)
昭48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令。開校
4. 6 始業式(2年193名, 3年152名)
4. 9 第一回入学式(一年192名, 全校生徒537名)
5.13 プール着工(工費約2,700万円)
6.11 プレハブ2教室使用開始
7. 2 屋内体育館完成使用開始
7.18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール落成
10.13 校歌作詞完成
10.16 校章決定
10.16 教育目標設定
11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)
11.14 PTA規約承認 PTA発足
11.16 校旗完成
11.17 落成式挙行
11.22 第一回開校記念日
昭49. 2. 2 標準服制定
3.18 第一回卒業式(男73,女79)
4. 6 プレハブ3教室使用開始
4. 8 第二回入学式(男129,女122)
4.24 佐藤イサ教諭記念造園完成
5.30 保健室冷房装置取付
7. 1 増築工事開始(校舎3スパン, 体育倉庫・校庭砂場・物置き

・機械室)工費約1.6億円
施工 小田急建設

- 昭49. 7. 3 保健室 空気清浄装置取付
8.14 玄関前,校門前植樹
9. 6 駐車場舗装
10.19 玄関前コンクリート舗装
昭50. 1. 8 体育倉庫,砂場完成
3.18 増築完成 学校へ引き渡し
3.20 第二回卒業式(男130,女123)
4. 7 自転車置場,新校舎使用開始
4. 8 第三回入学式(男136,女129)
4.26 テニスコート学校へ引渡し
26 校庭の校舎側U字溝設置
9. 9 物置使用開始
昭51. 1.16 図書館開館
2.12 赤電話設置
3.19 第三回卒業式(男100,女97)
4. 6 プレハブ2教室使用開始
4. 7 第四回入学式(男173,女144)
12.22 玄関前アスファルト舗装
昭52. 3.19 第四回卒業式(男127,女124)
4. 6 プレハブ6教室使用開始
4. 7 第五回入学式(男164,女176)

2. 歴代校長

代	氏 名	期 間
初代	河 村 俊一郎	昭48.4.1~52.3.31
二代	山 口 幸 雄	52.4.1~現在

3. 地域の環境

本校の学区は,地形的・地質的には北半の洪積台地(日野台)と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2~3段の段丘状

になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく、昭和12年、小西六写真工業㈱（六桜社）、昭和18年富士電機製造㈱の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも近代化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地人居をきっかけに人口は急増をはじめた。

平山工業団地、国鉄豊田電車区、多数の住宅、アパートなど畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近10年間でいちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

わたしたちは、平和で民主的な国家、社会の形成者となるために、つぎの目標を定めます。

- 一. 進んで学習し、向上する人
- 一. 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 一. 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 教育内容 基本事項の系統化をはかるとともに、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
- (2) 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
- (3) 時数配当 自主性・社会性・実践力（気力・知力・体力）の育成と豊かな情操の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は標準時数以上を実施する。

5. 本年度指導の重点

- (1) 各教科
 - ア. 進んで学びとる学習態度を育成する。
 - イ. 基礎学力の充実をはかる。
 - ウ. 教材の精選、指導法の研究に努める。
- (2) 道徳
 - ア. 基本的行動様式、特に整理整とん、時と場所にに応じたふるまいを身につけさせる。
 - イ. 異なる考えや立場も尊重する態度を養う。
 - ウ. よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。
- (3) 特別活動
 - ア. 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。
 - イ. 自主的に判断し、自発的に行動し、協力する態度と習慣を身につけさせる。
- (4) 生活指導
 - ア. 組織集団を通して自主的に判断し行動する生活態度を養う。
 - イ. ひとりひとりの生徒との交流（個別指導）と集団指導とが、互いに補足し合うよう指導をすすめる。
 - ウ. 賞さん、承認、注意、指示など適切に反復指導し、基本的な生活習慣を身につけさせる。

エ すべての教師が全生徒の指導にあたる。それ故、教師の共通理解を深める。

(5) 進路指導

系統的な指導に努め、自己の理解、情報の分析を通して、将来の進路を選択する能力を育成する。

(6) その他の配慮事項

ア. 学校の主体性を基盤におき、保護者との連携を推進する。

イ. 日野市の指導目標の重点にのっとり、授業研究の推進につとめる。

6. 生徒数

4月10現在

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	8	7	7	22
男 子	164	168	138	470
女 子	176	142	136	454
男 女 計	340	310	274	924

7. 教職員一覧

年令は53年3月31日現在

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	校 務 分 掌
1	山 口 幸 雄	49	校 長	52. 4. 1		
2	河 野 寿 忠	46	教 頭	48. 4. 1	理 科	
3	大 野 馨	44	事務主査	48. 4. 1		事務部主任
4	西 川 利 行	53	1年主任	48. 4. 1	英 語	保健指導
5	鈴 木 健 一	29	1-1	48. 4. 1	保 体	生徒指導, 安全指導
6	辻 和 代	31	1-2	48. 4. 1	保 体	掲示, 教育機器
7	国 信 武 司	28	1-3	48. 4. 1	社 会	生徒会・クラブ指導
8	天 野 節 子	38	1-4	52. 4. 1	国 語	清掃指導
9	赤 木 清 福	53	1-5	52. 4. 1	国 語	生徒会・クラブ指導
10	相 原 美智子	41	1-6	48. 4. 1	数 学	教務管理
11	持 田 友 宏	43	1-7	52. 4. 1	社 会	教務事務
12	水 田 節 子	30	1-8	52. 4. 1	英 語	生徒指導
13	工 藤 満 春	42	1年所属	49. 4. 1	理 科	教育機器, 研究・研修
14	門 脇 年 子	46	〃	49. 4. 1	美 術	給食, カーテン, 就学援助
15	設 楽 悦 代	41	〃	48. 4. 1	理 科	道徳・学活, 掲示
16	萩 原 典 子	49	2年主任	48. 4. 1	家 庭	教務管理
17	六本木 茂	49	2-1	48. 4. 1	社 会	教務事務
18	久保田 俊 司	35	2-2	49. 4. 1	英 語	就学援助, カーテン, 給食
19	田 中 佳 弘	25	2-3	51. 4. 1	技 術	生徒会・クラブ指導

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	校 務 分 掌
20	藤 倉 満理子	26	2-4	51. 4. 1	理 科	生徒指導, 保健指導
21	樋 口 恢 武	33	2-5	51. 4. 1	社 会	生徒会・クラブ指導
22	伊 藤 誠	28	2-6	48. 4. 1	保 体	生徒指導, 安全指導
23	西 村 美紗子	41	2-7	48. 4. 1	音 楽	道徳・学活, 研究・研修
24	高 木 宏 文	44	教務主任	48. 4. 1	数 学	教育課程
25	田 中 栄 一	51	2年所属	48. 4. 1	国 語	図書, 資料
26	野 田 志乃ぶ	25	〃	50. 4. 1	国 語	清掃指導
27	丸 山 尚 夫	45	3年主任	48. 4. 1	数 学	時間割
28	小 畑 亮	55	3-1	48. 4. 1	美 術	庶務部長, 営繕, 施設・設備
29	鎌須賀 正 克	25	3-2	57. 4. 1	数 学	生徒会・クラブ指導
30	柳 沢 美 澄	41	3-3	48. 4. 1	英 語	研究・研修, 資料
31	堀 江 富 男	26	3-4	49. 5. 1	国 語	図書, 資料
32	富 士 堯	45	3-5	48. 4. 1	理 科	研究部長, 研究・研修, 道徳学活
33	木 村 守	44	3-6	50. 4. 1	英 語	施設・備品, 営繕
34	田 中 ひろみ	23	3-7	51. 4. 1	保 体	生徒会・クラブ指導
35	鈴 木 良 身	46	生活指導主 任	48. 4. 1	技 術	生徒指導, 安全指導, 生徒会 クラブ指導
36	黒 沢 谷五郎	53	三年所属	48. 4. 1	社 会	清掃指導
37	大 野 滌 子	42	〃	50. 4. 1	音 楽	時間割・教育実習
38	高 橋 恵 子	25	養護教諭	52. 4. 1	養 護	保健指導

8. 本校の研究主題の推移

- 昭和48年度 学習指導の現代化(授業研究)
- 昭和49年度 生徒の自主性をのばす教科指導(授業研究)
- 昭和50年度 生徒の自主性をのばす教科指導(授業研究)
- 昭和51年度 進んで学習し行動する生徒を育てる指導法(授業研究)
- 昭和52年度 進んで学習し行動する生徒を育てる指導法(授業研究)

9. 本校の特色

(1) 教育活動 各領域の調和に心掛けつつ, 新しい校風を発展させる意気に燃えている。

ア. 授 業 校内の研究を深め, 1時間1時間をたいせつにする。授業打切りは極力さけ, 真面目な生徒を育てる。

イ. 特別活動 生徒会(毎月曜), 学級(毎金曜), クラブ(毎木曜), 学校行事(適時)の調和をめざし, 一方に片寄ることなく, 時間を厳守して活動し, 自発性, 自律性を育てる。下校時刻後, 校内に残留する生徒は1名もない。

クラブは他に, 火, 木は5時15分まで, 土は4時まで自主的活動を時間外に可能とし, 全職員分担して指導している。

(2) 授業研究推進

市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。

(3) 父母との連携

学校通信（学校のような、生徒の創作）を毎週２～３回全家庭に配布し、共通理解を深め協力態勢を高める。

(4) 美化緑化の推進

校樹泰山木の幼樹を育て、播種による柵周辺の樹木の育成、緑の学園をめざすと共に校内の美化に努める。

10. 都教育研究員、研究生出身歴

S 41	河野 寿忠	研究員	理科（日野一中）	S 30	西川 利行	研究生	教育大英（八王子五中）
S 41	富士 堯	〃	特活（ 〃 ）	S 46	富士 堯	〃	都研理（日野一中）
S 45	田中 栄一	〃	国語（日野二中）	S 49	持田 友宏	〃	社 会（日野三中）
S 44	西村美紗子	〃	音楽（ 〃 ）	S 49	丸山 尙夫	研究員	進 路（日野四中）
S 35	西川 利行	〃	英語（八王子五中）	S 48	西川 利行	現代化委	学校経営（ 〃 ）
S 46	高木 宏文	〃	数学（日野二中）	S 49	高木 宏文	〃	特別活動（ 〃 ）
S 47	持田 友宏	〃	社会（日野三中）	S 52	丸山 尙夫	〃	数 学（ 〃 ）

11. 保護者の職業一覧

各クラス在籍者全員調査 全校生徒 924 名

区 分	内 容	人 数	%
教 員	幼・小・中・高・各種学校	42	4.55
学者・研究者	大学・研究所	5	0.54
医 師	開業医・病院医とも	5	0.54
国鉄・私鉄職員		54	5.84
警察署勤務		11	1.19
銀行勤務	銀行・信用金庫	14	1.52
公社・公団職員		19	2.06
公務員	役所・公共施設勤務	69	7.47
自営商工	商業・工業・アパート経営	80	8.66
店員・工員		24	2.60
企 業	経営者	46	4.98
	会社員	476	51.52
サービス業	美容・理容・タクシー運転手・ウエイトレス・料理人・看護婦	28	3.03
農業		1	0.11
無 職		4	0.43
そ の 他	宗教団体・政治団体・奉仕団体等の職員	21	2.27
	自由業（タレント・セールス・デザイナー） 著述業・建築士等	25	2.71
合 計		924	

1 2. 学校に至るまでの地図



学 校 名 日野市立三沢中学校
 所 在 地 日野市三沢25番地
 電 話 0425-92-5017・5018
 順 路 京王線百草園駅より西へ徒歩 12分

校長氏名 古 川 豊

教頭氏名 柳 瀬 治 男

1. 沿革の概要

- 昭51. 3. 市議会において仮称5中用地
買収費予算化(10億円)
4. 用地買収契約終了
- 5.1 3 文部省に建設計画書提出
- 5.2 4 市教育委員会に仮称5中開設
準備委員会設置
- 6.2 8 市議会は仮称5中学校舎建築予
算議決
7. 6 都教育庁の設計審査
8. 3 文部省に交付金申請書提出
補助金等決定
8. 入札 東急建設に落札
- 8.1 6 市議会は仮称5中プール建設
予算議決
- 8.1 8 仮称5中学校舎着工工事費5億
9,569万円 施工 東急建
設株式会社
- 8.2 0 市教育委員会は父母対象に仮
称5中学区説明会
- 9.1 8 仮称5中学校舎起工式
- 10.2 3 仮称5中プール着工 工事費
3,712万円
施工 青木建設株式会社
- 11.2 9 市教育委員会は仮称5中学区
域を決定
- 12.2 3 市議会は校名を日野市立三沢
中学校と議決
- 12.2 3 三沢中学校屋内体育館着工
工事費8,480万円 施工
東京建設興業株式会社
52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校

- 昭52. 4. 1 教頭以下教職員22名発令
4. 6 始業式(2年156名,3年
147名)
4. 7 第一回入学式(1年188名
全校生徒491名となる)

2. 歴代校長

初代 古川 豊 昭52.2.1~現在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほ
ぼ中間の北側にある。学区域は京王線に沿って
北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり
環境に恵まれ、高幡不動尊・百草園などの名所
がある。

京王線踏切と交通量の多い川崎街道をかかえ
ているので、交通事故防止には力を入れている。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的
な人間に育成することをめざして、つぎの目標
を定める。

- みずから学び、真の学力を身につけた人間
に育てる。
- 心豊かで、みんなと協力できる人間に育て
る。
- からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に
育てる。

教育目標を達成するための基本方針

- 授業を大切にし、教材研究ならびに授業研
究にとりくむ。
- 生徒と接する機会を多くもち、生徒理解を
深める。

3. 新設校であるため，りっぱな校風を築き，教育環境を整えるため，教職員は和をもってこれにあたる。

5. 指導の重点

① 各教科

- 基礎学力の充実のために教材を精選，系統化し，学習の効率化をはかる。

② 道徳

- ひとりひとりの人権を尊重する人間に育てる。
- きまりを守り，集団や社会の一員として自覚し，行動する態度を伸ばす。

③ 特別活動

- 自主性を育て，堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために，教師と生徒が一体となって，発表の場や機会を作る。

④ 生活指導

- 新しい校風と伝統を築き上げるため
 - ・ 規律ある集団づくりを進める。
 - ・ 積極的に環境づくりに取り組む。

⑤ 進路指導

- 自己理解を深め，進路選択の能力を養うよう，学年に応じた系統的指導を実践する。

⑥ その他

- こどもが内面的に高まってくれることを願い，図書館の充実，視聴覚の行事等を盛んに行なう。
- 学校と家庭との連けいを密にする。
- 安全教育の推進に努める。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	5	4	4	13
男	91	75	80	246
女	97	81	67	245
計	188	156	147	491

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	古 川 豊	51	校 長	52.2.1	英 語	
2	柳 瀬 治 男	43	教 頭	52.4.1	理 科	
3	新 井 教 旦	39	1年主任	"	数 学	生徒会
4	加 藤 邦 子	37	1 - 1	"	保 体	" ・ クラブ
5	松 田 健 司	22	1 - 2	"	英 語	"
6	樽 川 和 恵	25	1 - 3	"	国 語	図 書
7	中 村 勝 郎	28	1 - 4	"	社 会	生徒会
8	原 沢 和 江	37	1 - 5	"	理 科	教科書・統計
9	乙 黒 静 子	48	1年所属	"	美 術	庶務部主任
10	橋 本 貴 幸	44	2年主任	"	理 科	視聴覚
11	田 熊 裕	40	2 - 1	"	数 学	道徳・学活
12	天 野 和 子	25	2 - 2	"	英 語	生徒会・クラブ
13	柁 原 宏 江	29	2 - 3	"	国 語	安全指導
14	大 宅 寛	42	2 - 4	"	音 楽	学習指導部主任
15	河 田 公 枝	37	2年所属	"	家 庭	時間割
16	佐 藤 良 枝	54	3年主任	"	国 語	研 修
17	鈴 木 清 司	44	3 - 1	"	社 会	生活指導主任
18	佐 藤 至 正	32	3 - 2	"	技 術	施設・備品
19	猪 井 詔 子	31	3 - 3	"	英 語	表 簿
20	明 石 敏 春	47	3 - 4	"	数 学	教務主任
21	磯 岡 邦 雄	22	3年所属	"	保 体	清掃指導
22	富 樫 昭 子	35	養護教諭	"	養 護	保健指導
23	八 木 守	53	主 査	"	事 務	事務主任
24	横 山 謙 一	27	講 師	"	社 会	
25	内 田 功	37	"	"	理 科	
26	松 葉 恭 子	27	"	"	音 楽	
27	荻 原 延 元	29	"	"	美 術	
28	中 川 キイ子	39	"	"	保 体	
29	大 和 幸 子	45	主 事	"		事 務
30	土 方 栄 子	20	"	"		"
31	石 坂 正 三	62	"	"		用 務
32	渡 辺 三 郎	61	"	"		"

8. 本校研究主題

昭和52年度 基礎学力の充実（授業研究）・教育機器の活用法

9. 本校の特色

昭和52年4月1日開校の新設校で、自然環境に恵まれた位置にある。生徒数増加のため母体校七生中より2、3年生が転校したが、近代的設備の整ったすばらしい校舎に移って、新しい学校生活のスタートをきった。

教職員も新しい校風をつくるため意欲的にこれにあたっている。生徒は明るく、素直であり、父母も新設校への期待が大きく、教育に熱心で協力的である。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研究員・研究生別
昭和41年度	乙 黒 静 子	美術「スライドによる絵画指導 文芸作品による想像画指導」	研究員（亀 有 中）
昭和46年度	橋 本 貴 幸	理科「光のエネルギーの効果的な指導」	研究員（立川三中）
昭和49年度	田 熊 裕	数学「関数的な見方・考え方を育てる 一つの試み」	研究員（日 野 中）

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会 社 員	234	51.8	運 輸・交 通 業	21	4.6
公 務 員	61	13.6	自 由 業	22	4.9
農 業	10	2.2	そ の 他	29	6.4
商 業	28	6.2	無 職	2	0.2
工 業	35	7.7			
サ ー ビ ス 業	11	2.4	計	453	100

12. 学校に至るまでの地図

